平成２２年度西成田コミュニティセンター改修工事工事
閲覧特記事項書

１．工事実績情報登録
工事実績情報の登録について、契約締結後１０日以内に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出すること。

２．かし担保：かし担保については、工事請負契約書によるものとするが、竣工後一年目に検査を行い、施工の問題で生じた故障箇所は、発注者・工事監理者・請負者の三者で協議の上、請負者の負担にて補修するものとする。

３．官庁その他への手続き関係
イ）工事施工に必要な諸手続き（建築確認申請手続きを除く）、仮設用電力・水道の引込手続き、道路、電線、その他第三者管理の土地等を使用する際や支障移設等の手続きは一切工事施工者にて行い、且つその費用を負担すること。

ロ）本工事施工により生じた付近道路、その他建築物又は工作物の損傷は一切施工者の責任において誠意をもって復旧すること。
又、近隣との融和につとめ、本工事による苦情が発注者まで及ばぬよう施工者の責任において処理すること。

４．下請負契約、雇用及び購入業者選定
下請負業者の選定や職業労働者の雇入れ及び使用機器材の購入にあたっては富谷町内の業者及び労働者雇用に配慮すること。

５．建材等について
工事に使用する建材については、無石綿建材とすること。

６．諸検査等について
建築確認検査、消防検査、役場検査等の諸検査も工期に含むものとする。

７．縮小図の提出
工事請負者は工事に先立ち、本工事設計図縮小製本（Ａ－３版二つ折り製本）３部を提出すること。

平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面リスト

ＮＯ，	図面名称	ＮＯ，	図面名称	ＮＯ，	図面名称	ＮＯ，	図面名称
Ａ－　１	特記仕様書（１）	Ａ－２９	あずま屋　各図	Ｅ－　１	電気設備工事特記仕様書	Ｍ－　１	機械設備改修工事特記仕様書
Ａ－　２	特記仕様書（２）	Ａ－３０	自転車置場　各図	Ｅ－　２	受変電設備図・凡例	Ｍ－　２	配置図・屋外トイレ平面詳細図
Ａ－　３	特記仕様書（３）	Ａ－３１	外構平面図・リスト	Ｅ－　３	盤 リ ス ト	Ｍ－　３	給排水衛生設備　現況　平面図
Ａ－　４	特記仕様書（４）	Ａ－３２	外 構 詳 細 図	Ｅ－　４	配　置　図	Ｍ－　４	給排水衛生設備　改修後 平面図
Ａ－　５	工事区分表	Ａ－３３	解体平面図・リスト	Ｅ－　５	（改修後）動力・幹線設備平面図	Ｍ－　５	給排水衛生設備　増築棟 平面詳細図
Ａ－　６	案内図・配置図	Ａ－３４	解 体 詳 細 図	Ｅ－　６	照明設備姿図・トイレ表示設備姿図	Ｍ－　６	空気調和設備　改修後 平面図
Ａ－　７	敷地求積図　面積表			Ｅ－　７	（改修前）電灯設備撤去平面図	Ｍ－　７	換気設備　改修後 平面図
Ａ－　８	仕　上　表			Ｅ－　８	（改修後）電灯設備平面図	Ｍ－　８	スプリンクラー設備　系統図
Ａ－　９	（改修後）　平面図			Ｅ－　９	（改修後）コンセント設備平面図	Ｍ－　９	スプリンクラー設備　平面図
Ａ－１０	（改修前）　平面図			Ｅ－１０	放送設備　系統図		
Ａ－１１	（改修後）　立面図　断面図			Ｅ－１１	ホール音響設備　機器姿図		
Ａ－１２	（改修前）　立面図　断面図			Ｅ－１２	（改修後）放送設備平面図		
Ａ－１３	（改修後）　屋根伏図・天井伏図			Ｅ－１３	（改修後）弱電設備平面図		
Ａ－１４	（改修前）　屋根伏図・天井伏図			Ｅ－１４	（改修前）火災報知設備平面図		
Ａ－１５	（改修後）　展開図(1)			Ｅ－１５	（改修後）火災報知設備平面図		
Ａ－１６	（改修後）　展開図(2)・キープラン						
Ａ－１７	（改修前）　展開図(1)						
Ａ－１８	（改修前）　展開図(2)・キープラン						
Ａ－１９	（改修後）　建　具　表						
Ａ－２０	（改修前）　建　具　表						
Ａ－２１	家具図(1)						
Ａ－２２	家具図(2)						
Ａ－２３	家具図(3)						
Ａ－２４	耐震補強詳細図・各種基礎詳細図						
Ａ－２５	（増築部）平面図詳細図・立面図・矩計図						
Ａ－２６	（増築部）　展開図・各伏図・基礎詳細図						
Ａ－２７	屋外トイレ　各図(1)						
Ａ－２８	屋外トイレ　各図(2)						

特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称 平成２２年度 西成田地区コミュニティセンター改修工事
2 工事場所 富谷町西成田地内
3 用途地域等
都市計画区域（⊙ 内 ・ 外） 用途地域（ ）
防火地域等（・ 防火 ・ 準防火 ⊙ 指定なし ⊙ ２２条 ）
その他の地域・地区（ ）
4 主要用途 集会所
5 敷地面積 7,182.26 ㎡
6 工事の概要

1.	既存コミュニティーセンターの耐震改修、内外装改修及び増築 木造 平屋建て(改修面積 701.18㎡ 増築面積33.53㎡)	改修１棟
2.	外部便所 木造平屋建て 13.79㎡	新設１棟
3.	あずま屋 木造平屋建て 28.98㎡	新設１棟
4.	自転車置場 スチール製 9.48㎡	新設１棟
5.	外構整備工事（外構リストによる）	新設一式
6.	既存倉庫・簡易便所・雑工作物解体（解体リストによる）	新設一式
7.	電気設備工事（電気設備特記仕様による）	改修一式
8.	機械設備工事（機械設備特記仕様による）	改修一式

7 別途工事
なし

8 その他
石綿等の取扱いについては，石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。）を遵守すること。

9 特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。
・ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書
・ 解体工事特記仕様書 ⊙ 電気設備工事特記仕様書 ⊙ 機械設備工事特記仕様書

II 建築工事仕様

1．共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(平成19年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。
ただし，「改修標準仕様書」に記載されていない事項は，「公共建築工事標準仕様書（平成19年版）」(以下「標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(平成18年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2．特記仕様
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と㊟印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の< >、（ ）及び［ ］内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項

1 一般共通事項

①. 一般事項
⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。
⊙ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。
・ 工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。
調査範囲 ※ 図示

②. 適用基準等
⊙ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)
⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成21年4月1日土木部通知)
⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成17年版)
⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定 平成12年版)

3．概成工期
工事工期より 日前 <1.1.2>

④. 工事実績情報(CORINS)の登録
※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合） <1.1.4>
受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
(請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ)
・ 適用しない

⑤. 発生材の処理等
発生材の処理 <1.3.8>
・引渡しを要するもの（ ）
・特別管理産業廃棄物（ ）
受入れ施設名・所在地(km)
・現場において再利用を図るもの（ ）
・再生資源化を図るもの

種類	受入施設名	所在地（Km)	備考
⊙ コンクリート塊	東北黒沢建設工業㈱	黒川郡大和町砂子沢57-3（17.5km)	
・ アスファルトコンクリート塊			
⊙ 建設発生木材	（有）松江興業	仙台市泉区福岡字切沢19-1（17.5km)	
・ コンクリートから成る建設資材			
⊙ ガラス屑等	宮城県環境事業公社・小鶴沢	黒川郡大和町鶴巣字小鶴沢（16km)	

・その他の廃棄物（安定型）

種類	受入施設名	所在地（Km)	備考

・その他の廃棄物（管理型）

種類	受入施設名	所在地（Km)	備考
⊙ Ｐタイル・フレキ類	宮城県環境事業公社・小鶴沢	黒川郡大和町鶴巣字小鶴沢（16km)	
⊙ 石膏ボード類	宮城県環境事業公社・小鶴沢	黒川郡大和町鶴巣字小鶴沢（16km)	

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器 ・ 有（数量： ） ⊙ 無 [5.4.3]
PCB含有シーリング材 ・ 有（施工範囲は図示） ⊙ 無 [5.4.4]

PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。

アスベストの処理
吹き付けアスベスト除去工事 ・有(図示) ⊙無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト成形板除去工事 ・有(図示) ⊙無
受け入れ施設名・所在地(km) 宮城県環境事業公社・小鶴沢 黒川郡大和町鶴巣字小鶴沢（２６km)

ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理
ヒ素又はカドミウムボード ・有(図示) ⊙無
次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。
＜対象となる石膏ボード＞
小名浜吉野石膏（株） いわき工場 昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
日東石膏ボード（株） 八戸工場 平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
指定する処分場
【名称： 所在地(km) 】

⑥. 電気保安
・ 適用する ※ 適用しない <1.3.3>

⑦. 事故報告 <1.3.10>
工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

⑧. 建築材料等
材料の品質等 <1.4.2>
※ 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。
<1.4.1>
※ 本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等（VVOC,VOC等）の放散しないもの又は放散量の少ないものの使用に努める。
※ ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
普通合板，複合フローリング等 ：日本農林規格(JAS)F☆☆☆☆
パーティクルボード，MDF（中質繊維板)：日本工業規格(JIS)F☆☆☆☆
クロス類 ：日本工業規格(JIS)F☆☆☆☆
内装工事に使用する塗料及び接着剤 ：化学物質等製品安全データシート(MSDS)等にホルマリン不使用が明示されたもの

⑨. 室内の空気中の化学濃度の測定
・ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 <1.5.9><1.6.9>
測定は，測定する者及び使用する測定機 器等の測定仕様等に定めるものの他，以下のとおりとする。
測定対象物質： ※ ホルムアルデヒド（濃度指針値0.08ppm)
※ スチレン （濃度指針値0.05ppm)
※ トルエン （濃度指針値0.07ppm)
※ エチルベンゼン （濃度指針値0.88ppm)
※ キシレン （濃度指針値0.20ppm)
※ パラジクロロベンゼン（濃度指針値0.04ppm)
測定する室等：（ 調理室 ）
採取方法 ： 30分間換気後、対象室内を5時間以上密閉した後、吸引方式では30分間、拡散方式では8時間以上採取する。
測定方法 ：
ホルムアルデヒド
DNPH-HPLC法等の精密測定法又は同等の精密法として監督職員の承諾を受けた方法
トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン
固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法の３種の方法のいずれかを用いて採取し，ガスクロマトグラフィー一質量分析法
測定結果等報告書の提出
測定後は，厚生労働省が定める濃度指針値以下であることを確認し、気温・湿度（室外，室内)，天候，風の状況，日射進入状況，測定月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数，測定濃度，測定方法及び使用した測定機器を明示した報告書を１部提出する。
室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面を当該施設に掲示する。
測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合、引渡しは受けない。

10．特別な材料の工法
「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

11．建築基準法による風圧力等の指定
<3.5.4><3.9.3><5.12.5>

適用工事	建築基準法の指定
・ 合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0) ※３０
・ アルミニウム笠木 ・ 金属板屋根葺	地表面粗度区分 ・II ・III
・ 折板葺 ・ ガラスブロック	多雪地域の指定 ・有 ・無

12．設計ＧＬ
※ 図示 ・ 現状平均地盤高

13．施工調査
施工数量調査 <1.5.2>
・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 <1.5.3>

調査項目	調査範囲	調査方法	成果品
外壁亀裂、浮き他	外壁全般	打診、目視他	報告書

⑭. 技能士
・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。 <1.6.2>
※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。

適用工事種別	適用技能士検定職種（作業)
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種（作業）のすべて
鉄筋工事	⊙ 鉄筋施工（鉄筋（加工）組立作業)
コンクリート工事	⊙ 型枠施工
鉄骨工事	・ とび
ブロックALCパネル工事	・ ブロック建築 ・ ＡＬＣパネル施工
防水工事	・ アスファルト防水工事作業 ・ シート防水工事作業 ・ 塗膜防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業
石工事	・ 石材施工（石張り作業)
タイル工事	・ タイル張り
木工事	⊙ 建築大工作業
屋根及びとい工事	⊙ 建築板金（内外装建築板金作業） ・ かわらぶき
金属工事	・ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業)
左官工事	・ 左官作業
建具工事	・ ビルサッシ施工 ・ ガラス施工 ・ 自動ドア施工
カーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工 ・ ビル用サッシ施工 ・ ガラス施工
塗装工事	⊙ 塗装（建築塗装作業)
内装工事	⊙ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上工事作業 ⊙ ボード仕上工事作業 ・ 内装床仕上げ施工（鋼製下地工事作業）⊙タイル張り ⊙ 左官 ⊙表装(壁装作業) ⊙ 建築大工 ・ 畳製作
植栽工事	・ 造園

技能士を適用しないとした職種でも、１級、２級又は単一技能士の配置に努めること。

⑮. 完成図等 <1.8.1><1.8.2><1.8.3>
営繕工事完成引渡要領（平成９年11月14日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により作成する。
※ 完成原図 １部
※ 白焼２つ折製本 ３部
※ 白焼縮小（Ａ３版）２つ折製本 ３部
※ 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式若しくはTIFF形式（解像度300DPI程度） CD1枚
※ 監督員が指定する施工図CAD DETA(JWW) １部

⑯. 完成写真
※ 作成する
宮城県建築工事写真撮影要領により，次のものを原版（ネガ等）とともに監督職員に提出する。

分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式
※カラー ・白黒	※Ｌ ・２Ｌ ・六切り	※宮城県写真撮影要領の完成写真程度 ・ 箇所 枚	※１部 ・ 部	※工事用アルバムA4版ポケット式程度 ・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度)

・ 作成しない

⑰. 設備工事との取合い
施工範囲 各工事の区分表による。
施工図 設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

⑱. 火災保険等
工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。
保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険
保険期間 ※ 工事着手から工事満了より１ヶ月後まで

2 仮設工事

1．仮囲い
※ 設ける
仮囲いの位置及び延長は図示による。
・万能鋼板（H=2.0） ・波形鉄板（H= ） ・単管シート（H=2.0)
・シートゲート（H=4.5，W=3.6）× 5 箇所
・ 設けない

2．交通誘導員
・ 配置する（ 2ヶ月 ×1 人 ＝ 60人日） ・ 配置しない

3．工事表示板
※ 設置する 設置枚数 １枚
営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。
・ 設置しない

④. 足場その他
内部足場 ※ 脚立、足場板等 <2.2.1>
外部足場 ※ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 ・ Ｄ種 <表2.2.1>
防護シート ※ 設ける ・ 設けない
材料の運搬 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 <表2.2.2>
・ Ｄ種 ※ Ｅ種
枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成15年4月策定）」により、設置については「手すり先行工法による足場設置基準」（ガイドライン別紙）による「働きやすい安心感のある足場」とすること。

5．養生
家具の移動 ・ 行う(図示) ・ 行わない <2.3.1>
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管
・ 行う ・ 行わない
養生の方法
保管場所

6．仮設間仕切り
・ 設ける(図示) <2.3.2><表2.3.1>
・ Ａ種 ・ Ｂ種 ※ Ｃ種

7．監督職員事務所
※ 設けない（請負者事務所に打合せ場所を確保する)
・ 設ける（規模 ㎡程度 請負者事務所と同棟 ・可 ・否)
備品（ ）

⑧. 工事用水及び電力
構内既存の施設 ・ 利用できる（※有償 ・無償） ・ 利用できない
※ 施設管理者との協議により使用できる
（ ※ 有償 ・ 無償 ）
構内既存の施設 ・ 利用できる（※有償 ・無償） ・ 利用できない
※ 施設管理者との協議により使用できる
（ ※ 有償 ・ 無償 ）

⑨. 工事用通路
※ 指定しない ・ 指定する（図示）

③ 防水改修工事

1．アスファルト防水
改修工法の種別 <3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3～10>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所
E-2	密着工法	便所（2,3F)

アスファルトの種類 ※ ４種 <3.2.2>
脱気装置 ・ 設ける ・設けない <3.3.3>
種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型
施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

2．伸縮調整目地 <3.3.2><3.3.5>
※ 成型伸縮目地（天端 ＥＰＴゴム，サイド ブチルゴム製）

3．改質アスファルトシート防水
改修工法の種別 <3.1.4><3.4.3><表3.1.1><表3.4.1～2>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
			※ カラー ・ シルバー

脱気装置 ・ 設ける ・設けない <3.4.3>
種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型
施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

4．合成高分子系ルーフィングシート防水
改修工法の種別 <3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
Ｓ－Ｍ２	機械的固定工法	屋上、屋根、庇	※ カラー ・ シルバー

脱気装置 ・ 設ける ⊙設けない <3.5.3>
種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型
施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

5．塗膜防水
改修工法の種別 <3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
Ｘ－２	ND-5工法		※ カラー ・ シルバー

脱気装置 ・ 設ける ⊙設けない <3.6.3>
種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型
施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

⑥. シーリング材料の種別及び施工箇所 <3.7.2><表3.7.1>
※ 被着体に応じたものとし、改修標仕表３．７．１を標準とする。
・ 改修標仕表３．７．１によらない箇所及びシーリング材料

改修標仕表３．７．１によらない箇所	シーリング材料

7．シーリング改修工法
改修工法の種別 <3.1.4～7><表3.1.2>

改修工法の種類	施工箇所
・ シーリング充てん工法	
・ シーリング再充てん工法	
・ 拡幅シーリング充てん工法	
・ ブリッジ工法（ ）	

⑧. とい <3.8.2><表3.8.1>

材種	防露
・ 配管用鋼管（ＳＧＰ）	※ 改修標仕表３．８．４～５により行う
⊙ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	
・ ステンレス製 HL	

特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。
鋼管製といの防露巻き <3.8.3><表3.8.5>
※ 表３．８．５による。

9．ルーフドレイン
※ 鋳鉄製 <3.8.3(h)>
㊟ 縦型 ⊙ 横型

10．アルミニウム製笠木
部材の種類 <3.9.2><表3.9.1>
・ 押出 ２５０形 ・ 押出 ３００形 ・ 押出 ３５０形
・ 板材折曲げ形
付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。
表面処理 <3.9.2><表5.2.2>
※ Ｂ－１種 ・ Ｂ－２種

11．防水保証
・ アスファルト防水，改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は，引渡しの日から10年間とし，施工業者との連名の保証書を提出する。
塗膜防水については，メーカー・防水業者が通常定めている期間として，作成し提出する。

特記事項

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第６３６０１号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石４２番４ TEL０２２－２４５－２３３３	検図 製図 日付 平成22年9月	設計名称 平成２２年度 西成田地区コミュニティセンター改修工事	図面内容 特記仕様書（1） 縮尺 ――	図面番号 A ― 1 全 枚ノ内 設計番号

4 外壁改修工事

1．ひび割れ部改修

・コンクリート打放し仕上げ

工法	材料	ひび割れの幅(mm)	延べ長さ(m)
※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
※ Uカットシール材充てん工法	・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
	・ シーリング材PU－2 ・ 可とう性エポキシ樹脂	1.0～1.5未満 1.5～2.0未満 ～ 未満	

⊙ モルタル塗り仕上げ

工法	材料	ひび割れの幅(mm)	延べ長さ(m)
※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	153.3m
※ Uカットシール材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
	・ シーリング材PU－2 ・ 可とう性エポキシ樹脂	1.0～1.5未満 1.5～2.0未満 ～ 未満	

・ タイル張り仕上げ

工法	材料	ひび割れの幅(mm)	延べ長さ(m)
※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
※ タイル貼り除去後 ・Uカットシール材充てん工法 ・樹脂注入工法の上タイル張替え工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
	・ シーリング材PU－2 ・ 可とう性エポキシ樹脂	1.0～1.5未満 1.5～2.0未満 ～ 未満	
・ タイル部分張替え工法	・ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂		
・ 目地ひび割れ改修工法	※ 既製調合目地材		

・ 樹脂注入工法 <4.3.4(c)>

ひび割れの幅 (mm)	0.2～0.3未満	0.3～0.5未満	0.5～1.0以下
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度
注入量 (cc/m)			

コアの抜取り検査 ・ 行う ※ 行わない <4.3.4(f)>

2．欠損部改修

・ コンクリート打放し仕上げ

工法	材料	平均深さ(mm)	か所
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20～30未満 30～40未満	
	ポリマーセメントモルタル	5～10未満 10～15未満 15～20未満	

⊙ モルタル塗り仕上げ

工法	材料	平均深さ(mm)	か所
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20～30未満 30～40未満	
	ポリマーセメントモルタル	5～10未満 10～15未満 15～20未満	375か所
・ モルタル塗替え工法	・改修標仕表4.4.1による	20程度 ラス下地25程度	
	・ポリマーセメントモルタル		

・ タイル張り仕上げ

工法	材料	平均深さ(mm)	か所
※ タイル部分張替え工法	エポキシ樹脂モルタル	20～30未満 30～40未満	
	ポリマーセメントモルタル	10～15未満 15～20未満 ～	
・ タイル張替え工法			

3．浮き部改修

⊙ モルタル塗り仕上げ <4.1.4>

工法	1箇所の面積(㎡)	浮き代(mm)	アンカーピン(本/㎡) 一般部	指定部	注入口(箇/㎡) 一般部	指定部	延べ面積(㎡) 一般部	指定部
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※16 ・ ※25 ・					
⊙アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※13 ・ ※20 ・		※12 ・ ※20 ・		190.6㎡	
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25以上	1.0を超える	※13 ・ ※20 ・		※12 ・ ※20 ・			
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※9 ・ ※16 ・					
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※9 ・ ※16 ・		※9 ・ ※16 ・			
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25以上	1.0を超える	※9 ・ ※16 ・		※9 ・ ※16 ・			
・充てん工法	0.25未満							
・モルタル塗替え工法								

・ タイル張り仕上げ <4.1.4>

工法	1箇所の面積(㎡)	浮き代(mm)	アンカーピン(本/㎡) 一般部	指定部	注入口(箇/㎡) 一般部	指定部	延べ面積(㎡) 一般部	指定部
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※16 ・ ※25 ・					
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※13 ・ ※20 ・		※12 ・ ※20 ・			
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25以上	1.0を超える	※13 ・ ※20 ・		※12 ・ ※20 ・			
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※9 ・ ※16 ・					
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※9 ・ ※16 ・		※9 ・ ※16 ・			
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25以上	1.0を超える	※9 ・ ※16 ・		※9 ・ ※16 ・			
・タイル部分張替え工法	0.25未満							
・タイル張替え工法								

アンカーピンの材質
※ 改修標仕4．2．2（e）（f）による。
アンカーピン固定用エポキシ樹脂
※ JIS A6024による硬質・高粘度形
注入用エポキシ樹脂
※ 改修標仕4．2．2（a）による。

4．タイル張り

タイルの種類 <6.16.3>

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ 磁器	陶器	せっ器	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	注文	再生材利用タイル	備考

タイル張替え工法のタイル張り工法は、改修標仕表4．5．3により、小口タイル以上二丁掛け以下は密着張りとする。

5．塗り仕上げ外壁

<4.1.4(d)><4.2.2(j)><表4.2.3～4>

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	上塗り材
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく	※吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材E		※吹付け ・こて	
⊙複層仕上げ塗材	・複層塗材CE ・複層塗材RS ・複層塗材RS ※複層塗材RE ・複層塗材Si ⊙防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS	⊙ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	※吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり ・メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ◎アクリルシリコン系 (可とう形改修用塗材の場合) ・フッ素系
◎可とう形改修用仕上塗材	※可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	※ゆず肌 ・さざ波	※吹付け ・ローラー	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材		・吹付け ・こて塗り	

複装仕上塗材の耐候性 ※ 1種 （可とう形改修塗材の場合）
・ 2種
※ 3種 （可とう形改修塗材以外の場合）

6．壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理

<4.6.3>

塗膜の劣化部の除去工法	処理範囲
⊙ サンダー工法 ※ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法	・ 既存仕上面全体(可とう形改修塗材以外の場合) ※ 既存仕上面全体(可とう形改修塗材の場合)

5 建具改修工事

1．一般事項

改修工法 <5.1.3>
・ かぶせ工法 ・ 撤去工法
新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。

見本の作成等 <5.1.5>
製作 ※ 行わない ・ 行う（建具表による）
仮組 ※ 行わない ・ 行う（建具表による）

防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する（建具表による）

2．アルミニウム製建具

外部に面する建具 <5.2.2><5.2.4><表5.3.2>

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
・A種	S－4	A－3	W－4	70（引違い，片引き，上げ下げ窓で複層ガラスの場合では性能が確保できない場合は、100）
・B種	S－5			
・C種	S－6	A－4	W－5	100

※ 適用箇所は図示による

表面処理	外部に面する建具	※ B－1種	・ B－2種
	内部建具	※ C－1種	・ C－2種

B－2種，C－2種の場合 ・ブロンズカラー（※標準色 ・濃色）
・ステンカラー

防音ドアセット，防音サッシ ・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3

断熱ドアセット，断熱サッシ ・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級 ・ H－2 ・ H－3

耐震ドアセット，耐震サッシ ・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級 ・ D－1 ・ D－2

3．網戸

使用方法による区分 ※外面納まりの可動式 <5.2.3>
・内部納まりの開き式

防虫網（線径0.25mm 網目16-18メッシュ）
・ガラス繊維入り合成樹脂 ※ステンレス(SUS 316) ・合成樹脂

防鳥網
※ステンレス（SUS304）線径1.5mm ピッチ15mm

4．鋼製建具

簡易気密型ドアセット <5.3.2><5.3.4><5.3.6><表5.3.2>
※ 使用する（適用範囲とする）
気密性 ※ A－3
水密性 ※ W－1
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性 ※ S－4 ・ S－5

建具寸法が「標準仕様書」16.3.4(a)を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分			厚さ (mm)
窓	枠類	枠，方立，無目	表16．3．2に同じ
出入口	枠類	一般部分	2．3
	戸	中骨	2．3
上記以外			表16．3．2に同じ

標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない

5．鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット <5.4.2><5.4.6>
※ 使用する（適用箇所は図示による）
気密性 ※ A－3
・ 使用しない

戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板

標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない

標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製

6．ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット <5.5.2>
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性 ※ A－3
水密性 ※ W－1
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性 ※ S－4 ・ S－5

表面処理 ・ HL <5.5.4>
鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ <5.5.6>

8．建具用金物

<5.6.2><表5.6.1>

金物の種類	型式	製造所
モノロック		
本締り付きモノロック		
シリンダー箱錠		
シリンダー本締り錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	内蔵型	
ピボットヒンジ		JISによる。
レバーハンドル	アルミ合金 レバー長さ L=130程度	錠前類と同一製造所とする。

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。

マスターキーの作成 ・ 要 ・ 不要
⊙ 不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

9．自動ドア開閉装置

性能 ・ スライディングドア <5.7.2><表5.7.1～2>
・ スイングドア

センサーの種類 ・ 光線式（反射）スイッチ <5.7.3><表5.7.3>
・ マットスイッチ式
・ タッチスイッチ
・ 補助センサ併用

凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要
全半開装置 ※ 設ける（半開幅＝ ）
・ 設けない

10．重量シャッター

<5.9.2><表5.9.1>

種類	シャッターケース	耐風圧性能	開閉方式	保護装置
・ 一般シャッター	※ 設ける ・ 設けない	・50 ・80 ・120	※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式	障害物感知装置（自動閉鎖型） ※ 設ける ・ 設けない
・ 防火シャッター ・ 外部用 ・ 内部用	※ 設ける	(JIS A 4705による強さの区分)	※ 上部電動式（手動併用）	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける。
・ 防煙シャッター				

11．軽量シャッター

<5.10.2><5.10.4>

開閉形式	シャッターケース	耐風圧性能	スラットの形状	保護装置
※ 手動式 ・ 上部電動式（手動併用）	※ 設ける ・ 設けない	・50 ・65 ・80 (JIS A 4705による強さの区分)	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置（自動閉鎖型） ※ 設ける ・ 設けない

12．オーバーヘッドドア

<5.11.2><5.11.3>

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	・50 ・75 ・100 ・125	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない
アルミニウム形材の表面処理 陽極酸化塗装複合被膜（種類B）
耐風圧性能（JIS4715による強さの区分）
・ 50 ・ 75 ・ 100

14．木製建具

13．ガラス

<5.12.2><5.12.3><表5.12.1>

※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。
※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。
合わせガラスの特性
・ Ⅰ類 ・ Ⅱ－1類 ・ Ⅱ－2類 ・ Ⅲ類
強化ガラスの特性
・ Ⅰ類 ⊙ Ⅲ類
熱線吸収板ガラス
性能 ・ 1類 ・ 2類
色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブラウン
複層ガラス
性能 ・ 1種 ・ 2種
・ 3種（・ U3－1 ・U3－2）
・ 4種 ・ 5種
封止の加速耐久性による区分
・ Ⅰ類 ・ Ⅱ類 ・ Ⅲ類
熱線反射ガラス
日射遮へい性 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
耐久性 ・ A類 ・ B類
色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ
・ シルバー
反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側
映像調整 ・ 行う ・ 行わない
ガラスの留め材
⊙ シーリング ・ ガスケット（可動アルミ建具に限る）
防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。
ガラスの溝幅については、標仕(表16.13.1)による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。

特記事項

一級建築士事務所 日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷國雄
仙台市太白区山田字大石42番4
℡022－245－2333

検図 製図 日付 平成22年9月

設計名称 平成22年度 西成田地区コミュニティセンター改修工事

図面内容 特記仕様書（2）

図面番号 A－2 全 枚ノ内

縮尺 ――

設計番号

5 建具改修工事

19. ガラスブロック(中空)

JISによる区分 <5.12.5>

表面形状による区分	モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ)	厚さによる区分
正方形	・160×160 ・200×200 ・320×320	・80 ・95
長方形	・250×125 ・320×160	・125

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・一般ガラス ・乳白カラス ・カラーガラス ・熱線反射ガラス	・無 ・有	・白 ・グレー	・アルミニウム製(表面処理) ・ステンレス製(表面仕上)	・規定しない ・有(分間)

⑥ 内装工事

①. 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 <6.1.3>
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・(図示の範囲)

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・(図示の範囲)

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
・(図示の範囲)

2. 既存床の撤去並びに下地補修

合成樹脂塗床の除去方法 <6.2.2(a)>
・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法

③. 改修後の床の清掃範囲

⊙ 当該室全体 ・ 図示の範囲 <6.2.2(c)>

4. 既存壁の撤去並び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 <6.3.2(a)>
※ 改修標仕4.4.9による ・( )

⑤. 木材

表面仕上げ程度 ・A類 ※B類 ・C類 <6.5.1(c)>
含水率 <6.5.2(a)><表6.5.2>
構造材 (※ A種 ・ B種)
下地材 (※ A種 ・ B種)
造作材 (※ A種 ・ B種)
造作材の材面の品質 ※A類 ・B類 <6.5.2(a)><表6.5.3>
・ 代用樹種を使用しない箇所 <表6.5.4>
※ なし ・ あり( )

⑥. 集成材

造作用集成材は改修標仕6.5.2(b)(ii)による。 <6.5.2>

等級	見掛かり	その他
	※ 1等 ・ 2等	・ 1等 ※ 2等
単材の樹種	図示	
単材の厚さ(㎜)	10~15	10~15

7. 軽量鉄骨天井下地材

野縁などの種類 <6.6.2><表6.6.1>
屋内 ※ 19型 ・ 25型
屋外 ・ 19型 ※ 25型

インサート <6.6.4>
・ 既存インサートを使用する
・ あと施工アンカーを設ける

あと施工アンカーの引抜き試験 <6.6.4>
・ 行う
※ 行わない

耐震性を考慮した補強
・ 行う
※ 行わない

耐風圧性を考慮した補強(ピロティ、軒天井等)
・ 行う
※ 行わない

8. 軽量鉄骨壁下地材

スタッド,ランナーなどの種類は、改修標仕表6.7.1による。 <6.7.2><表6.7.1>

9. 体育館の鋼製床下地

※ JIS A 6519の規格品

⑩. ビニル床シート張り

<6.8.2><6.8.3>

種類(JIS A5705)	記号	色柄	厚さ(㎜)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※NC	※無地 ・マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け
・ 発泡層のあるもの					

11. ビニル床タイル張り

<6.8.2>

種類(JIS A 5705)	記号	寸法	厚さ(㎜)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※ CT(半硬質) ・ CTS(軟質)	※ 300×300	※ 2.0	・帯電防止 ・耐動加重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・ HT	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0 ・ 4.0又は4.5	・帯電防止 ・耐動加重

⑫. ビニル床タイル・ビニル床シートの特殊機能

帯電防止
・ 帯電防止性能評価(JIS A 1445)1.2~3.1程度
又は耐電圧(JIS L 1023)3kv以下
・ 帯電防止性能評価(JIS A 1445)3.2~5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×1010オーム未満
・ 帯電防止性能評価(JIS A 1445)5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満

耐動加重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと

13. 視覚障害者用床タイル

<6.8.2>

材質	寸法(㎜)
・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系	300×300

⑭. ビニル幅木

材種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 <6.8.2>
厚さ(mm) ※ 2
高さ(mm) ※ 60 ・ 75 ・ 100

6 内装工事

15. カーペット敷き

⊙ タフテッドカーペット <6.9.3><表6.9.1>

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(㎜)	工法	品質	帯電性
校長室	・( )	・( )	※全面接着工法 ・グリッパー工法		・6.9.3(c)(3)による

・ タイルカーペット <6.9.3>

施工箇所	種類	パイル形状	工法	総厚さ	帯電性
	※第1種 ・第2種	※ループパイル ・カットパイル	※全面接着工法	※ 6.5	製造所の仕様による

⑯ フローリング張り

・単層フローリング <6.11.2~7><表6.11.3>

種別	樹種	厚さ(㎜)	大きさ(㎜)	工法	塗装
・ フローリングボード	※ナラ	・15	幅 75 長さ500以上	・モルタル埋込み工法 ・釘止め工法 ・接着工法	・ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・ フローリングブロック	※ナラ	・15	303×303		
・ モザイクパーケット	※ナラ	・15			

⊙複層フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
※ 複合1種フローリング ・ 複合2種フローリング ・ 複合3種フローリング ・ 大型積層フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ	・A種 ・B種 ※C種	⊙行う ※行わない	・釘止め工法 ・接着工法 ・特殊貼り工法(体育館床)	⊙ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品

⑰. 畳敷き

畳の種別 ・ A種 ・ B種 <6.12.2><表6.12.1>
※ C種 ・ D種

⑱ 石こうボードその他ボード張り

<6.13.2><6.13.3><表6.13.5>

種類又は記号	種別など	厚さ(㎜)		規格番号
けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板)0.8FK又は1.0FK		壁	・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430(タイプ2)
		天井	⊙ 6(不燃) ・ 12(不燃)	
グラスウール吸音ボード(吸音材料) GW-B	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品		25(不燃)	JIS A 6301(32K)
ロックウール化粧吸音板(吸音材料) DR	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	
せっこうボード(せっこうボード製品) GB-R		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井	⊙ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
シージングせっこうボード(せっこうボード製品) GB-S		壁	12.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) GB-NC	トラバーチン模様 色 ※白 ・黄		9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) GB-D	木目模様	壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
	木目模様(裏桟付き)特殊模様	天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理 ⊙ 継目処理工法 ・ 突き付けV目地工法
・ 突き付け工法 ・ 目透し工法

19. 遮音シール材

・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド <6.13.2><表3.7.1>

⑳ 壁紙張り

<6.14.2>

施工箇所	品質	防火性能の級別
図示	ビニルクロス	・ 1級 ⊙ 2級
		・ 1級 ・ 2級
		・ 1級 ・ 2級
		・ 1級 ・ 2級

㉑ タイル張り

タイルの種類 <6.16.3>

施工箇所	形状寸法(㎜)	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわ薬 無釉	うわ薬 施釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 注文	再生材利用	備考
浴室	300	○			○			○	○			
浴室	200			○		○		○	○			
玄関	100	○			○			○	○			

タイルの見本焼き ※ 行わない ・ 行う
内装タイルの工法 <6.16.5><表6.16.5>
・ 積み上げ張り 施工箇所( )
⊙ 接着剤張り 施工箇所(浴室)

22. セルフレベリング材塗り

・ 石こう系 ・ セメント系 <6.17.2>
塗厚 ※ 10㎜

⑦ 塗装工事

①. 防火材料

<7.1.3>
※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。 ( )

2. 錆止め塗料塗り

<7.3.2><表7.2.2~3><表7.3.3~4>

下地	種別	下地調整	塗装種別
鉄鋼面	新規	※RA種 ・RB種 ・RC種	・A種 ・B種 ※C種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ・B種 ※C種
	塗料の種別	屋外 A種	屋内 B種
亜鉛めっき鋼面	新規建具	・RA種 ・RB種 ※RC種	※A種 ・B種 ・C種
	新規	※RA種 ・RB種 ・RC種	・A種 ・B種 ※C種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ・B種 ※C種

③. 合成樹脂調合ペイント塗り

<7.4.1~5><表7.2.1~3><表7.4.1~3>

下地	種別	下地調整	塗装種別
木部	新規	・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・C種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ※B種 ・C種
鉄鋼面	新規	<表7.3.3>による	・A種 ※B種 ・C種
	塗替え	<表7.3.3>による	・A種 ※B種 ・C種
亜鉛めっき鋼面	新規及び鋼製建具の塗替え	<表7.3.4>による	※A種 ・B種 ・C種
	塗替え	<表7.3.4>による	・A種 ※B種 ・C種

④. 合成樹脂エマルションペイント塗り

<7.13.1,2><表7.2.4~7><表7.13.1>

下地	種別	下地調整	塗装種別
コンクリート面 ALCパネル面 押出成形セメント板面	新規	・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・C種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ※B種 ・C種
モルタル面 プラスター面	新規	・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・C種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ※B種 ・C種
石こうボードその他のボード等の面	新規	・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・C種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ※B種 ・C種

⑧-1 鉄筋工事

①. 鉄筋の種類

<8.2.1>

規格名称	種類の記号	径(㎜)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A ※ SD345	※ D16以下 ※ D19以上

②. 溶接金網

※JIS G 3551規格品(※ 6.0φ×100×100 ・) <8.2.2>

③. 鉄筋の継手

径 19 ㎜ 以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手 <8.3.4>

4. 柱の帯筋

・ H型 ※ W-Ⅰ型 ・ W-Ⅱ型 <8.3.4><図8.3.4>

5. 圧接完了後の抜取試験

※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験 <8.3.9>

⑧-2 コンクリート工事

①. 設計基準強度

普通コンクリート(N/㎜2) <8.1.3>

設計基準強度	適用箇所
※ 21	基礎コンクリート
※ 18	土間コンクリート

②. レディーミクストコンクリート

類別 ※ Ⅰ類 ・ Ⅱ類 <8.1.3><表8.1.1>

③. 打放し仕上げの種別

<8.1.4><表8.1.3>

種別	適用箇所
・ A種	
※ B種	
・ C種	

④. セメントの種類

※ 普通ボルトランドセメント又は混合セメントのA種 <8.2.5>

⑤. 骨材

細骨材の塩分含有量(NaCl換算) ※ 0.04 %wt 以下 <8.2.5>

⑥. 混和材料

混和剤 ※ AE剤又はAE減水剤標準形Ⅰ種 <8.2.5>

7. 軽量コンクリート

<8.10.1><表8.10.1>

種別	適用箇所	気乾単位容積質量 (ton/m3)

⑧. 無筋コンクリート

適用箇所は<6.14.1>によるほか、下記による。 <6.14.1>

適用箇所
ステコン

⑨. 型枠

せき板の種類 ※ 合板 <8.2.6>
せき板の塗料 ※ 無 ・ 有

10. コンクリートの打込み工法

※ 流込み工法 ・ 圧入工法 <8.19.8><8.21.5>

⑪. 既存部分の撤去

既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 <8.19.2,3>
既存躯体の撤去範囲 ※ 図示

8-3 耐震改修工事(あと施工アンカー工事)

1. あと施工アンカー

<8.2.4>
※ 接着系アンカー 〔引張耐力 (KN),せん断耐力 (KN)〕
接着剤 ※ 有機系 ・ 無機系
・ 金属系アンカー 〔引張耐力 (KN),せん断耐力 (KN)〕
打込み方式 ※ 本体打込み式

2. あと施工アンカーの試験

性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う <8.2.4>
施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない <8.11.5>

8-4 耐震改修工事(鉄骨工事)

1. 鉄骨製作工場

※ 下記のグレード以上の性能評価機関の性能評価を受けて,国土交通省の認定を受けた工場 <8.1.5>
・ S ・ H ・ M ・ R ・ J
⊙ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で,監督職員の承諾する工場

2. 鋼材の種類

<8.2.7><表8.2.5>

材質	規格等	
⊙ SS400	※規格品(JIS G 3101)	・8.2.12(a)に合格するもの
・ SSC400	※規格品(JIS G 3350)	・8.2.12(a)に合格するもの
・ STK400	※規格品(JIS G 3444)	・8.2.12(a)に合格するもの
・ STKR400	※規格品(JIS G 3466)	・8.2.12(a)に合格するもの
・ SN400	※規格品(JIS G 3136)	
・ SN490	※規格品(JIS G 3136)	

3. 高力ボルト

<8.2.8>

ボルト種別	セットの種類
※トルシア形高力ボルト	※2種(S10T)
・JIS形高力ボルト	※2種(F10T)
・溶融亜鉛メッキ高力ボルト	※1種(F8T相当)

4. 溶接部の試験

※超音波探傷試験 <8.14.11><8.14.12>

5. 錆び止め塗装

<7.3.2> による。 <8.16.3>

6. 耐火被覆

<8.17.2><8.17.4~7>

種別	材料及び工法製造所	備考
・ラス張モルタル	標仕15章2節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの	※半乾式 ・湿式
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

7. アンカーボルト

材質 ※SS400 ・SNR400B (7.2.4)

8. 既存部分の撤去

撤去範囲 ※ 図示 <8.20.2>

8-5 耐震改修工事(柱補強工事)

1. 工法

・ 溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法 <8.21.5>
溶接金網の継ぎ手 ※ 重ね継ぎ手
コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打設
・ 圧入工法 ・ 流し込み工法
・ 鋼板巻き工法 <8.21.6>
・ 帯板巻き付け工法 <8.21.6>
・ 連続繊維補強工法 <8.21.7>
製造所( )
接着性試験及び耐久性試験
・ 行う ・ 行わない

2. 既存部分の撤去

撤去範囲 ※ 図示 <8.21.2>

8-6 耐震改修工事(その他)

1. グラウト材

無収縮モルタル材は、製造所で調合された材料を使用する。 <8.2.10>
圧縮強度(N/㎜2):30以上
コンシステンシーJ14ロート値(秒):6~10
乾燥収縮(×10-4):0

2. 柱底等の均しモルタル

無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない <8.2.10>

3. スリットの種類

※ 完全スリット ・ 部分スリット <8.22.1>

4. スリットの充填材

耐火材の使用 ・ 使用する ⊙ 使用しない <8.22.2>
適用箇所 ※ 図示
遮音材の使用 ⊙ 使用する ・ 使用しない
適用箇所 ※ 図示

特記事項

一級建築士事務所 日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
℡022-245-2333

検図	製図	日付	設計名称	図面内容	図面番号
		平成22年9月	平成22年度 西成田地区コミュニティセンター改修工事	特記仕様書(3)	A-3 全 枚ノ内

縮尺 ——
設計番号

⑨-1（アスベスト含有建材の処理工事） 環境配慮改修工事

①. 一般事項

石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。

施工調査 <9.1.1(d)>

※ 行う （調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。
調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。）

調査箇所 ※ 図示 ・（ ）

調査事項
- ※ アスベスト含有建材等の使用部位
- ※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ
- ※ 施工範囲と工事範囲区分
- ※ 廃棄物などの搬出方法

⊙ 行わない。

アスベスト含有分析 <9.1.1(d)>

・ 行う（分析結果は監督職員に提出する。）
分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。

材 料 名	定性分析	定量分析
	・（試料数： ）	・（試料数： ）
	・（試料数： ）	・（試料数： ）
	・（試料数： ）	・（試料数： ）
	・（試料数： ）	・（試料数： ）

⊙ 行わない

アスベスト粉じん濃度測定 <9.1.1(e)>

※ 行う（測定する時期・場所等は下表による）
「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部－：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	室 名 等
・	測定１	処理作業前	処理作業室内（注１）	※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点	
・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点	
・	測定３	処理作業中	処理作業室内（注１）	※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点	
⊙	測定４		セキュリティゾーン入口（空気の流れを確認）	※１点 ・ 点 ※１点 ・ 点 ※１点 ・ 点 ※１点 ・ 点	
⊙	測定５		負圧・粉じん装置の排出吹出口（除じん装置の性能確認）	※１点 ・ 点 ※１点 ・ 点 ※１点 ・ 点 ※１点 ・ 点	
⊙	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点	
⊙	測定７	処理作業後シート撤去前	処理作業室内	※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点	
・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点	
・	測定９	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点 ※２点 ・ 点	
測 定 点 総 計				点	

注１：周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。

・ 行わない。

（例）アスベスト粉じん濃度測定方法

	測点３	測点１，２，４，６，７，８	測点５
数計機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	２５㎜		４７㎜
試料の吸引流量	１Ｌ／min	５Ｌ／min	１０Ｌ／min
試料の吸引時間	５min	１２０min	２４０min
試料の透明化	アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法		
計数条件	総合倍率４００倍、アスベスト繊維総数、通常５０視野		
計数アスベスト	幅３μm未満、長さ５μm以上、アスペクト比（長さ／幅）３以上		
定量限界	５０本／Ｌ	０．４７本／Ｌ	０．３本／Ｌ

記録する項目
- ア．測定結果
- イ．測定時間
- ウ．測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。）
- エ．サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
- オ．マウンティング法
- カ．顕微鏡視野面積、計数視野数
- キ．測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風量

測定機関 <9.1.1(e)>
都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関

施工記録報告書の提出
1. 施工計画書
2. 工事記録及び工事写真
3. 産業廃棄物処理記録（廃石綿）
4. 施工調査等記録（条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等）
5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録
6. その他必要事項

提出部数 ３部作成

２. 除去工事共通事項

専門工事業者 <9.1.2(a)>
アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。

作業主任者の選出 <9.1.2(b)>
石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。

除去作業者の教育 <9.1.2(c)>
作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けたものとする。
また、一般健康診断、じん肺健康診断を受診したものとし、肺機能に異常のないものとする。

特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 <9.1.2(d)>
排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。
ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。

表示及び掲示 <9.1.2(f)>
更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。
- ※ アスベスト作業主任者名と職務内容
- ※ 関係者以外立入禁止
- ※ 喫煙・飲食の禁止
- ※ 「アスベスト除去作業中」の表示
- ※ アスベストの有害性
- ※ 取り扱い上の注意事項
- ※ 使用すべき保護具

周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。
- ※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ（労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等）」

保護具、保護衣 <9.1.2(g)>
作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。

除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 <9.1.3(c)><9.1.4(c)><9.1.5(C)>
- ※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管
- ※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形版を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
- ※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。

３. アスベスト含有吹付け材の除去

アスベスト含有吹き付け材の除去工事 <9.1.3(b)>
- ・ 行う
- ・ 行わない

適用範囲 ※ 図示

作業場等の隔離等 <9.1.3(a)>
※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。

隔離シートの性能

※ 床面	※ 0.15㎜以上のプラスチックシート等で二重
※ 壁面	※ 0.08㎜以上のプラスチックシート等

ただし、（財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。

セキュリティーゾーンの設置 <9.1.3(a)>
※ 下表による

適用	室名	状態	
※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備
※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー（温水シャワー）
※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご

ただし、（財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。

除去物及び汚染等 <9.1.3(b)>
処理方法
※ 密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。
・ セメント固化

４. アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材の除去工事 <9.1.4(b)>
- ・ 行う
- ・ 行わない

適用範囲 ※ 図示

養生等 <9.1.4(a)>
※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。

掻き落とし、破砕、切断による除去方法
- ※ 行わない
- ・ 行う…この場合は改修標仕<9.1.3>「アスベスト含有吹き付け材の除去」によること。

除去工法 <9.1.4(b)>
- ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。
- ※ 除去物については改修標仕<9.1.3(b)>により、密封処理とする。

⑤. アスベスト含有成形板の処理

アスベスト含有成形板の除去工事 <9.1.5(b)>
- ⊙ 行う
- ・ 行わない

適用箇所 ※ 図示 <9.1.5(a)>

養生
※ 作業場は、シート等により囲うこと。

除去工法 <9.1.5(b)>
- ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
- ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。
- ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

9-2（環境配慮改修工事）断熱材工事

<9.5.2～3>

			厚さ(㎜)	
※ ポリスチレンフォーム（発泡プラスチック保温材）	・A種ビーズ法 ※A種押出法 ２種ｂ	下記以外	※ 25	JIS A 9511の規格品
	※A種押出法 ３種ｂ（スキン層付き）	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※Ａ種			
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※Ａ種１		※ 20	JIS A 9526による難燃性 ・２級 ※３級

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成17年度版）７－０１－１による

⑩ 土工事

①. 埋戻し及び盛土の種別 (3.2.3)(表3.2.1)
・ Ａ 種 ※ Ｂ 種 ・ Ｃ 種 ・ Ｄ 種
Ｃ種の場合 建設発生土受入れ量 m3
発生場所
受入条件

②. 建設発生土の処理
- ・ 構外に搬出し適切に処理する。
- ・ 構外指示の場所に搬出する。
  受入れ施設名・住所（km）
- ⊙ 構内指示の場所に敷きならす。
- ・ 構内指示の場所にたい積する。

11 パネル・押出成形セメント板工事 コンクリートブロック・ＡＬＣ

①. コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)(表8.3.1)
ブロックの種類
※ 空洞ブロック １６
（ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。）

⑫ 舗装工事

①. 再生材	※ 使用する ・ 使用しない	(22.1.3)
２．盛土材料	路床の盛土材料 ・（ ）種	(22.2.2)(表3.2.1)
３．遮断層及び凍上抑制層用材料	遮断層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込砕石 ・ 路盤用鉄鋼スラグ	(22.2.3)
４．路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験	※ 行わない ・ 行う（※ 乱した土 ・ 乱さない土）	(22.2.5)
５．路床締固め度の試験	※ 行わない ・ 行う	(22.2.5)
⑥. 路盤材料	※ 再生クラッシャラン ＲＣ－４０（透水性舗装の場合を除く） ・ クラッシャラン Ｃ－４０ ・ クラッシャランスラグ ＣＳ－４０	(22.3.3)(表22.3.1)
⑦. アスファルト舗装	加熱アスファルト混合物の種類 表 層 ※ 再生密粒度アスファルト混合物（１３） ・ 密粒度アスファルト混合物（１３） ・ 細粒度アスファルト混合物（１３） 基 層 ※ 再生粗粒度アスファルト混合物（２０） ・ 粗粒度アスファルト混合物（２０）	(22.4.4)(表22.4.6)
⑧. コンクリート舗装	早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない 溶接金網 ※ あり ・ なし	(22.5.3)
９．ブロック系舗装	・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地 ⊙ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石基層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装	(22.8.2)(表22.8.1)
⑩ 縁石及び側溝		(22.9.2)
11. 砂利敷き	・ Ａ種(通路) ※ Ｂ種(建物周辺)	(22.10.2)
⑫ 区画線	※ ３種１号白	

⑬ ユニット及びその他の工事

１．フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工場所	工法	仕上り高(㎜)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（独立支柱工法）				

ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示による
床表面仕上げ材の品質は第6章による。
配線取出し用切り欠きパネルは１枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み）パネル ※ なし
・ 有り（※固定式 ・可変式）
施工箇所は図示

２．可動間仕切（パーテーション） (20.2.3)
- 構造形式による種類 スタッド式密閉形
- 構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系
- パネル表面材 焼付塗装鋼板（標準色） ｔ＝０．５以上
- 遮音性 ３６dB以上
- 防火性能 不燃

③. 移動間仕切（スライディングドア） (20.2.4)
- パネルの操作方法による種類 規定しない
- パネル表面材の材質及び仕上げ 製造所仕様の化粧鋼板（標準色） ｔ＝０．５以上
- パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
- 遮音性 ３６dB以上
- 防火性能 不燃
- 取り付け用あと施工アンカー 材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

④. トイレブース (20.2.5)
※図示
- 表面材 ポリ合板（標準色）
- 幅 木 ステンレス製 H＝50
- フレーム アルミ製
- 扉 厚４０中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

５．階段滑り止め（ノンスリップ） (20.2.6)
材 種 ステンレス（ＳＵＳ３０４）
ビニールタイヤ入り（幅約35㎜）
取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法

⑥. 床目地棒 (20.2.7)
ステンレスＦＢ（ＳＵＳ３０４） ５～６×１２
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

⑦. 鏡 (20.2.9)
耐湿鏡 ｔ＝５ ステンレスフレーム付き

８．点検口

施工箇所	材 種	寸 法	形 式
天 井	※ アルミニウム製	※ ４５０×４５０ ・ ６００×６００	※ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製	・ ４５０×４５０ ※ ６００×６００	※ 一般型貼物用 ・ 一般型充填用

９．視覚障害者用誘導ブロック
屋 外 ※ コンクリート製
・ 磁器質タイル（※１００角 ・１５０角）

⑩. 手すり 集成材φ40 既製品

⑪. ベビーシート 難燃性樹脂製 780×135×1145 TOTO㈱ YKA25 同等品

⑫. ベビーキープ 難燃性樹脂製 300×250×950 TOTO㈱ YKA15 同等品

⑬. 便所手摺
材 質 ステンレス鋼管SUS304＋軟質塩化ビニール被覆、既製品、径３４Φ
小便器用 形状は標準詳細図6-27-1 に準ずる
多目的便所 可動手すり（Ｌ 600）
固定手すり（Ａ）（Ｌ 800、Ｈ 700）
大便器用 固定手すり（Ａ）（Ｌ 800、Ｈ 700）

⑭. 化粧ケイ酸カルシウム板
０．８化粧ケイ酸カルシウム板 ｱ)6.0 ウレタン樹脂系塗装品 接着貼り
継ぎ目処理：変成ｼﾘｺﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ(W 4)

⑮. 浴槽内ｽﾃｯﾌﾟ
樹脂製介護用浴槽内ステップ 470×250×400（専用金物固定）
矢崎化工㈱ Y-10同等品

⑯. 浴槽 ポリバス 1620×1220×680 TOTO㈱ PYW1602R 同等品

⑰. ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板 メラニンポストフォームカウンター材 ｱ)19 Ｆ☆☆☆☆品

⑱. 緞帳舞台幕 ポリエステル製 ㈱サンゲツ ウイーンＧ 同等品

⑳. 映写スクリーン
手動巻き上げ式映写スクリーン１２０インチ（2438×1829）
アルミ製スクリーンボックス（2900×150×150）

各工事の区分表

工事項目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構		備考
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ	○	○	●	○	○			各工事に必要なｽﾘｰﾌﾞは各々の工事とする（予備は建築工事）
同上貫通の開口補強	●							
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	○	○	●	○	○			
工場製作間仕切及び同左の天井,床,各種設備器具の穴開け,取付枠及び補強								
天井付各種設備器具の穴開け,取付枠及び補強･補修	※	○	○	○				※下地補強のみ建築
設備関係諸室のシンダーコンクリート	○							
屋上、屋外及び屋内設置機器及び水槽類の基礎	○							
同上　仕上（防水）	○							
同上　用架台及びアンカーボルト箱入れ,埋込み		○	○	○				
自動ドア・防火扉（シャッター含む）	○	※						※煙感からの信号、１次配線
台所用ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞﾌｧﾝ及び浴室天井扇及び取付調整			○					ﾕﾆｯﾄバス除く
同上ダクト接続				○				
同上電源用配管,配線及び接続		○						
ユニットバス(ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ含む以下同じ)墨出し及び据付工事	○							
浴槽及び据付	○							浴槽パン共建築工事
ユニットバス内シャワー水栓及び取付	○							
同上廻りシーリング打ち	○							
同上への配線及び配管接続		○	○					※１次側のみ
流し台及び据付工事	●							
同上への配管接続			●					
吊戸棚，水切棚及び取付（バックガード共）	○							
同上への照明用電源配線及び接続		○						
洗面台及び据付			○					
洗面台カウンター表面板仕上げ（製作物のみ）	○							
同上配管接続			○					
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続		○						
洗濯パン			○					
設備機器用スリーブ,給気用スリーブ及び取付			○	○				
ダクト用ベントキャップ及び取付				○				
床、壁、天井点検口（下地補強共）	○							設備盤用扉は各設備工事
換気扇及び取付枠への取付,配線		※		○				※配線は電気
換気扇取付枠及び躯体への取付				○				
床暖房工事	※1	※2	※2					※１仕上げは建築　※２電気又は空調は電気式・温水式区分による
非常用照明及び誘導灯		○						
消火器			○					
同上表示及び収納箱	○							
各種配管,ダクトの雨掛り躯体貫通部のｼｰﾘﾝｸﾞ打ち		○	○	○				
エレベーター各階出入口躯体穴開け・吊りフック	○							
エレベーター出入口三方枠・扉上部幕板					○			
三方枠廻りのノロ詰め					○			
エレベーター機械室床,穴開け復旧工事	○							
資材搬入口の仮設並びに復旧工事	○							
機器類取付後の出入口廻り(壁･床･枠等)仕上工事	○							
竪樋・ドレン・受け樋	○							
竪樋から第一桝までの接続	○							
同上第一桝以降の排水設備（桝・側溝等）						●		
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ	※1	○	○					※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）
ＴＶアンテナ、アンカーボルト取付工事		○						
屋上点検口、各種タラップ工事	○	※	※	※				※図面特記により電気、衛生又は空調
ゴミ集積所工事（屋外）		※				○		※照明器具の設置及び配線
自転車置場（屋外）						○		
同上照明器具及び接続		○						
プロパンボンベ庫	○	※	※					
同上配管工事			○					
便所の手摺り	●							
便所のペーパーホルダー			●					
手洗い乾燥機			○					
浄化槽・受水槽・オイルタンク躯体	※		○					※特殊基礎は建築工事
屋外駐車場,歩道工事						○		
雨水排水側溝設置工事						○		
同上排水管接続			○					
暖房便座用コンセント工事		●						
同上配管.配線工事		●						
既存床はつり補修	●							床スラブ配筋工事共
配管用はつり補修			●					モルタル詰め共
同上床仕上げ工事	●							

	工事項目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構			別途	備考
1	・仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金，	○	○	○	○	○	○			●	
2	・仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費用	○	○	○	○	○	○			●	
3	１，２以外の工事及び調整等に要する上下水電気等に要する費用	○	○	●	○	○	○				
4	上下水道・ガス・電気等の加入金，負担金									●	

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL０２２－２４５－２３３３

検図
製図
日付　平成22年9月

設計名称　平成２２年度　西成田地区コミュニティセンター改修工事

図面内容　工事区分表

縮尺　――

図面番号　A　―　5　全　枚ノ内

設計番号

地山で崩壊等の危険性は無いと考えられる。

隣地

U字溝

＜軟岩＞

A断面図 S=1/300

隣地

隣地境界線

改築部分 (33.54㎡)

改築部分 (91.50㎡)

改修建物 (608.02㎡)

増築建物 あづまや (33.54㎡)

薬草園

増築建物 外部トイレ (13.79㎡)

駐車スペース

倉庫2 W造1階 19.87㎡

倉庫1 S造1階 (9.6㎡)

増築建物 自転車置場 (9.48㎡)

合併処理浄化槽

自転車置場

道路境界線

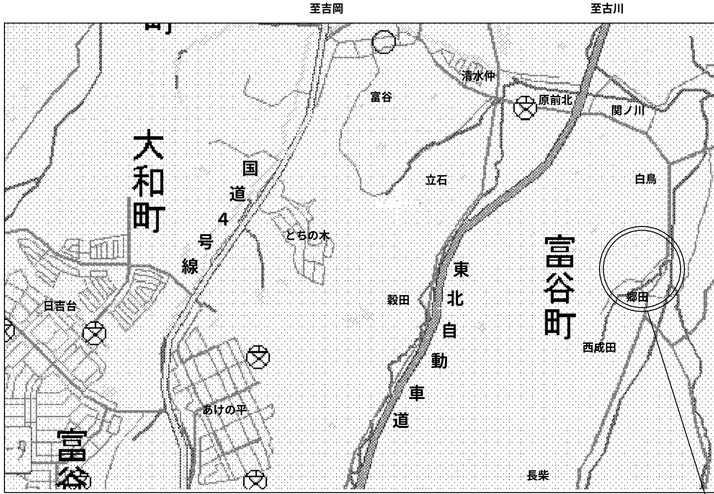
道路 (町道)

道路

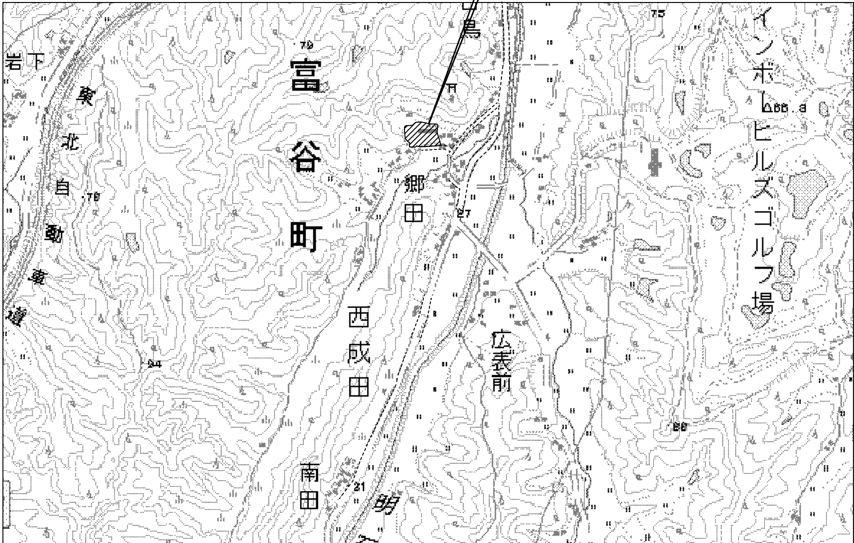
隣地

配 置 図 S=1/300



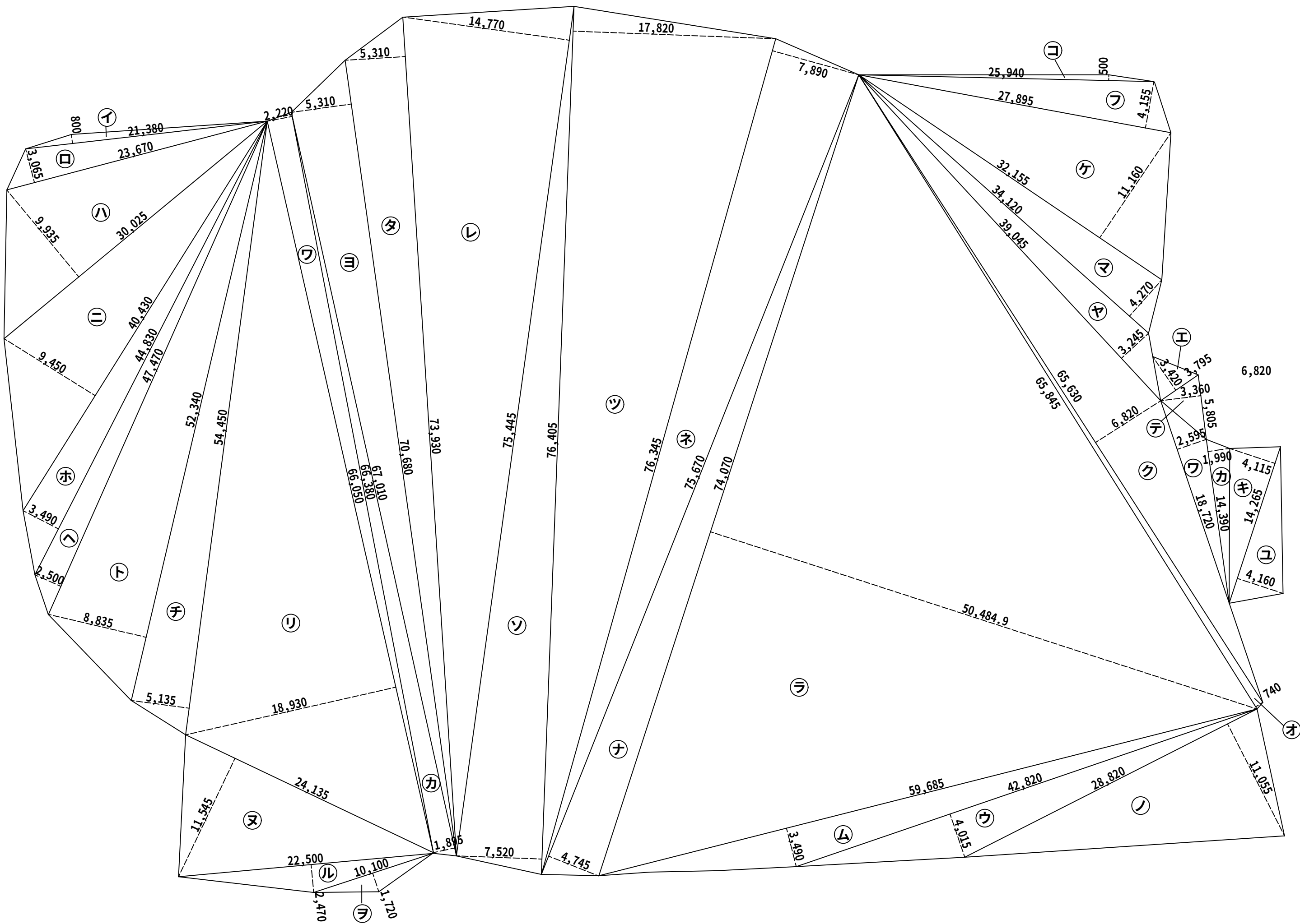


工事場所：富谷町西成田地内

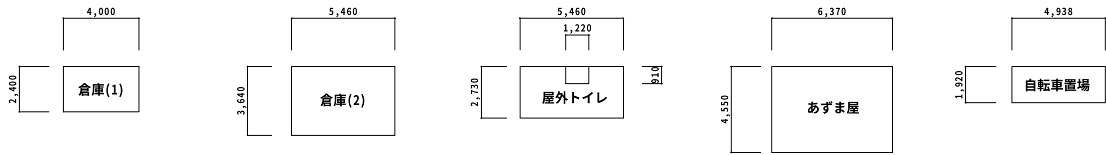


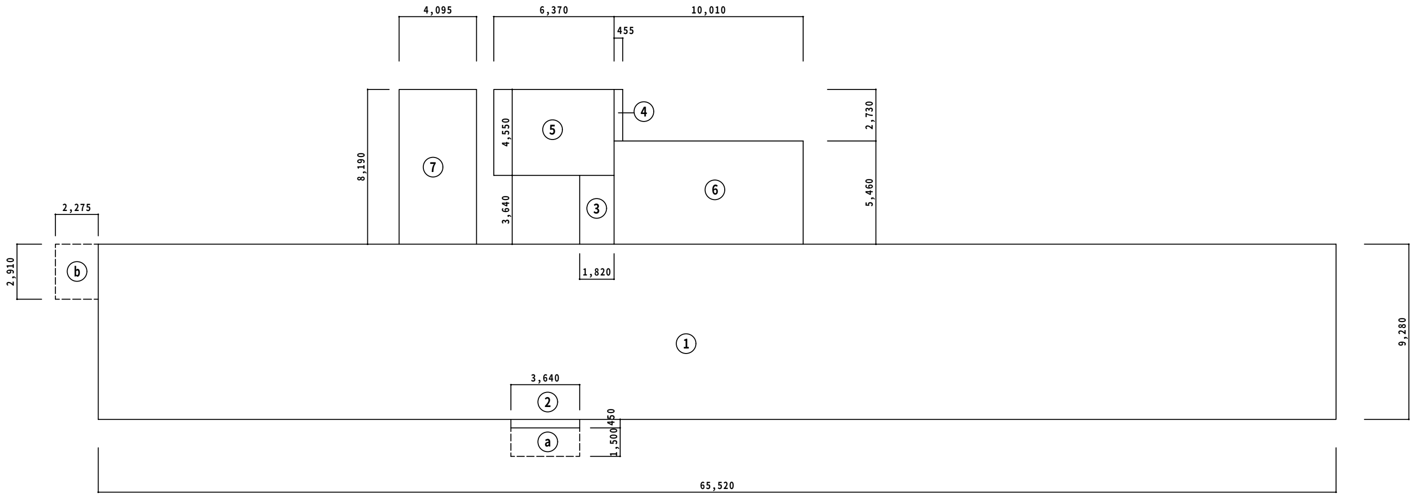
案 内 図

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.09.06	設計名称 平成22年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 配置図・案内図	図面番号 A－6 枚ノ内
					縮尺 S=1:300	設計番号



敷地求積図　　1：300





求積図　　1：200

敷地面積

㋑	21.380	×	0.800	17.1040	㋒	42.820	×	4.015	171.9223
㋺	23.670	×	3.065	72.5486	㋨	28.820	×	11.055	318.6051
㋩	30.025	×	9.935	298.2984	㋔	65.845	×	0.740	48.7253
㋥	40.430	×	9.450	382.0635	㋗	65.630	×	6.820	447.5966
㋭	44.830	×	3.490	156.4567	㋳	39.045	×	3.245	126.7010
㋬	41.470	×	2.500	103.6750	㋮	34.120	×	4.270	145.6924
㋣	52.340	×	8.835	461.3771	㋘	32.155	×	11.160	358.8498
㋠	54.450	×	5.135	279.6008	㋫	27.895	×	4.155	115.9037
㋷	66.050	×	18.930	1250.3265	㋙	25.940	×	0.500	12.9700
㋦	24.135	×	11.545	278.6386	㋓	3.795	×	3.420	12.9789
㋸	22.500	×	2.470	55.5750	㋢	5.805	×	3.360	19.5048
㋾	10.100	×	1.720	17.3720	㋻	18.720	×	2.595	48.5784
㋻	66.380	×	2.220	147.3636	㋕	14.930	×	1.990	28.6361
㋕	67.010	×	1.895	126.9840	㋖	14.265	×	4.115	58.7005
㋵	70.680	×	5.310	375.3108	㋴	14.265	×	4.160	59.3424
㋟	73.930	×	5.310	392.5683					
㋹	75.445	×	14.770	1114.3227					
㋞	76.405	×	7.520	574.5656					14,364.5366
㋡	76.405	×	17.820	1361.5371					×1／2
㋧	76.345	×	7.890	602.3621					7,182.2683 ㎡
㋤	75.670	×	4.745	359.0542					
㋶	74.070	×	50.485	3739.4240					
㋰	59.685	×	3.490	208.3007					

面積算定表

①	65.520	×	9.280	608.0260	ⓐ	3.640	×	1.500	5.460
②	3.640	×	0.455	1.656	ⓑ	2.275	×	2.910	6.620
③	1.820	×	3.640	6.625					
④	0.455	×	2.730	1.242					
⑤	6.370	×	4.550	28.984	倉庫１	4.000	×	2.400	9.600
⑥	10.010	×	5.460	54.655	倉庫２	5.460	×	3.640	19.874
⑦	4.095	×	8.190	33.538					
					屋外ﾄｲﾚ	床面積　5.460×2.730－1.220×0.91			13.795
						建築面積　5.460×2.730			14.905
					あずま屋	6.370	×	4.550	28.983
					自転車置場	4.938	×	1.920	9.480

面積表

床面積　(本体既存部分)		
１Ｆ床面積	①+②+③+④+⑤+⑥	701.188㎡
延床面積	１Ｆ床面積	701.188㎡
建築面積	１Ｆ床面積 +ⓐ	706.648㎡
床面積　(既存建物)		
延床面積	倉庫１ + 倉庫2	29.474㎡
建築面積	倉庫１ + 倉庫2	29.474㎡
床面積　(本体増築部分)		
１Ｆ床面積	⑦	33.538㎡
延床面積	１Ｆ床面積	33.538㎡
建築面積	１Ｆ床面積 +ⓑ	40.158㎡
床面積　(その他増築部分)		
延床面積	屋外トイレ＋あずま屋＋自転車置場	52.258㎡
建築面積	屋外トイレ＋あずま屋＋自転車置場	53.368㎡
延床面積　(計)	(既存部分)+(本体増築部分)	734.726㎡
建築面積　(計)	(既存部分)+(本体増築部分)	746.806㎡
延床面積　(合計)	(既存部分)+(本体増築部分) + (既存建物) + (その他増築部分)	816.458㎡
建築面積　(合計)	(既存部分)+(本体増築部分) + (既存建物) + (その他増築部分)	829.648㎡

特記事項

一級建築士事務所
一級建築士事務所 日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図
日付　H22.09.06

設計名称　平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容　敷地求積図・面積表

縮尺　S＝1：200･300

図面番号　A — 7　枚ノ内

設計番号

外部仕上表

区分	改修前/改修後	仕上
屋根	改修前	カラー鉄板ｔ＝０．４瓦棒葺き　勾配４／１０
	改修後	（既存部）：素地調正の上、弱溶剤ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗料仕上げ （増築部）：耐水合板ｔ＝１２下地、アスファルトルーフィング（９４０）下貼、ガルバリューム鋼板ｔ＝０．４（カラー）瓦棒葺き　勾配２／１０
樋	改修前	軒樋：塩ビ製　　竪樋：塩ビ製１００φ
	改修後	（既存部）：軒樋－既存の軒樋撤去の上、塩ビ製角型（カラー）Ｗ＝１１０×７６新設　　竪樋－塩ビ製丸型（カラー）１００φ （増築部）：塩ビ製角型（カラー）Ｗ＝１１０×７６新設　　竪樋－塩ビ製丸型（カラー）６０φ
軒裏	改修前	杉板　ＳＯＰ
	改修後	（既存部）：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え（一部杉板部分補修の上ＳＯＰ） （増築部）：ケイ酸カルシウム板ｔ＝６　ＥＰ　目透し張（一部有孔）
外壁	改修前	杉板　ＳＯＰ
	改修後	（既存部）：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え（一部杉板部分補修の上ＳＯＰ） （増築部）：透湿防水シート（ア）０．２下張り＋通気胴縁（１８×４５）＠４５５下地＋窯業系サイディング（ア）１４（木目柄塗装品）

区分	改修前/改修後	仕上
開口部	改修前	アルミサッシ　木製建具
	改修後	（既存部）　既存のまま【既存不適格建物に対する法適合のための改修部分：建具表により改修】、木製建具をアルミ製建具に改修 （増築部）　アルミサッシ
巾木	改修前	モルタル刷毛引
	改修後	（既存部）　既存のまま （増築部）　コンクリート打放し補修（Ｂ種）
犬走り	改修前	――
	改修後	（増築部）　コンクリート金ゴテ仕上
テラス	改修前	床：モルタル金ゴテ　　屋根：タキロン（波板）
	改修後	床：解体撤去　　屋根：解体撤去

内部仕上表

	室名	既存室名	改修前/改修後	床	巾木	H	壁	廻り縁	天井	天井高	備考
既存部分	中央玄関	玄関	改修前	モルタル金ゴテ＋カラークリート仕上　仕上げ・下地撤去	モルタル金ゴテの上、床材立上げ	２００	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ	木製	化粧合板　ＳＯＰ【仕上、下地共撤去】	３，０６０	下足入撤去
			改修後	ﾓﾙﾀﾙ下地の上、磁器質タイル貼り100角	床同材立上げ	２００	腰：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え　　上部壁：既存下地調整の上、ＥＰ塗替え	新設：木製ＳＯＰ	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	３，０６０	受付カウンター、収納椅子、手摺、上り框
	ホール	ホール	改修前	ビニル床タイルｔ＝２．０　下地・仕上撤去	木製　ＳＯＰ　撤去	１５０	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ	木製	化粧石膏ボードｔ＝９．５【仕上、下地共撤去】	２，９８０	
			改修後	木造床組みの上、合板(ｱ)12下地、フローリング(ｱ)15張り	木製　ＳＯＰ　新設	１５０	（既存部）腰：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え　上部壁：既存下地調整の上、ＥＰ塗替え （改修部）腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ	新設：木製ＳＯＰ	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	２，９８０	下足入れ、館内案内板、掲示板
	廊下	廊下	改修前	ビニル床タイルｔ＝２．０　下地・仕上撤去	木製　ＳＯＰ　撤去	１５０	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ	木製	化粧石膏ボードｔ＝９．５【仕上、下地共撤去】	２，９８０	
			改修後	木造床組みの上、合板(ｱ)12下地、フローリング(ｱ)15張り	木製　ＳＯＰ　新設	１５０	（既存部）腰：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え　上部壁：既存下地調整の上、ＥＰ塗替え （改修部）腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ	新設：木製ＳＯＰ	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	２，９８０	下足入れ、館内案内板
	西玄関・東玄関		改修前	ビニル床タイルｔ＝２．０　下地・仕上撤去	木製　ＳＯＰ　撤去	１５０	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ	木製	化粧石膏ボードｔ＝９．５【仕上、下地共撤去】	２，９８０	
			改修後	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ下地の上、磁器質タイル貼り100角	床同材立上げ	２００	（既存部）腰：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え　上部壁：既存下地調整の上、ＥＰ塗替え （改修部）腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ	新設：木製ＳＯＰ	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	２，９８０	下足入れ、ｽﾃﾝﾚｽ製床見切、ﾍﾞﾋﾞｰｶｰ置場
	とみやっこルーム	昇降口１	改修前	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	２００	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ（耐震改修部）仕上げ撤去	木製	化粧石膏ボードｔ＝９．５【仕上、下地共撤去】	３，０６０	下足入撤去
			改修後	木造床組みの上、合板(ｱ)12下地、フローリング(ｱ)15張り	木製　ＳＯＰ　新設	６０	（既存部）腰：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え　上部壁：既存下地調整の上、ＥＰ塗替え （改修部）木間仕切り新設の上、石膏ボードｔ＝１２．５＋ビニルクロス	新設：塩ビ製	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	２，７００	ベビーベット、ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ(W3550×H2700)、ｶｰﾃﾝ(W900×H2200)
	幼児用・トイレ		改修前	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	２００	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ（耐震改修部）仕上げ撤去	木製	化粧石膏ボードｔ＝９．５【仕上、下地共撤去】	３，０６０	
			改修後	木造床組みの上、ビニル床シートｔ＝２．０	ビニル幅木	６０	（既存部）腰：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え　上部壁：既存下地調整の上、ＥＰ塗替え （改修部）木間仕切り新設の上、石膏ボードｔ＝１２．５＋ビニルクロス	新設：塩ビ製	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	２，４００	手洗いカウンター、鏡
	物入		改修前	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	２００	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ（耐震改修部）仕上げ撤去	木製	化粧石膏ボードｔ＝９．５【仕上、下地共撤去】	３，０６０	
			改修後	木造床組みの上、ビニル床シートｔ＝２．０	ビニル幅木	６０	（既存部）腰：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え　上部壁：既存下地調整の上、ＥＰ塗替え （改修部）木間仕切り新設の上、石膏ボードｔ＝９．５（不燃）	新設：塩ビ製	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	２，４００	棚
	プレールーム(1)(2)	子供室	改修前	カーペット　下地・仕上撤去、	木製　ＳＯＰ　撤去	１５０	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ	塩ビ製	化粧石膏ボードｔ＝９．５【仕上、下地共撤去】	３，１００	ステンレス製手洗い流し、戸棚 撤去
			改修後	木造床組みの上、合板(ｱ)12下地、フローリング(ｱ)15張り	木製　ＳＯＰ　新設	１５０	既存下地調整の上、ビニルクロス貼り	新設：塩ビ製	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	３，１００	ステンレス製手洗い流し、戸棚、可動間仕切壁
	ふれあいあったかサロン	和室１・２	改修前	タタミ　下地・仕上撤去、	タタミ寄せ　撤去		センイ壁	木製	吉野天井板　ｔ＝７【仕上、下地共撤去】	２，９００	押入 撤去
			改修後	木造床組みの上、合板(ｱ)12下地、フローリング(ｱ)15張り	木製　ＳＯＰ　新設	６０	石膏ボードｔ＝１２．５＋ビニルクロス　一部間仕切新設	新設：塩ビ製	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	２，９００	戸棚 新設
	管理人室	台所・食堂	改修前	ビニル床タイルｔ＝２．０　下地・仕上撤去	木製　ＳＯＰ　撤去	１５０	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ（耐震改修部）仕上げ撤去	木製	化粧石膏ボードｔ＝９．５【仕上、下地共撤去】	３，０５０	ガス台・流し台 撤去
			改修後	木造床組みの上、合板(ｱ)12下地、ビニル床シート(ｱ)2.0	ビニル幅木	６０	（既存部）腰：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え　上部壁：既存下地調整の上、ＥＰ塗替え （改修部）木間仕切り新設の上、石膏ボードｔ＝１２．５＋ビニルクロス	新設：塩ビ製	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	３，０５０	
	事務室		改修前	ビニル床タイルｔ＝２．０　下地・仕上撤去	木製　ＳＯＰ　撤去	１５０	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ（耐震改修部）仕上げ撤去	木製	化粧石膏ボードｔ＝９．５【仕上、下地共撤去】	３，０５０	
			改修後	木造床組みの上、合板(ｱ)12下地、ビニル床シート(ｱ)2.0	ビニル幅木	６０	（既存部）腰：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え　上部壁：既存下地調整の上、ＥＰ塗替え （改修部）木間仕切り新設の上、石膏ボードｔ＝１２．５＋ビニルクロス	新設：塩ビ製	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	３，０５０	流し台 新設
	ホール(1)(2)	事務室 談話室 和室３	改修前	ビニル床タイルｔ＝２．０　下地・仕上撤去 タタミ　下地・仕上撤去	木製　ＳＯＰ　撤去 タタミ寄せ　撤去	１５０	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ（耐震改修部）仕上げ撤去 センイ壁撤去	木製	化粧石膏ボードｔ＝９．５【仕上、下地共撤去】 吉野天井板　ｔ＝７【仕上、下地共撤去】	３，０５０ ２，７５０	床の間、押入 新設
			改修後	木造床組みの上、合板(ｱ)12下地、フローリング(ｱ)15張り	木製　ＳＯＰ　新設	１５０	（既存部）腰：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え　上部壁：既存下地調整の上、ＥＰ塗替え （改修部）腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ	新設：木製ＳＯＰ	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	３，０５０	ステージ、映像スクリーン(天井付)、可動間仕切壁、可動木製ｽﾛｰﾌﾟ
	和室（サクラ･ハギ）	会議室１ 会議室２ ステージ	改修前	フローリング　下地・仕上撤去	木製　ＳＯＰ　撤去	１５０	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ（耐震改修部）仕上げ撤去	木製	化粧石膏ボードｔ＝９．５【仕上、下地共撤去】	２，９８０	床の間、押入 新設
			改修後	木造床組みの上、合板(ｱ)12下地、フローリング(ｱ)15張り 薄タタミ(ｱ)30（移動式）	木製　ＳＯＰ　新設	１５０	（既存部）腰：既存下地調整の上、ＳＯＰ塗替え　上部壁：既存下地調整の上、ＥＰ塗替え （改修部）腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ	新設：木製ＳＯＰ	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	２，９８０	可動框、可動間仕切壁、押入中棚・枕棚
	倉庫	昇降口２	改修前	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	１５０	腰：板張りｔ＝１２　ＳＯＰ　　上部壁：プラスター塗　ＥＰ（耐震改修部）仕上げ撤去	木製	化粧石膏ボードｔ＝９．５【仕上、下地共撤去】	２，９８０	下足入撤去
			改修後	木造床組みの上、ビニル床シートｔ＝２．０ 南側：既存のまま	ビニル幅木 南側：既存のまま	６０	（既存部）既存のまま （改修部）木間仕切り新設の上、石膏ボードｔ＝９．５（不燃）	新設：塩ビ製	木製下地新設の上、化粧石膏ボードｔ＝９．５	２，９８０	木製棚
増築部分	廊下	—	—	ビニル床シートｔ＝２．０	ビニル巾木	６０	石膏ボードｔ＝１２．５＋ビニルクロス	塩ビ製	化粧石膏ボードｔ＝９．５	２，４００	ＥＸＰ．Ｊ．（壁・天井：アルミ製既製品Ｗ１００用）
	更衣室	—	—	ビニル床シートｔ＝２．０	ビニル巾木	６０	石膏ボードｔ＝１２．５＋ビニルクロス	塩ビ製	化粧石膏ボードｔ＝９．５	２，４００	更衣棚、洗面台、鏡
	浴室	—	—	磁器質タイル３００角			陶器質タイル２００角	塩ビ製	耐水石膏ボードｔ＝９．５＋バスリブ	２，４００	浴槽（ＴＯＴＯＰＹＷ１６０２Ｒ程度）、補助手摺、ステップ
	水飲み場	—	—	ビニル床シートｔ＝２．０	ビニル巾木	６０	石膏ボードｔ＝１２．５＋ビニルクロス	塩ビ製	化粧石膏ボードｔ＝９．５	２，４００	ステンレス製流し台、鏡
その他	大浴場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	補助手摺、ステップ
	だれでもﾄｲﾚ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ベビーキープ（TOTO YKA13同等）、ベビーベッド(TOTO YKA25同等)
	男子ﾄｲﾚ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	小便器用補助手摺（TOTO T113U2同等）

凡　例

ＳＯＰ　合成樹脂調合ペイント
ＥＰ　合成樹脂エマルジョンペイント
Ｖ．Ｐ　塩化ビニル樹脂エナメル
２－ＵＣ　２液形ポリウレタン樹脂ワニス塗り
（設備）は設備工事を示す

特記事項

（１）断熱材：（改修部）天井：グラスウール24Kg／m3　(ｱ)50敷き込み
　　　　　　　　　　　床　：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(ｱ)75敷き込み
　　　　　　（増築部）壁　：グラスウール24Kg／m3　(ｱ)100敷き込み
　　　　　　　　　　　天井：グラスウール24Kg／m3　(ｱ)50敷き込み
　　　　　　　　　　　床　：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ(ｱ)30敷き込み（防湿ｼｰﾄ：ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑt=0.15）
（２）本工事に使用する塗料及び建材についてはＦ☆☆☆☆もしくは規制対象外のものとする。
（３）クロス類：壁装材料第０００３号　防火２級品とする

防火材認定品

石膏ボード　ＧＢ－Ｒ（ア）　９．５	準不燃	第ＱＭ－９８２８号
石膏ボード　ＧＢ－Ｒ（ア）１２．５	不燃	第ＮＭ－８６１９号
防水石膏ボード　ＧＢ－Ｓ（ア）９．５・１２．５	準不燃	第ＱＭ－２０１８号
化粧石膏ボード　ＧＢ－Ｄ　（ア）９．５	準不燃	第ＱＭ－９８２４号
化粧石膏ボード　ＧＢ－ＮＣ（ア）９．５	不燃	第ＮＭ－８６１３号
ケイ酸カルシウム板　ＦＫ（ア）６～１２	不燃	第ＮＭ－８５７８号
ロックウール吸音板　ＤＲ（ア）９～１２	不燃	第ＮＭ－８５９９号

耐火材認定品

鉄骨梁耐火被覆ロックウール（ア）２５吹付	１時間耐火	第ＦＰ０６０ＢＭ－９４０８号
鉄骨柱耐火被覆ロックウール（ア）２５吹付	１時間耐火	第ＦＰ０６０ＢＭ－９４６０号
ＡＬＣ版　１００　外壁	１時間耐火	第ＦＰ０６０ＮＥ－９２４９号
ＡＬＣ版　１００　屋根	３０分耐火	第ＦＰ０３０ＲＦ－９３２０号
ＡＬＣ版　１００　床	１時間耐火	第ＦＰ０６０ＦＬ－９１１９号
ＡＬＣ版　３５　鉄骨梁被覆	１時間耐火	第ＦＰ０６０ＢＭ－９３５２号
ＡＬＣ版　３５　鉄骨柱被覆	１時間耐火	第ＦＰ０６０ＣＮ－９４０５号
間仕切壁軽鉄下地石膏ボード（ア）１５両面２重張り壁	１時間耐火	第ＦＰ０６０ＮＰ－９１７３号

特記事項

一級建築士事務所
日新設計
NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.,Ltd.
一級建築士事務所
日　新　設　計　株　式　会　社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
℡ 022-245-2333

検図	製図	日付
		H22.09.06

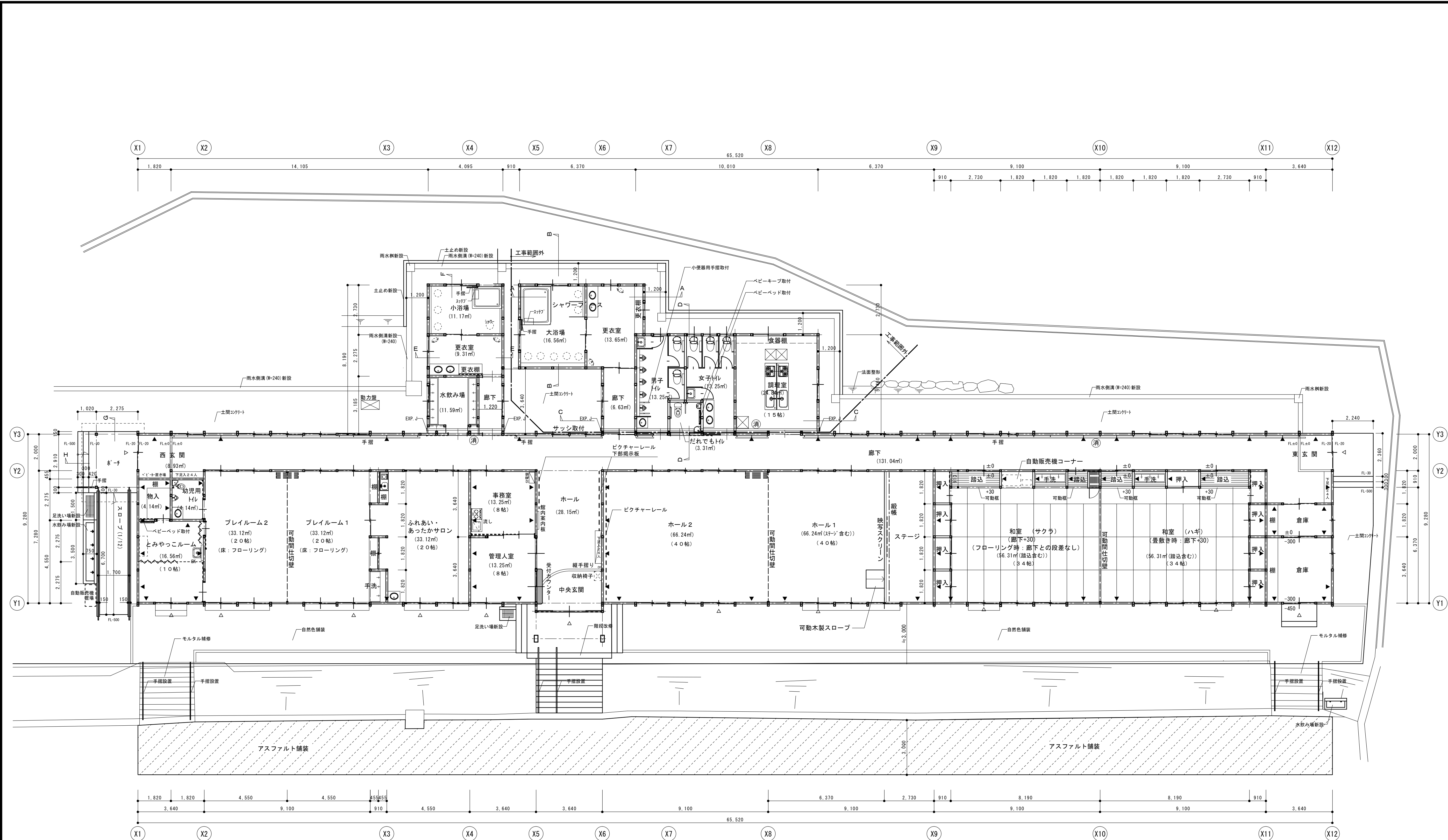
設計名称　平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容　仕上表

図面番号　Ａ－８　枚ノ内

縮尺

設計番号



凡 例

(消) : 消火器 (ABC10型)

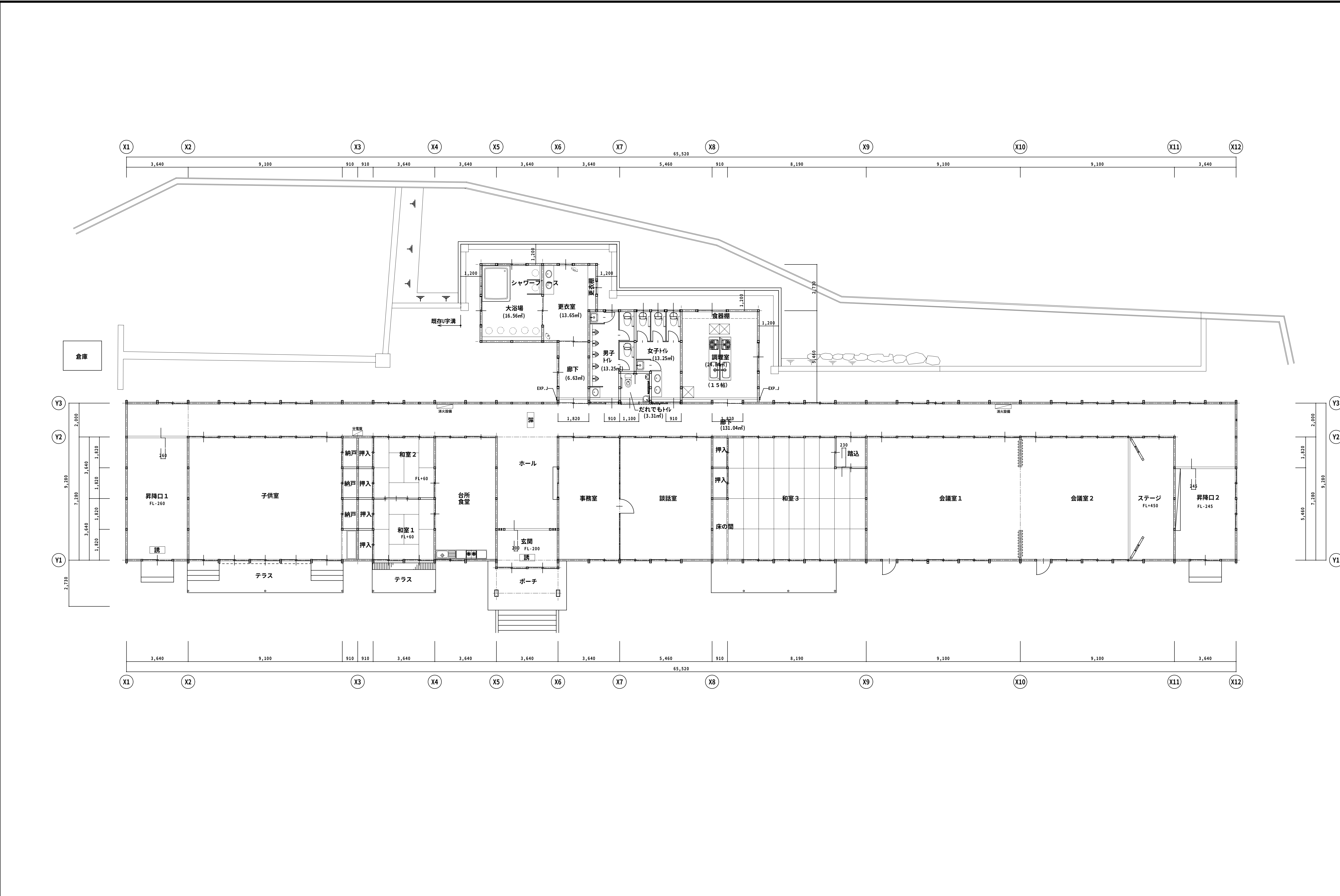
▼ : 耐震補強改修部分

特記事項

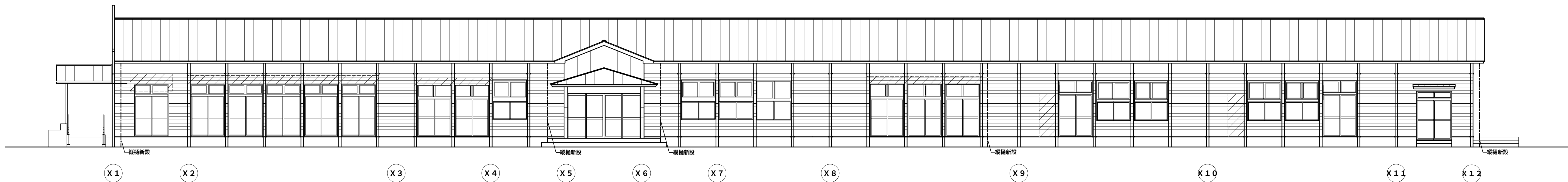
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	
日付	H22.09.06
設計名称	平成22年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事
図面内容	(改修後) 平面図
縮尺	S=1:100
図面番号	A — 9 枚ノ内
設計番号	



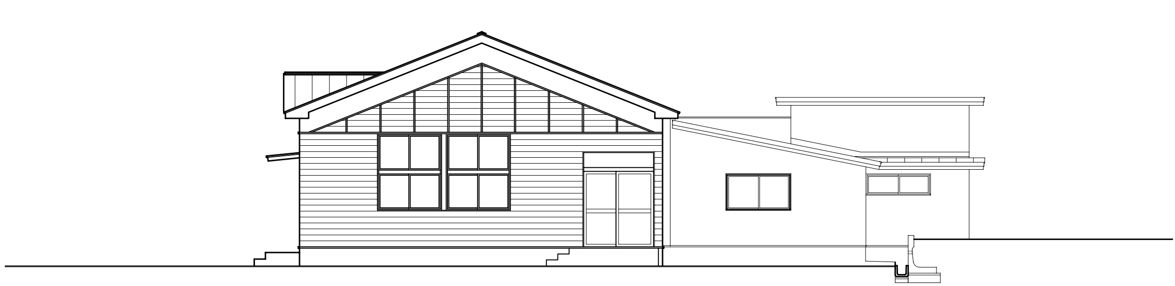
特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.09.06	設計名称 平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 （改修前） 平面図 / 縮尺 S＝1：100	図面番号 A — 10 枚ノ内 / 設計番号



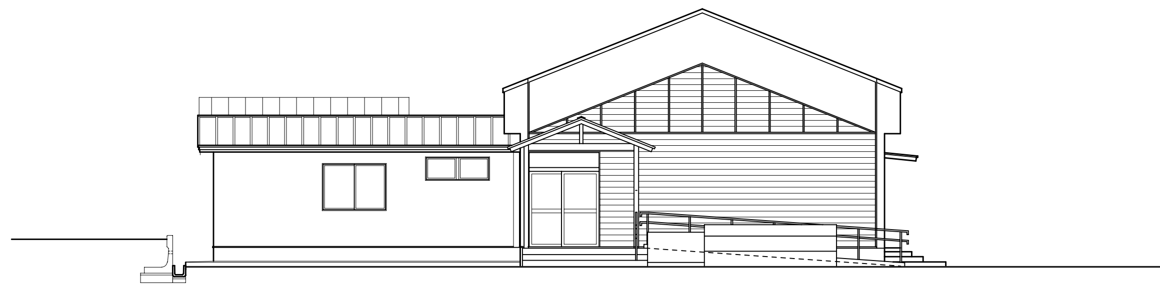
南側立面図 S=1/100

凡 例

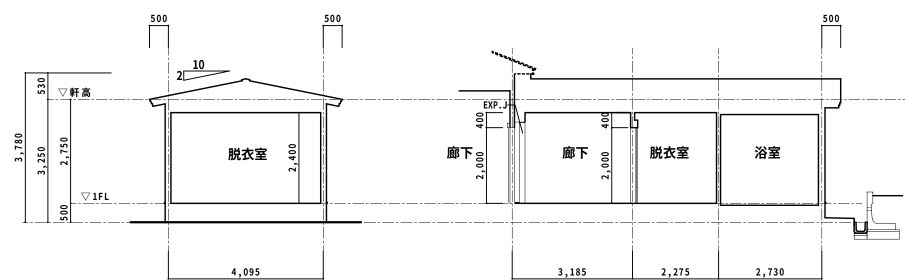
：既存撤去部分補修



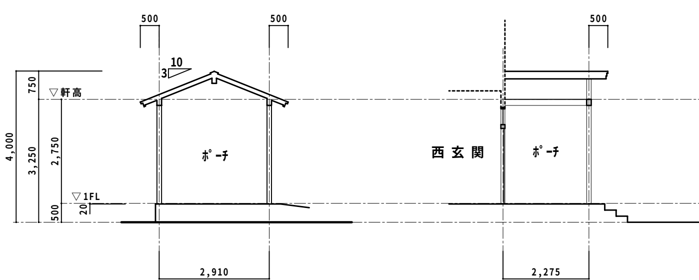
東側立面図 S=1/100



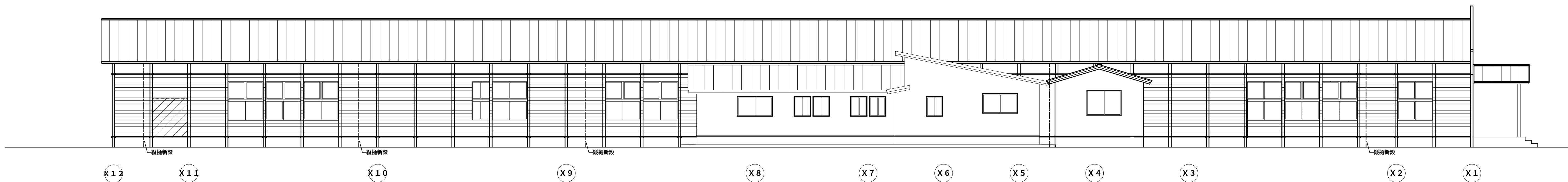
西側立面図 S=1/100



増築部断面図(1) S=1/100



増築部断面図(2) S=1/100



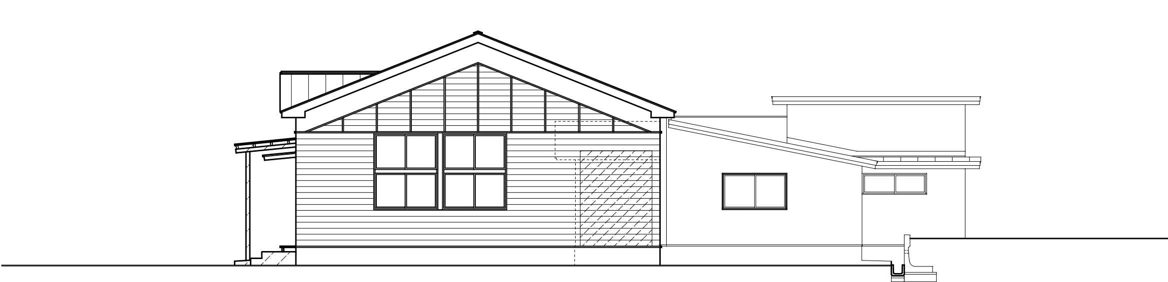
北側立面図 S=1/100

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.09.06	設計名称 平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 （改修後） 立 面 図 縮尺 S＝1：100	図面番号 A — 11 枚ノ内 設計番号

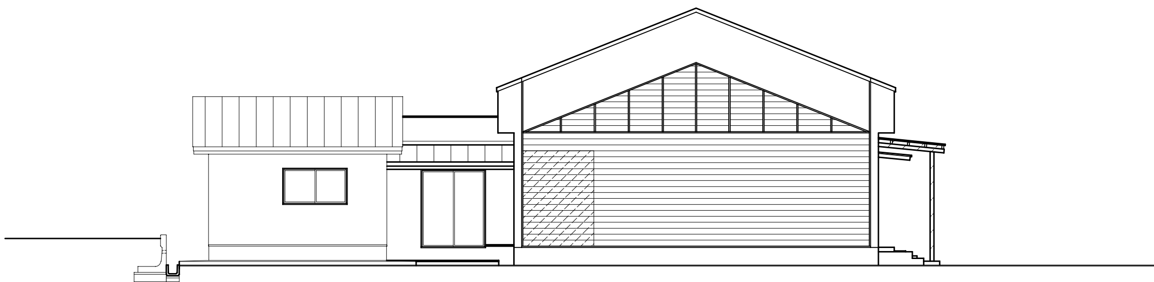


南側立面図　S=1/100

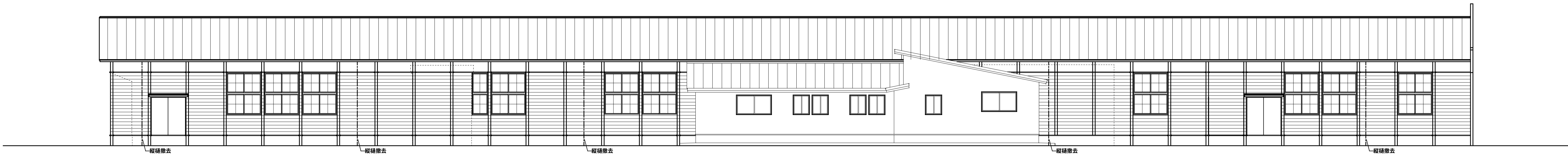
凡　例
：既存撤去部分



東側立面図　S=1/100



西側立面図　S=1/100



北側立面図　S=1/100

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録 第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.09.06	設計名称 平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 （改修前）　立　面　図 縮尺 S＝1：100	図面番号 A — 12 枚ノ内 設計番号

凡　例

屋根塗装改修範囲を示す

工事範囲外

(改修後)　屋根伏図　S=1/100

凡　例

天井仕上げ・下地新設部分を示す

屋根及び天井新設を示す

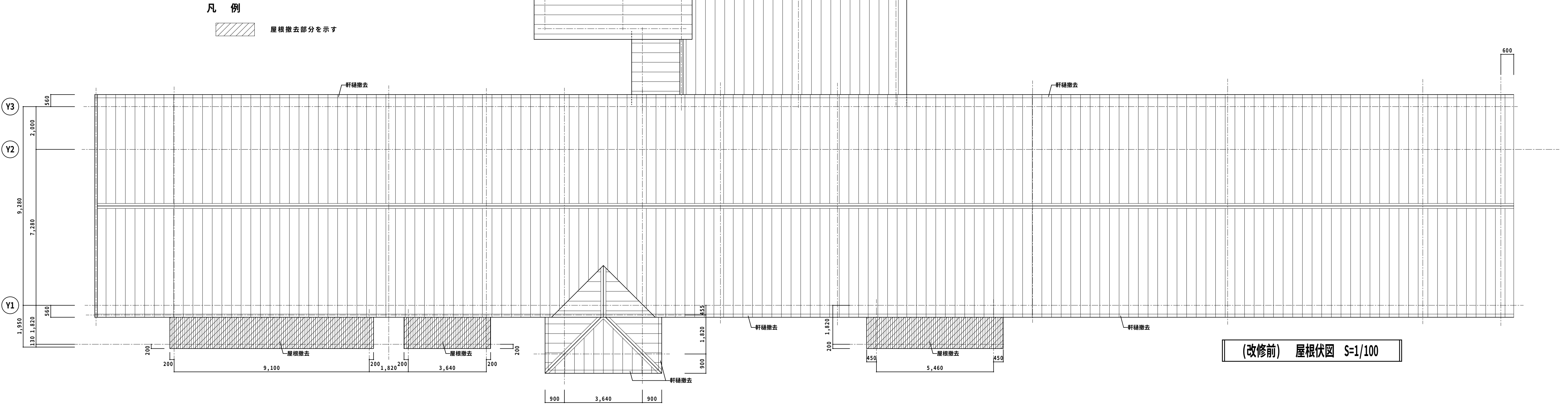
スチール製カーテンボックス(W=150)

西玄関　物入　幼児用トイレ　とみやっこルーム　プレイルーム2　プレイルーム1　可動間仕切壁　ふれあい・あったかサロン　事務室　管理人室　ホール　ピクチャーレール　ホール2　ホール1　ステージ　和室（サクラ）　和室（ハギ）　倉庫　押入　踏込　東玄関　廊下　小浴場　更衣室　水飲み場　大浴場　男子トイレ　女子トイレ　だれでもトイレ　調理室

手動巻き上げ式映写スクリーン120インチ（2438×1829）
アルミ製スクリーンボックス（2900×150×150）

(改修後)　天井伏図　S=1/100

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.09.06	設計名称 平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 (改修後)　屋根伏図・天井伏図	図面番号 A ― 13
					縮尺 S＝1：100	設計番号



X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12

65,520

3,640	9,100	910	910	3,640	3,640	3,640	3,640	5,460	910	8,190	9,100	9,100	3,640

凡　例

天井仕上げ・下地撤去部分を示す

屋根撤去部分を示す

大浴場　更衣室　男子トイレ　女子トイレ　調理室　廊下　だれでもトイレ

Y3　Y2　Y1

2,000　9,280　7,280　1,820　3,640　1,950　5,460

廊下

昇降口１　子供室　納戸　押入　納戸　押入　納戸　押入　押入　和室２　和室１　台所 食堂　ホール　玄関　事務室　談話室　押入　押入　床の間　和室３　踏込　会議室１　会議室２　ステージ　昇降口２

テラス　テラス　ポーチ　テラス

3,640	9,100	910	910	3,640	3,640	3,640	3,640	5,460	910	8,190	9,100	9,100	3,640

65,520

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12

（改修前）　天井伏図　S=1/100

特記事項	一級建築士事務所 日新設計 NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.,Ltd. 一級建築士事務所 日　新　設　計　株　式　会　社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 日付 H22.09.06	設計名称 平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 （改修前）　屋根伏図・天井伏図 縮尺 S＝1：100	図面番号 A — 14 枚ノ内 設計番号



（凡　例）

木間仕切下地・仕上の新設部分を示す

耐震補強改修による仕上の復旧部分を示す

特記事項

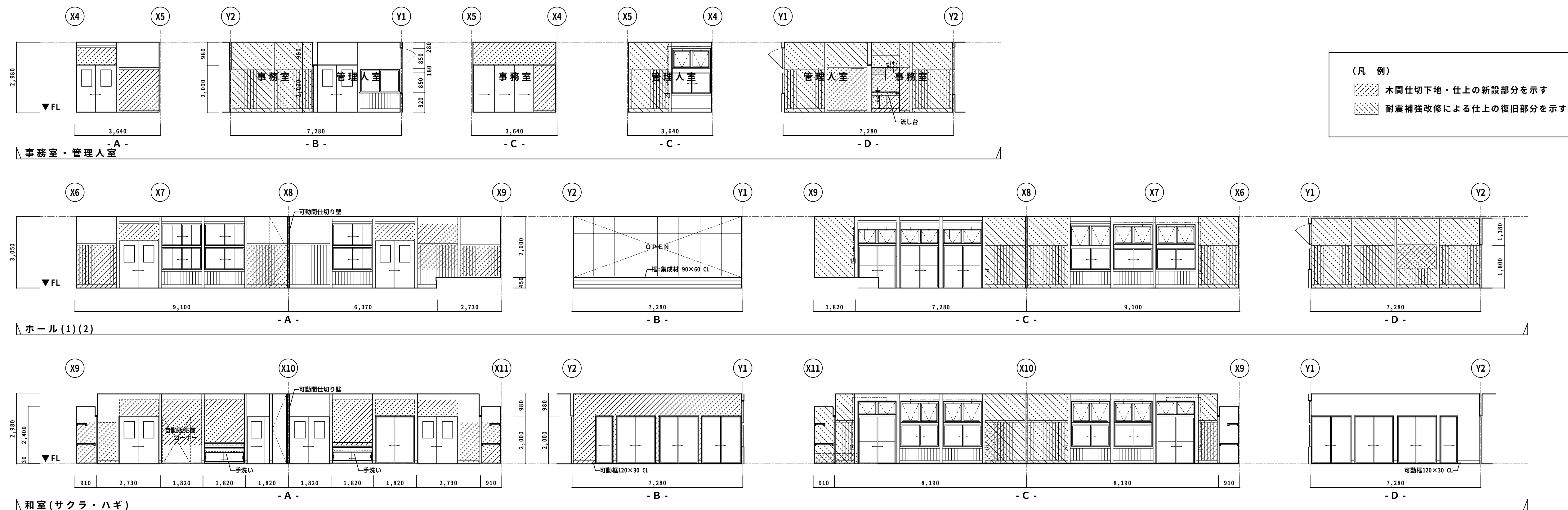
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

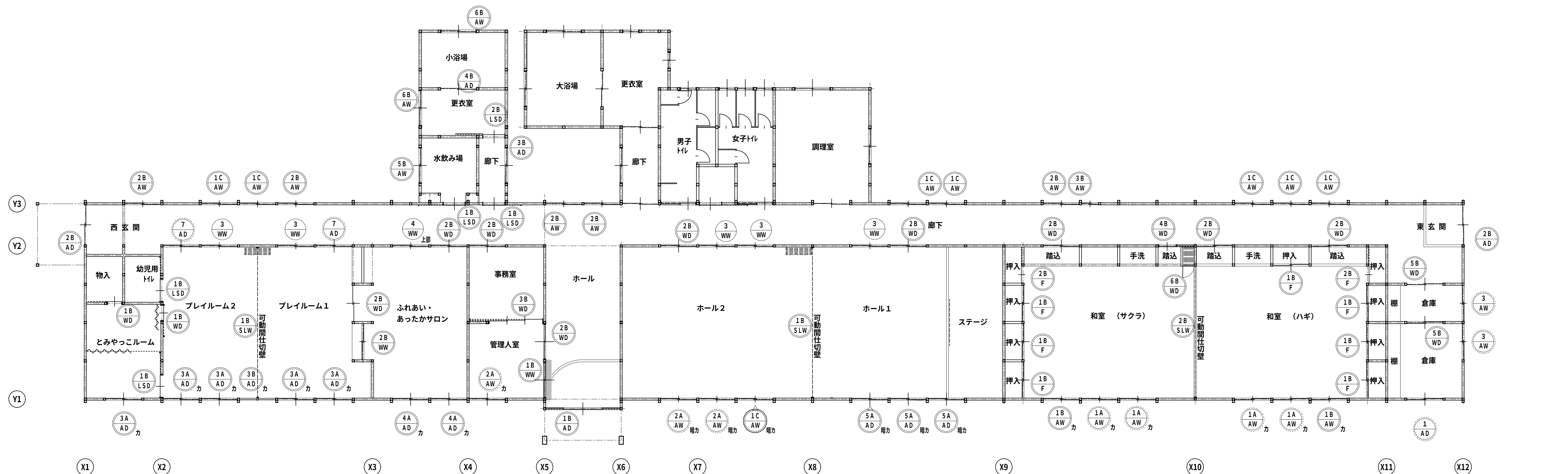
一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	
日付	H22.09.06

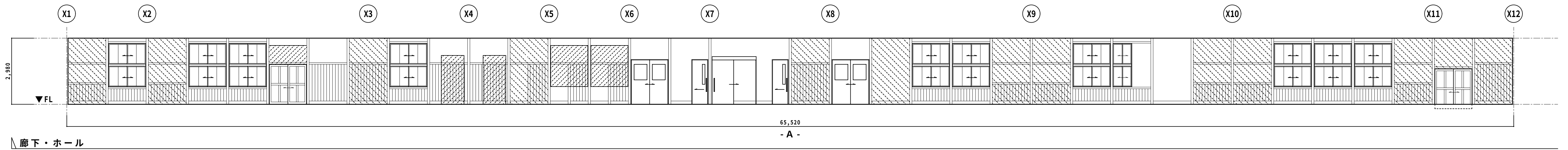
設計名称：平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事

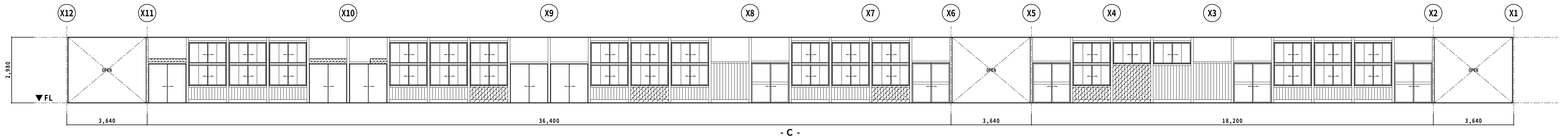
図面内容	（改修後）　展　開　図　(1)	図面番号	A — 15　枚ノ内
縮尺	S＝1：100	設計番号	

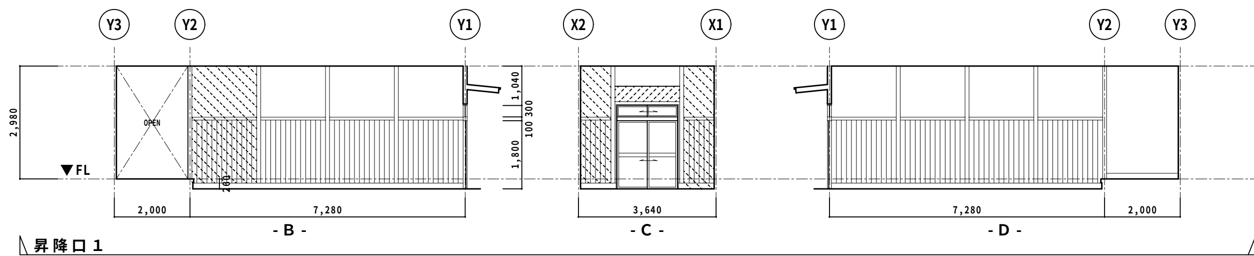


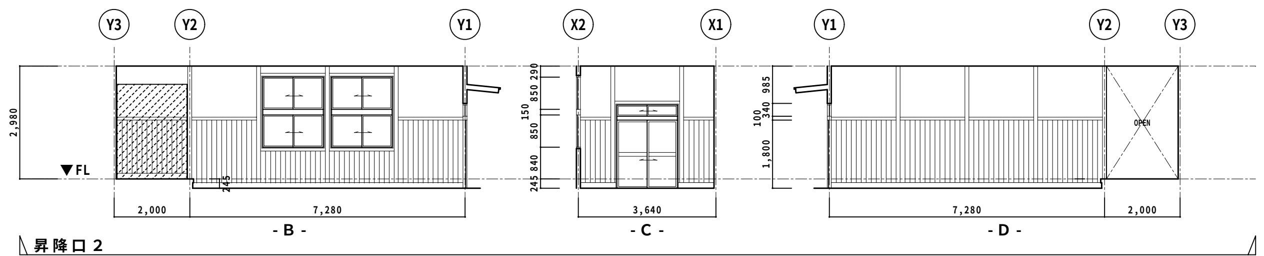


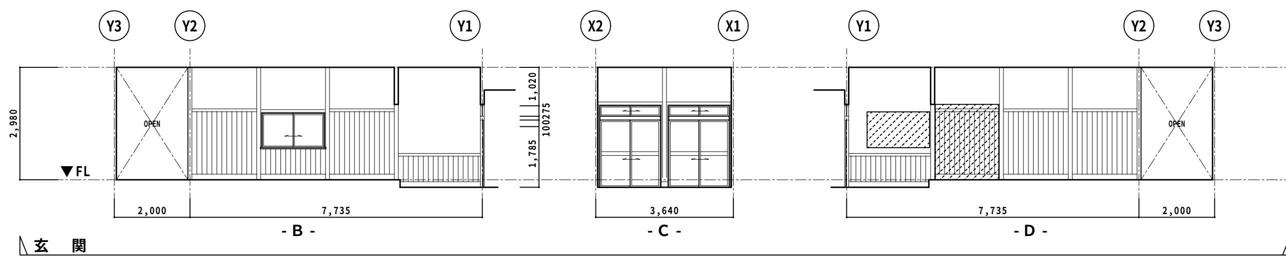
特記事項		
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.09.06
設計名称	平成22年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事	
図面内容	(改修後) 展開図(2)・建具キープラン	図面番号 A — 16 枚ノ内
縮尺	S=1:100	設計番号

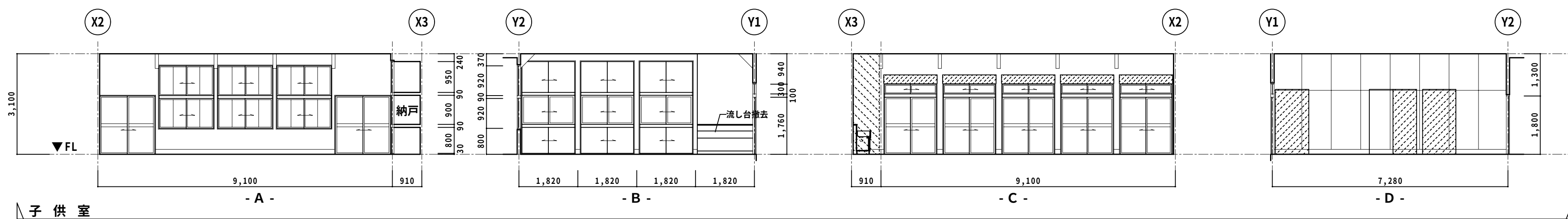




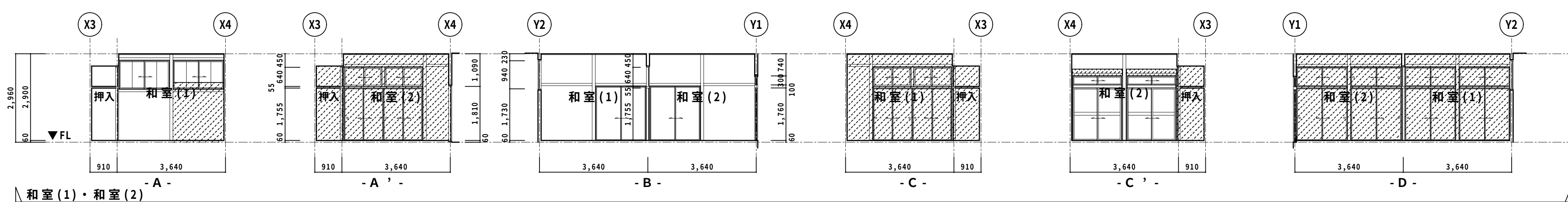


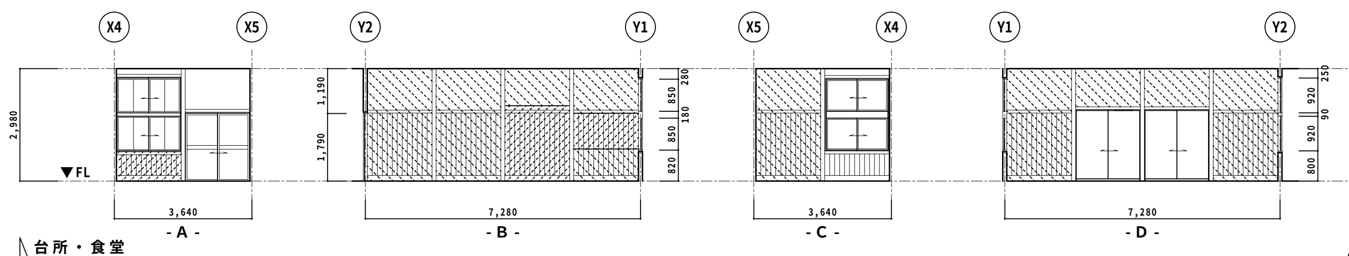


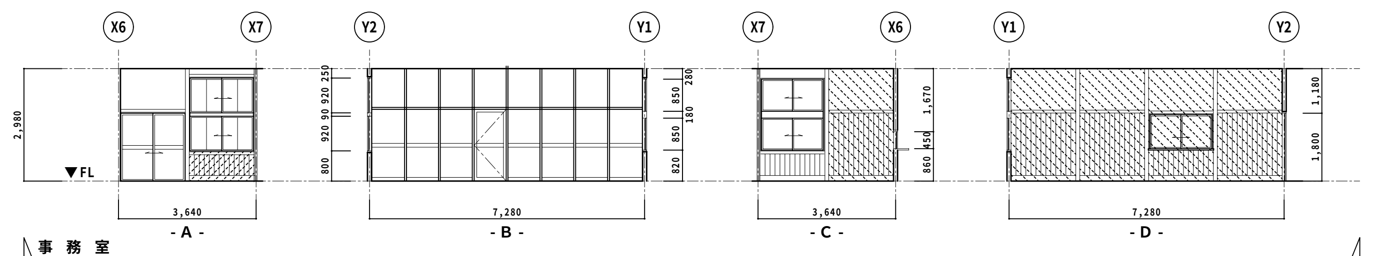




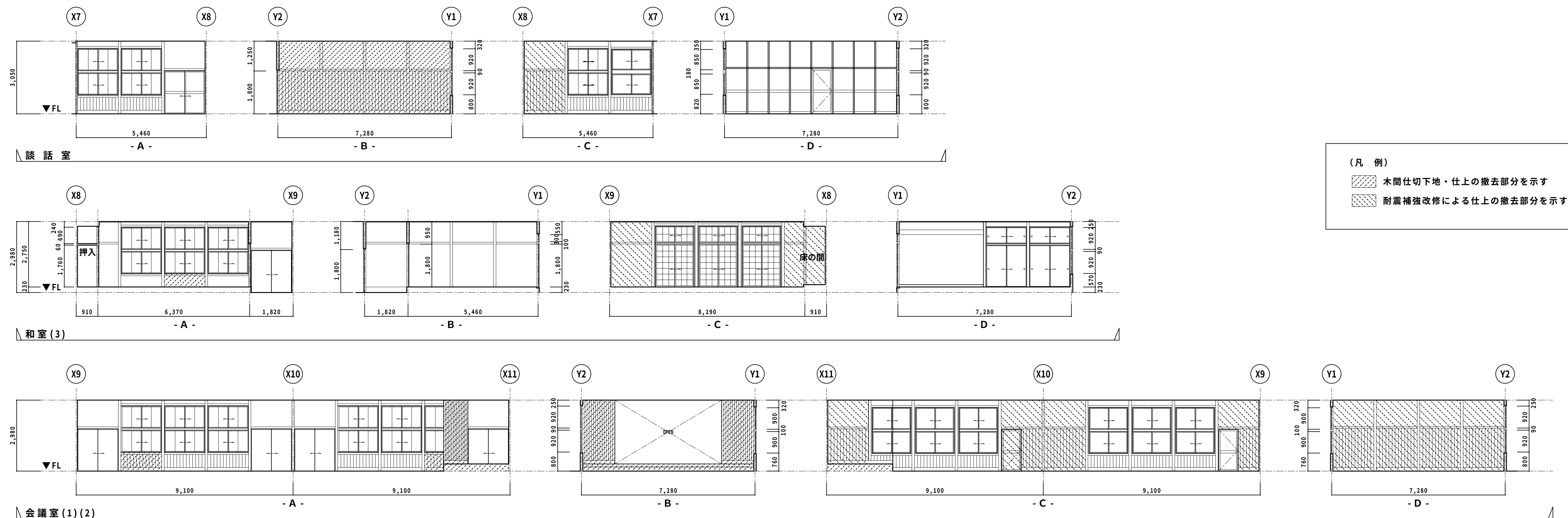
（凡　例）
木間仕切下地・仕上の撤去部分を示す
耐震補強改修による仕上の撤去部分を示す







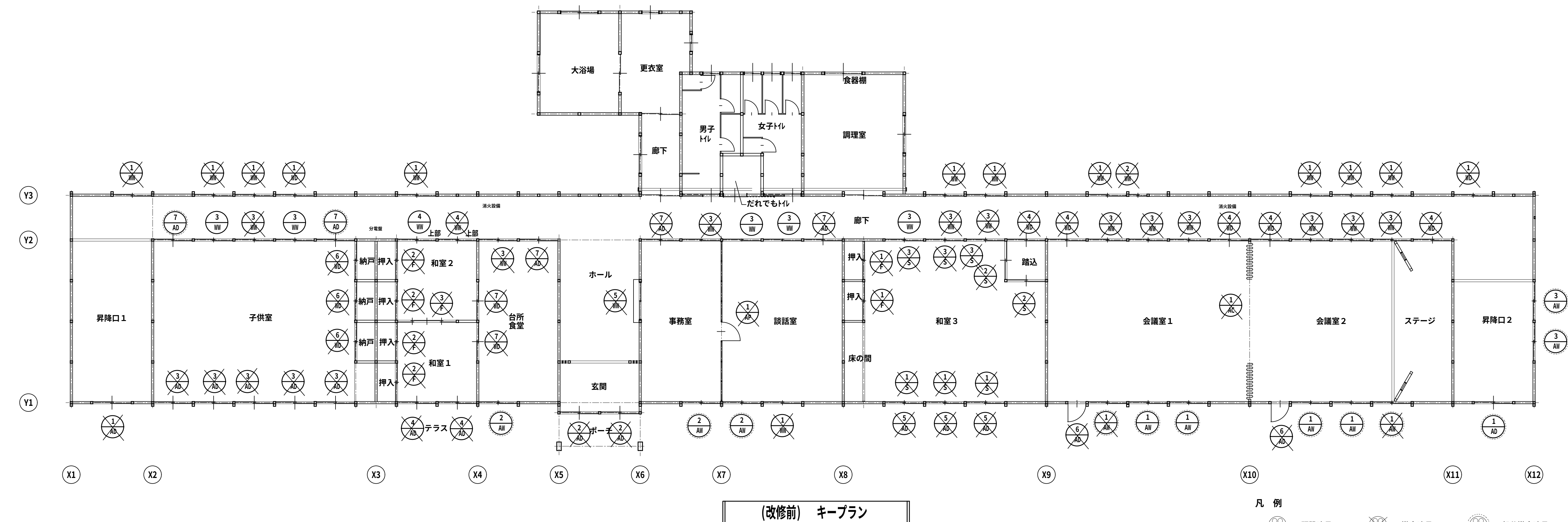
特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.09.06	設計名称 平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 （改修前） 展 開 図 (1)	図面番号 A — 17 枚ノ内
					縮尺 S＝1：100	設計番号



（凡　例）

木間仕切下地・仕上の撤去部分を示す

耐震補強改修による仕上の撤去部分を示す



(改修前)　キープラン

凡　例

：既設建具（工事対象外）　：撤去建具　：部分撤去建具

特記事項						
	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.09.06	設計名称 平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 （改修前）展開図(2)・建具キープラン / 縮尺 S＝1：100	図面番号 A — 18 枚ノ内 / 設計番号

符号・名称・数量	仕上・見込	ガラス	金物	備考
1A AW 引違い窓ランマ付き 改修:4	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式 オペレーター	カバー工法
1B AW 引違い窓ランマ付き 新設:2	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式 オペレーター	
1C AW 引違い窓ランマ付き 新設:8	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式 オペレーター	
2A AW 引違い窓ランマ付き 改修:3	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式 オペレーター	カバー工法
3A AD ランマ付引違い戸 新設:5	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式 オペレーター	
3B AD ランマ付FIX窓 新設:1	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式 オペレーター	
4A AD ランマ付引違い戸 新設:2	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式 オペレーター	
5A AD ランマ付引違い戸 新設:3	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式 オペレーター	
1B AD 引き分け戸 新設:1	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式	フラットレール仕様
2B AD 引き違い戸ランマ付き 新設:2	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式	フラットレール仕様
2B AW 引違い窓 新設:4	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式	
3B AW 引違い窓 新設:1	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式	
5B AW 外倒し窓 新設:1	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式	手動開放装置（FL+1500以内）
6B AW 引き違い窓 新設:2	アルミ製 シルバー 70	型板強化硝子 ァ4	附属金物一式	クレセント位置（FL+1500以内）
3B AD 引き違い戸 新設:1	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式	クレセント位置（FL+1500以内）
4B AD 引き違い戸 新設:1	アルミ製 シルバー 70	型板強化硝子 ァ4	附属金物一式	
1B LSD 軽量鋼製ハンガードア 新設:4	扉：化粧鋼板 枠：粉体塗装 枠：190 扉：36	型板硝子ァ4	半自動閉鎖装置、引戸用シリンダー錠(表示錠) 引手(ステンレスパイプ) 附属金物一式	
2B LSD 軽量鋼製ハンガードア 新設:1	扉：化粧鋼板 枠：粉体塗装 枠：190 扉：36	型板硝子ァ4	半自動閉鎖装置、引戸用シリンダー錠(表示錠) 引手(ステンレスパイプ) 附属金物一式	
1B WD 片引きフラッシュ戸 新設:2	シナ合板 SOP 扉:40	型板硝子ァ4	フラットレール、附属金物一式	
2B WD 引き違いフラッシュ戸 新設:8	シナ合板 SOP 扉:40	強化硝子 ァ4	フラットレール、附属金物一式	
3B WD 3枚引き込みフラッシュ戸 新設:1	シナ合板 SOP 扉:40		フラットレール、附属金物一式	
4B WD 片引きフラッシュ戸 新設:1	シナ合板 SOP 扉:40		フラットレール、附属金物一式	
5B WD 引き違いフラッシュ戸 新設:2	シナ合板 SOP 扉:40		フラットレール、附属金物一式	
6B WD 片開きフラッシュ戸 新設:1	シナ合板 ビニールクロス貼り 扉:40		附属金物一式	
1B WW 引き違い窓 新設:1	木製 SOP 扉:40	強化硝子 ァ4	附属金物一式	
2B WW 引き違い窓 新設:1	木製 SOP 扉:40	強化硝子 ァ4	附属金物一式	
1B F 引き違い襖 新設:7	襖紙 扉:33		附属金物一式	
2B F 片引き襖 新設:2	襖紙 扉:33		附属金物一式	
1B SLW 可動間仕切壁 新設:2	シナ合板の上ビニルクロス貼り 扉:62		ハンドル落とし込み式 附属金物一式	
2B SLW 可動間仕切壁 新設:1	シナ合板の上ビニルクロス貼り 扉:62		ハンドル落とし込み式 附属金物一式	
1 AD ランマ付引違い戸 改修:1	アルミ製 シルバー 70	型板強化硝子 ァ4	附属金物一式	
7 AD 引違い戸 改修:2	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式	
3 AW 引違い窓 改修:2	アルミ製 シルバー 70	強化硝子 ァ4	附属金物一式	

凡 例

：既設建具（工事対象外） ：既設改修建具 ：新設建具

特記事項

一級建築士事務所 日新設計株式会社
NISSIN-ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	
日付	H17.12.15
設計名称	平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事
図面内容	（改修後） 建 具 表
縮尺	S=1:50
図面番号	A — 19 枚ノ内
設計番号	

符号・名称・数量	1WW 木製引違い窓 撤去:１１	2WW 木製引違い窓 撤去:１	3WW 3WW 木製引違い窓 既存のまま:5 撤去:１１	4WW 4WW 木製引違い窓 既存のまま:1 撤去:１	5WW 木製引違い窓 撤去:１	1WD 木製引違い戸 撤去:２	4WD 木製引違い戸 撤去:５	6WD 木製引違い戸 撤去:３	7WD 木製引違い戸 撤去:２	
姿図	CH=2980 廊下 / FL / 1,680	CH=2980 廊下 / 840	CH=2980 廊下 / 1,680	CH=2980 廊下 / 1,680	1,630	1,680	1,680	1,630	1,680	
仕上・見込	木地 ９０	木地 ９０	木地 ９０	木地 ９０	木地 ９０	ＳＯＰ 扉：35	ＳＯＰ 扉：35	ポリ合板 扉：30	片面：ポリ合板 片面：本鳥の子 扉：35	
ガラス	トーメイ硝子ァ３	トーメイ硝子ァ３	トーメイ硝子ァ３	トーメイ硝子ァ３	トーメイ硝子ァ３	――	――	トーメイ硝子ァ３	――	
金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	
備考										

符号・名称・数量	3F 木製引違いガラス戸 引違いフスマ 撤去:１	1F 引違いフスマ 撤去:２	2F 引違いフスマ 撤去:４	1S 引違い障子 撤去:３	2S 引違い障子 撤去:２	3S 引違い障子 撤去:３				
姿図	CH=2900 和室１ 和室２ / トーメイ硝子ァ３ / FL / 2,630	1,700	1,700	1,600	1,600	1,680				
仕上・見込	ガラス戸：木地 扉：30 フスマ：本鳥の子 扉：22	本鳥の子 扉：22	本鳥の子 扉：22	障子紙 扉：30	障子紙 扉：30	障子紙 扉：30				
ガラス	トーメイ硝子ァ３	――	――	――	――	――				
金物	引手	引手	引手	引手	引手	引手				
備考										

符号・名称・数量	1AP アルミパーティション 撤去:１	1AC アコーディオンカーテン 撤去:１	1AD 1AD ランマ付引違い戸 ガラス撤去:1 撤去:１	2AD ランマ付引違い戸 撤去:２	3AD ランマ付引違い戸【撤去】 撤去:５	4AD ランマ付引違い戸 撤去:２	5AD ランマ付引違い戸【撤去】 撤去:３	6AD 片開きドア 撤去:２	
姿図	パネル / FL / 7,160	CH=2980 会議室 / 7,100	CH=2980 昇降口 / 1AD【ガラスのみ撤去】 / 1,600	CH=2980 玄関 / トーメイ硝子ァ３ / トーメイ硝子ァ３ / 型板硝子ァ４ / 1,600	CH=3100 子供室 / 1,600	CH=2900 和室１ / 1,630	CH=2750 和室３ / 1,600	アルミパネル / 800	
仕上・見込	シルバー ５０	ビニル ――	アルミ製　シルバー ７０	アルミ製　シルバー ７０	アルミ製　シルバー ７０	アルミ製　シルバー ７０	アルミ製　シルバー ７０	アルミ製　シルバー ７０	
ガラス	網入型硝子ァ６．８	――	網入型硝子ァ６．８	トーメイ硝子ァ３　型板硝子ァ４	トーメイ硝子ァ３	トーメイ硝子ァ３	トーメイ硝子ァ３	トーメイ硝子ァ３	
金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	
備考		引違い窓【台所・食堂・事務室：改修】							

符号・名称・数量	7AD 7AD 引違い戸 ガラス撤去:2 撤去:３	1AW 1AW 引違い窓 部分撤去:4 撤去:２	2AW 引違い窓 部分撤去:３	3AW 引違い窓 ガラス撤去:2
姿図	7AD【ガラスのみ撤去】 / アルミパネル / FL / 1,700	CH=2980 会議室 /【障子のみ撤去】/ 1,600	CH=2980 台所・食堂・事務室・談話室 /【障子のみ撤去】/ 1,630	CH=3225 昇降口２ /【ガラスのみ撤去】/ 排煙有効 /【ガラスのみ撤去】/ 1,600
仕上・見込	アルミ製　シルバー ７０	アルミ製　シルバー ７０	アルミ製　シルバー ７０	アルミ製　シルバー ７０
ガラス	トーメイ硝子ァ３	トーメイ硝子ァ３	トーメイ硝子ァ３	網入型硝子ァ６．８
金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備考				

凡例
：既設建具（工事対象外）　：撤去建具　：部分撤去建具

特記事項

一級建築士事務所 日新設計 NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.,Ltd.
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	
日付	H17.12.15

設計名称：平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容：（改修前）　建　具　表
縮尺：S＝1：50
図面番号：Ａ ― ２０　枚ノ内
設計番号：

家具共通仕様

天　　　板	両面メラミン化粧パーチクルボード F☆☆☆☆ 20t　木口 ABS樹脂エッジ 0.5t貼
側板・中仕切	両面メラミン化粧パーチクルボード F☆☆☆☆ 20t　木口 ABS樹脂エッジ 0.5t貼
棚　　　板	両面メラミン化粧パーチクルボード F☆☆☆☆ 20t　木口 ABS樹脂エッジ 0.5t貼
可　動　棚　板	両面メラミン化粧パーチクルボード F☆☆☆☆ 20t　木口 ABS樹脂エッジ 0.5t貼
	棚受ダボ ニッケルメッキ仕上 10φ @=50
背　　　板	ポリ化粧合板 4t貼　片面フラッシュ
地　　　板	両面メラミン化粧パーチクルボード F☆☆☆☆ 20t　木口 ABS樹脂エッジ 0.5t貼
開　き　戸	両面メラミン化粧パーチクルボード F☆☆☆☆ 20t　木口 ABS樹脂エッジ 2.0t貼 面3R付
	スライドヒンジ付　　マグネットキャッチ付
引　違　戸	両面メラミン化粧パーチクルボード F☆☆☆☆ 20t　木口 ABS樹脂エッジ 0.5t貼
	上下レール ABS押出成型品　　引手 セフティ引手（ABS樹脂成形品）
引違硝子戸	両面メラミン化粧パーチクルボード F☆☆☆☆ 20t　木口 ABS樹脂成型品 1.0t貼
	強化ガラス 4t 上下レール ABS樹脂成型品
巾　　　木	ポリ化粧板貼（下地シナランバーコア 18t）
組　立　金　物	M6ジョイントコネクター50mm＋丸ナットφ10化粧キャップ付
連　結　金　物	M6ジョイントコネクター35mm＋飾りナット17mm化粧キャップ付
	※図中特記ある場合は特記による

F-1　木製棚　倉庫　3,490×600×1,600　　1ヶ所

3,490　1,745　1,745　600　1,600　100　650　100　650　100
ﾗﾜﾝ合板貼り t12
柱:75角

F-2　木製棚　倉庫　1,670×600×1,600　　1ヶ所

1,670　600　1,600　100　650　100　650　100
ﾗﾜﾝ合板貼り t12
柱:75角

F-3　木製棚　物入　2,100/1,600×450×1,900　　1ヶ所

450　1,600　1,150　2,100　1,650　450　450　1,900　100　500　100　500　100　500　100
ﾗﾜﾝ合板貼り t12
柱:75角

F-4　戸棚　プレイルーム１　1,690×450×2,600　　1ヶ所

1,690　450　2,600　600　1,100　900　800　25　375　25　350　100　25
強化ガラス(ｱ)4
ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠付
下棚:ﾅﾗ集成材 t25 UC
25　391　391　25　391　392　25　25　25　1,690

F-5　戸棚　ふるさと展示室　1,690×450×900　　1ヶ所

1,690　450　900　800　25　375　25　350　100　25
下棚:ﾅﾗ集成材 t25 UC
25　391　391　25391　392　25　25　25　1,690

F-6　SKﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板　とみやっこルーム　900×100×19　1ヶ所

900　100　19　1,100
甲板:ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ TPAﾀｲﾌﾟ
FL

F-7　化粧鏡

片長ﾁｬﾝﾈﾙ:SUS HL　800　2,580

水飲み場	2,580×800	2ヶ所

片長ﾁｬﾝﾈﾙ:SUS HL　800　1,900

更衣室	1,900×800	1ヶ所

片長ﾁｬﾝﾈﾙ:SUS HL　800　700

幼児用トイレ	700×800	1ヶ所
あったかサロン	700×800	1ヶ所

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２−２４５−２３３３

検図	
製図	
日付	平成22年9月
設計名称	平成２２年度　西成田地区コミュニティセンター改修工事
図面内容	家具リスト (1)
縮尺	1/30
図面番号	A — ２１　枚ノ内
設計番号	

F-8　館内案内板　ホール　900×600　1ヶ所　※既製品

基板：ﾀﾓ練付 UC
表示：ｼﾙｸｽｸﾘｰﾝ印刷

ご　案　内

600
900

S=1/10

F-9　収納椅子(既製品)　中央玄関　436×90×410　1ヶ所　※既製品

S=1/10

90
436
410
90
枠：ﾅﾗ材
275
座板：ﾅﾗ材
410
110
FL

F-10　下足入　1,670×300×1,720　3ヶ所

西玄関	1ヶ所
中央玄関	1ヶ所
東玄関	1ヶ所

1,670
20　1,630　20
300
中板：ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t23
棚板：ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t23
1,720　1,620　20　297　23　297　23　298　23　298　23　298　100

25足分

F-11　更衣棚　更衣室　1,300×470×1,300　1ヶ所

1,300
20　407　20　406　20　407　20
400
棚板：ﾎﾟﾘ合板貼 t8
1,300　1,200　20　373　20　373　20　374　20　100

F-12　受付カウンター　中央玄関　1,900×400×t30　1ヶ所

400
1,900
1,900
甲板：ﾅﾗ集成材 t30 UC
400
30
H
ﾌﾞﾗｹｯﾄ：ﾅﾗ集成材 UC

F-13　手洗　和室　1,670×600×700/900　2ヶ所

40　1,590　40
1,670
1,670
600
40　430　120
10
ｼﾝｸ･ﾗｲﾆﾝｸﾞ･立上り
SUS304 1.0t
排水ﾄﾗｯﾌﾟ(設備工事)
背板・地板：ﾎﾟﾘ合板 t=4
点検孔：ﾋﾞｽ止ﾒ 取りﾊｽﾞｼ可
900　700　200　220　380　100　180

F-14　手洗　プレイルーム1　1,670×600×600/800　1ヶ所

40　1,590　40
1,670
1,670
600
40　430　120
10
ｼﾝｸ･ﾗｲﾆﾝｸﾞ･立上り
SUS304 1.0t
排水ﾄﾗｯﾌﾟ(設備工事)
背板・地板：ﾎﾟﾘ合板 t=4
点検孔：ﾋﾞｽ止ﾒ 取りﾊｽﾞｼ可
800　600　200　220　280　100　180

※水栓金具(設備工事)

F-15　手洗　水飲み場　2,580×600×700/900　2ヶ所

40　2,500　40
2,580
2,580
600
40　430　120
10
ｼﾝｸ･ﾗｲﾆﾝｸﾞ･立上り
SUS304 1.0t
排水ﾄﾗｯﾌﾟ(設備工事)
背板・地板：ﾎﾟﾘ合板 t=4
点検孔：ﾋﾞｽ止ﾒ 取りﾊｽﾞｼ可
900　700　200　220　380　100　180

※水栓金具(設備工事)

F-16　流し台(ミニキッチン)　事務室　1,200×500×1,900　1ヶ所　※既製品

IHﾋｰﾀｰ：200V
500
1,200
上部ﾌｻｷﾞ
583
1,900　1,050　500　850　710　140
1,200
500
500

ｻﾝｳｪｰﾌﾞ/ﾐﾆｷｯﾁﾝ：YMK-120F(R･L)1N2200　同等品

品　名	仕　様
流し台(下台)	ﾄｯﾌﾟ：ｽﾃﾝﾚｽ ｼﾝｸ：ｽﾃﾝﾚｽ(防音防滴ｷｬｯﾌﾟ付) ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ(側板)：7SH 特殊ｳﾚﾀﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ (背板)：7SH 特殊ｳﾚﾀﾝ化粧MDF (底板)：7SH 特殊ｳﾚﾀﾝ塗装合板 扉：7SH 低圧ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ 四方木口貼 取手：樹脂製 付属品：ｺﾞﾐ収納器付排水ﾄﾗｯﾌﾟ ：包丁差し、排水円板
側板ｼﾝｸ側(上台)	7SH 特殊ｳﾚﾀﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
側板ｺﾝﾛ側(上台)	内側：t3不燃化粧板 外側：7SH ｳﾚﾀﾝ塗装合板＋t9ﾗﾜﾝ合板
背板(上台)	t3不燃化粧板＋t15ﾗﾜﾝ合板＋t15ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
天板(上台)	t3不燃化粧板＋t12ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
幕板(上台)	内側：t3不燃化粧板 外側：7SH 低圧ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
中間棚(上台)	ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ：7SH 特殊ｳﾚﾀﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ 付属品：水切棚(線材：ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙｺｰﾃｨﾝｸﾞ) ：棚板(t15 7SH 特殊ｳﾚﾀﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
照明器具	蛍光灯：15W×1
水栓	湯水混合水栓：KM17NEZCN
ｺﾝｾﾝﾄ ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	IHﾋｰﾀｰ(200V用)：YMK-JB-E200V
IHﾋｰﾀｰ	CH-12BSW 単相200V 2,000W
側板木口ｶﾊﾞｰ	塩ﾋﾞ成型品(ｺ型形状) L=1,900
ｻｲﾄﾞｶﾊﾞｰ	塩ﾋﾞ成型品(T型形状) L=499
換気扇	取付穴：□225 DVF-14MRK(ﾀﾞｸﾄ径φ100)

※電気温水器は機械設備工事

F-16-2　流し台(ミニキッチン)　ふれあい・あったかサロン　1,050×500×1,900　1ヶ所　※既製品

IHﾋｰﾀｰ：200V
500
1,050
上部ﾌｻｷﾞ
583
1,900　1,050　500　850　710　140
1,050
500
500

ｻﾝｳｪｰﾌﾞ/ﾐﾆｷｯﾁﾝ：YMK-105F(R･L)1N2200　同等品

品　名	仕　様
流し台(下台)	ﾄｯﾌﾟ：ｽﾃﾝﾚｽ ｼﾝｸ：ｽﾃﾝﾚｽ(防音防滴ｷｬｯﾌﾟ付) ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ(側板)：7SH 特殊ｳﾚﾀﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ (背板)：7SH 特殊ｳﾚﾀﾝ化粧MDF (底板)：7SH 特殊ｳﾚﾀﾝ塗装合板 扉：7SH 低圧ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ 四方木口貼 取手：樹脂製 付属品：ｺﾞﾐ収納器付排水ﾄﾗｯﾌﾟ ：包丁差し、排水円板
側板ｼﾝｸ側(上台)	7SH 特殊ｳﾚﾀﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
側板ｺﾝﾛ側(上台)	内側：t3不燃化粧板 外側：7SH ｳﾚﾀﾝ塗装合板＋t9ﾗﾜﾝ合板
背板(上台)	t3不燃化粧板＋t15ﾗﾜﾝ合板＋t15ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
天板(上台)	t3不燃化粧板＋t12ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
幕板(上台)	内側：t3不燃化粧板 外側：7SH 低圧ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
中間棚(上台)	ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ：7SH 特殊ｳﾚﾀﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ 付属品：水切棚(線材：ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙｺｰﾃｨﾝｸﾞ) ：棚板(t15 7SH 特殊ｳﾚﾀﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
照明器具	蛍光灯：15W×1
水栓	湯水混合水栓：KM17NEZCN
ｺﾝｾﾝﾄ ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	IHﾋｰﾀｰ(200V用)：YMK-JB-E200V
IHﾋｰﾀｰ	CH-12BSW 単相200V 2,000W
側板木口ｶﾊﾞｰ	塩ﾋﾞ成型品(ｺ型形状) L=1,900
ｻｲﾄﾞｶﾊﾞｰ	塩ﾋﾞ成型品(T型形状) L=499
換気扇	取付穴：□225 DVF-14MRK(ﾀﾞｸﾄ径φ100)

※電気温水器は機械設備工事

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図
製図
日付　平成22年9月

設計名称　平成２２年度　西成田地区コミュニティセンター改修工事

図面内容　家具リスト (2)
縮尺　1/30
図面番号　A — ２２　枚ノ内
設計番号

F-17　手洗カウンター　更衣室　1,600×600×810　　1ヶ所

600
1,600
1,600
600
90
720
620
810
100
カウンター:メラミンポストフォーム HTDタイプ
洗面ボウル:アンダーカウンター(設備工事)
固定用ブラケット(設備工事)※背板補強
背板・地板:ポリ合板 t=4
点検孔:ビス止メ 取リハズシ可
巾木:SUS貼
※水栓金具(設備工事)

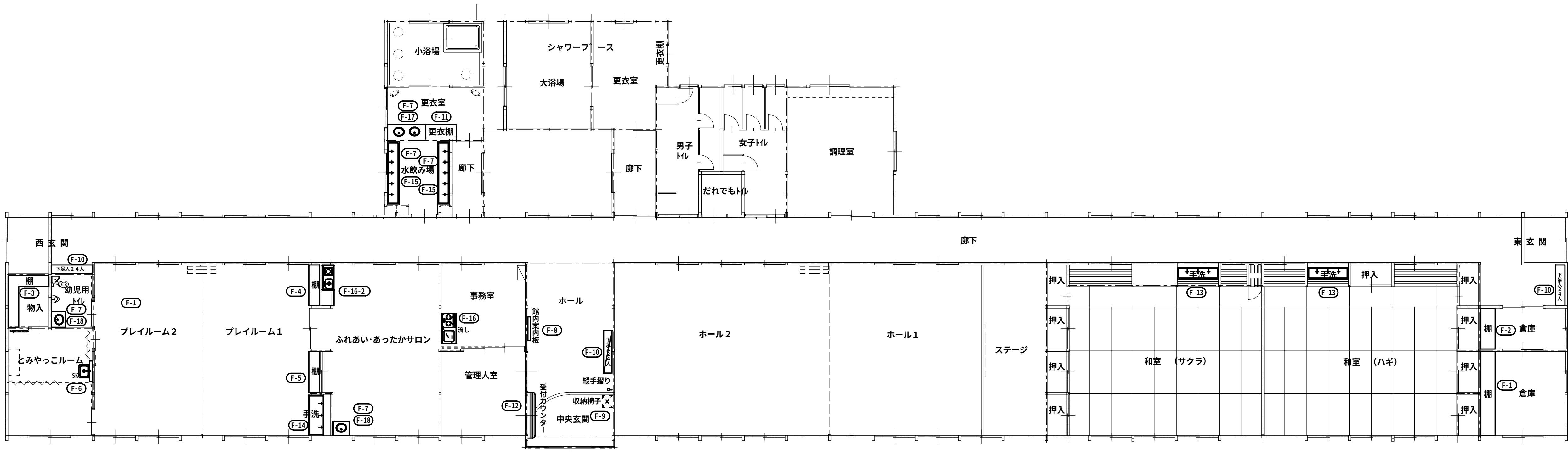
F-18　手洗カウンター　幼児用トイレ、ふれあい･あったかサロン　700×600×710　　2ヶ所

600
700
700
600
90
620
520
710
100
カウンター:メラミンポストフォーム HTDタイプ
洗面ボウル:アンダーカウンター(設備工事)
固定用ブラケット(設備工事)※背板補強
背板・地板:ポリ合板 t=4
点検孔:ビス止メ 取リハズシ可
巾木:SUS貼
※水栓金具(設備工事)

F-19　室名札(突出し)　300×80　　19ヶ所　　※既製品

18
25
300
アルミ型材 焼付塗装
基板:タモ練付 UC
表示:シルクスクリーン印刷
80
事　務　室
25
300

S=1/5

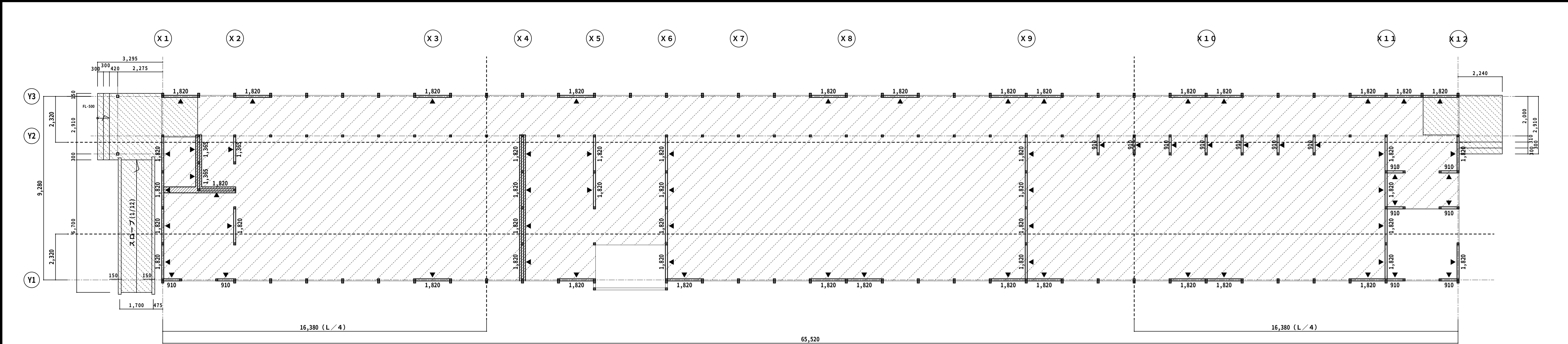


特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL ０２２－２４５－２３３３

検図	
製図	
日付	平成22年9月

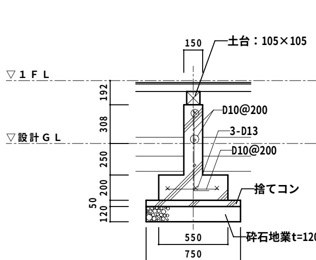
設計名称	平成２２年度　西成田地区コミュニティセンター改修工事
図面内容	家具リスト (3)
縮尺	1/30
図面番号	Ａ ―２３　枚ノ内
設計番号	



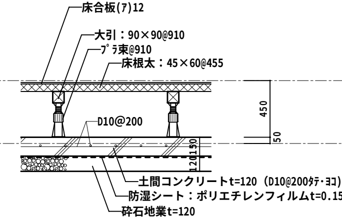
凡 例

- ▼ 印は耐震壁改修部分を示す
- 基礎新設修部分を示す
- 土間床、スロープ新設部分を示す
- 土間＋木床組新設部分を示す

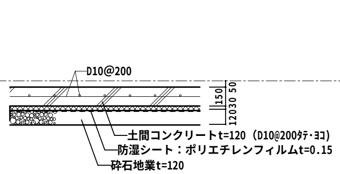
基礎新設部詳細図 S＝1/30



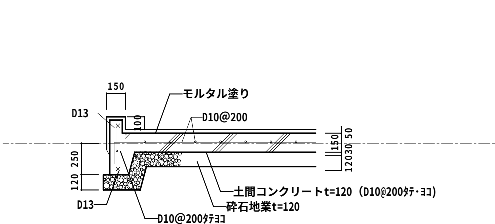
木床組・土間部詳細図 S＝1/30



玄関土間部詳細図 S＝1/30



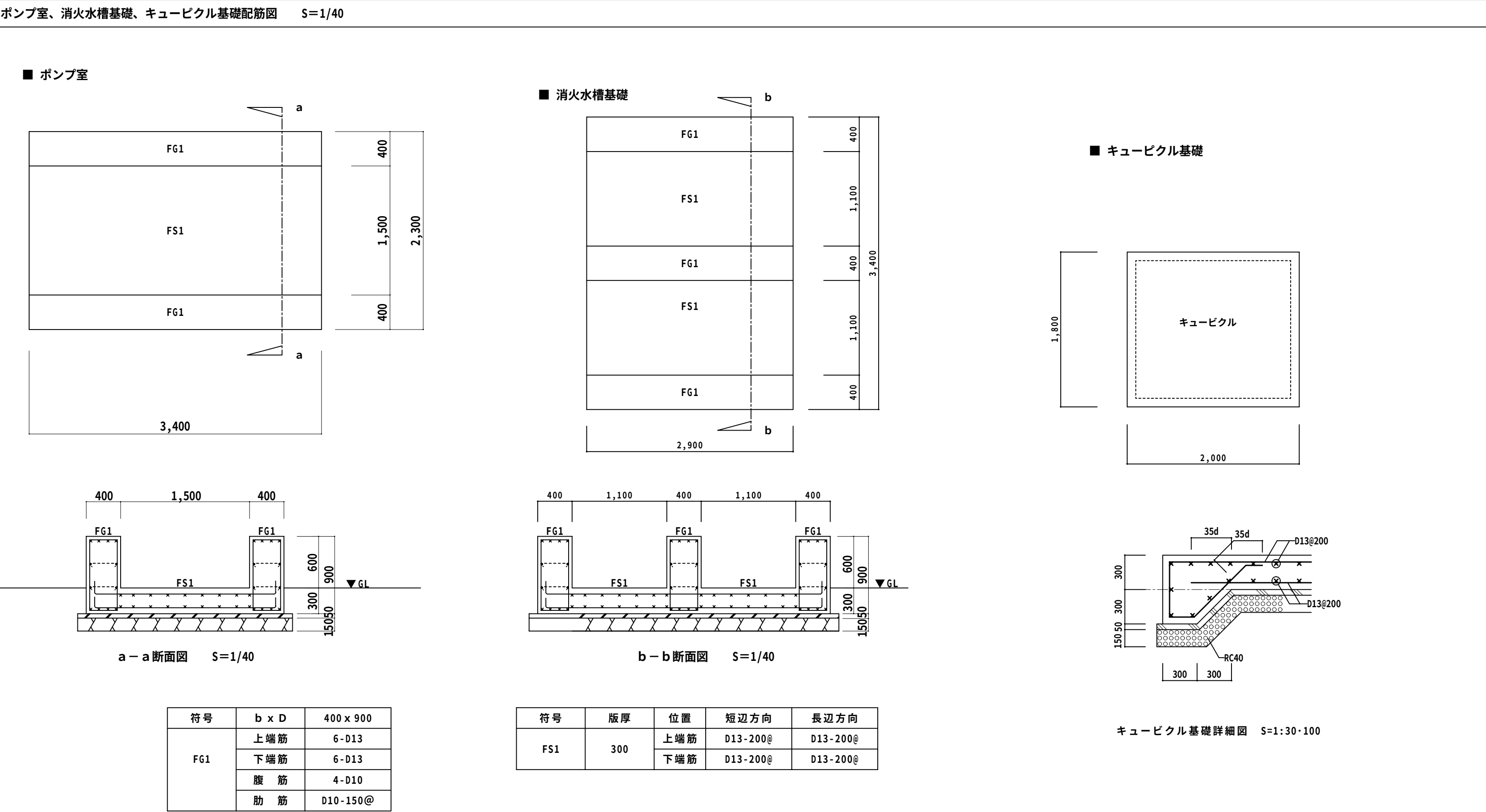
スロープ部詳細図 S＝1/30



耐力壁補強図

壁番号	①（既存壁）	②（改修壁）
仕　様	両面土塗り壁（厚さ5.5cm以上） 壁倍率α＝1.0 筋交い片向き0x120、両面板張り 壁倍率α＝1.5	斜線部構造用合板12mm(S51農告894)釘N50-150@ 筋交い30x90ダブル+構造用合板 壁倍率α＝5.0 30x90(新設) 斜線部構造用合板12mm(S51農告894)釘N50-150@ 筋交い30x90ダブル以上+構造用合板 壁倍率α＝5.0 40x120(既存) 455 455 455 455 1820 注）受け材、胴ぶちは30x45以上とする 金物）筋かいＢＰ、柱頭・柱脚はＣＰ－ＴまたはＶＰとする。
壁倍率	1.0	5．0

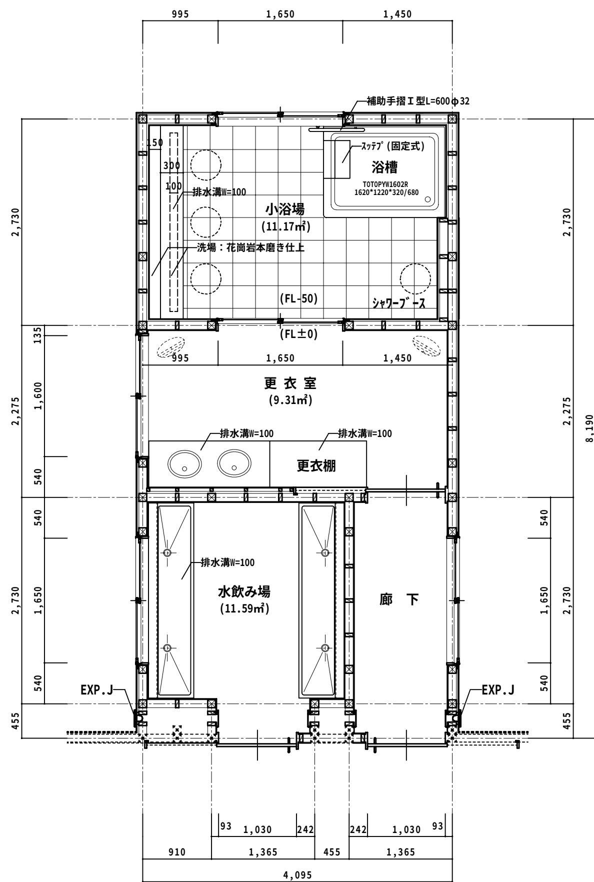
ポンプ室、消火水槽基礎、キュービクル基礎配筋図　S=1/40



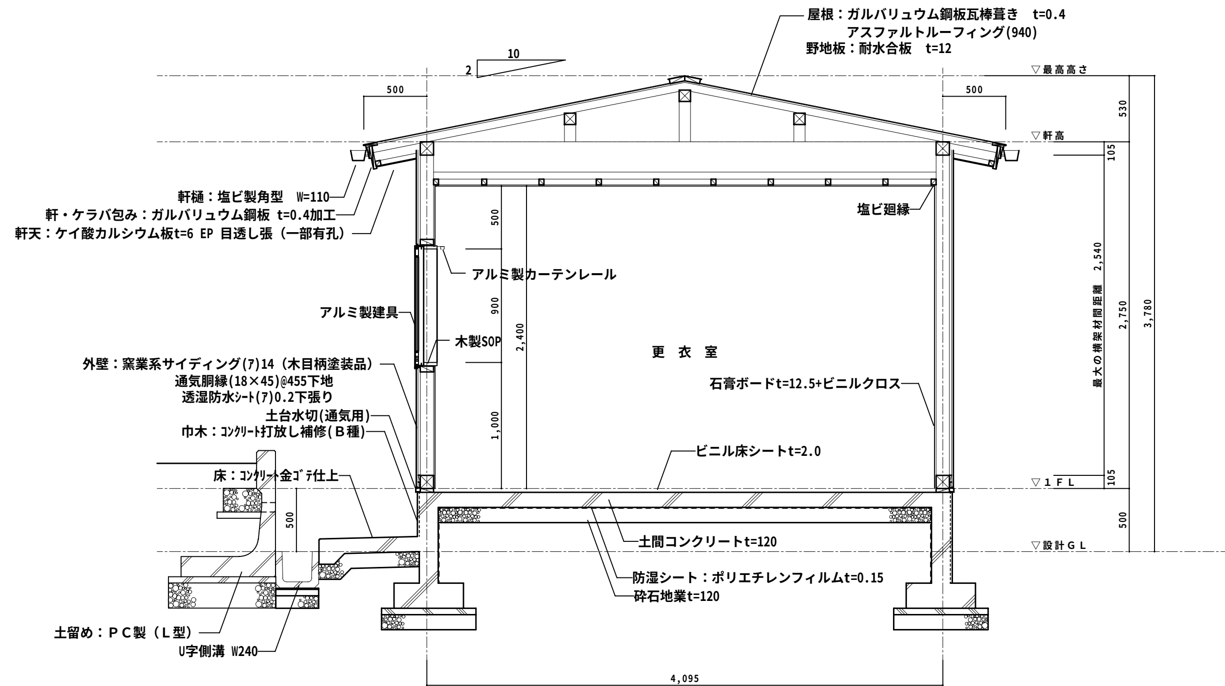
符号	b x D	400 x 900
FG1	上端筋	6-D13
	下端筋	6-D13
	腹　筋	4-D10
	肋　筋	D10-150@

符号	版厚	位置	短辺方向	長辺方向
FS1	300	上端筋	D13-200@	D13-200@
		下端筋	D13-200@	D13-200@

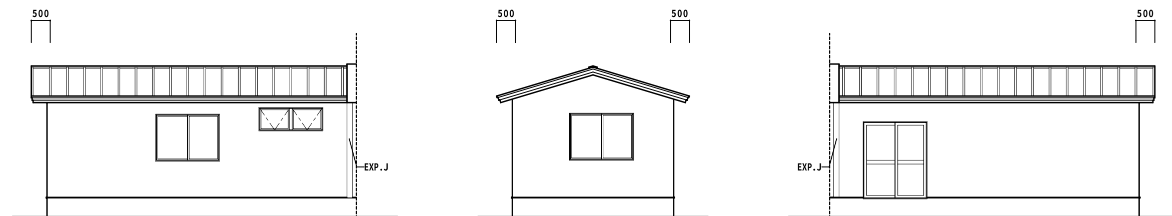
特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN･ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録 第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.09.06	設計名称：平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容：耐震補強詳細図・各種基礎詳細図 縮尺：S＝1：30･40･100	図面番号：A ― 24 枚ノ内 設計番号



小浴場平面詳細図　S＝1／50

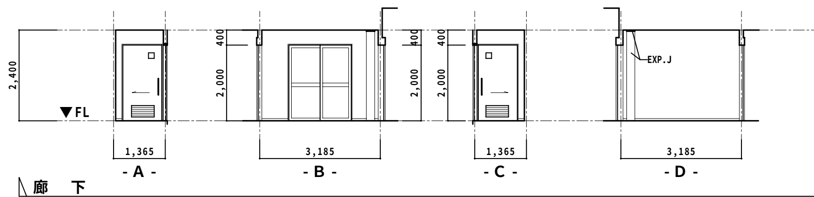


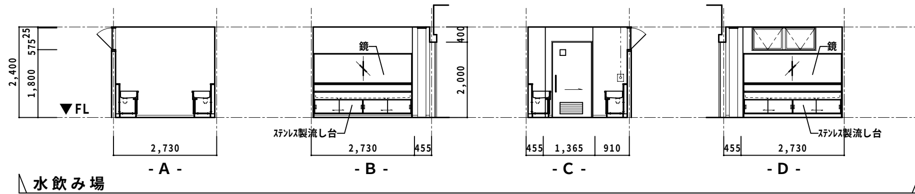
小浴場矩計図　S＝1／30

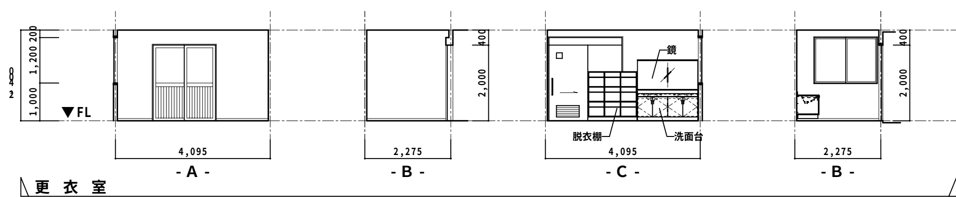


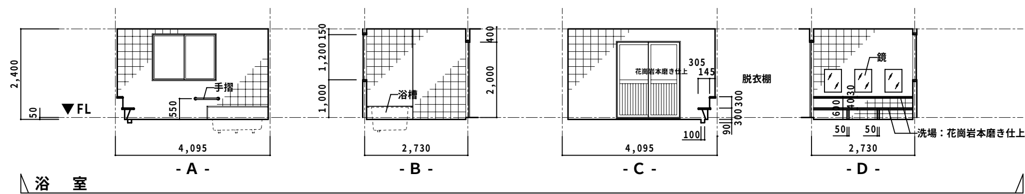
立面図　S=1/100

展開図　S=1/100









特記事項

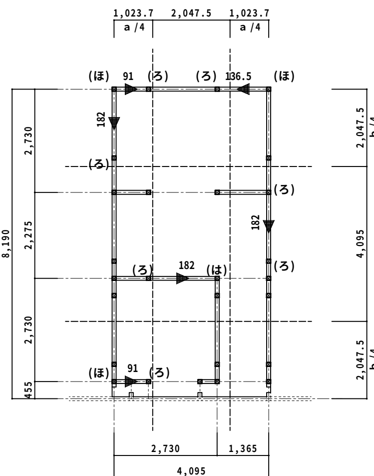
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

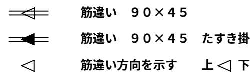
検図	
製図	
日付	H22.09.06

設計名称：平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容	（増築部）平面図詳細図・立面図・矩計図	図面番号	A — 25　枚ノ内
縮尺	S＝1：30・50・100	設計番号	



凡　例



筋違い　９０×４５

筋違い　９０×４５　たすき掛

筋違い方向を示す　　上◁ 下

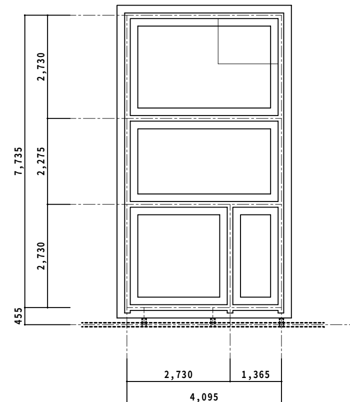
接合金物一覧表		
接合記号	接合使用	接合部倍率
（い）	短ほぞ差し、かすがい	0
（ろ）	長ほぞ差し込み栓 Ｌ字型金物	0.7
（は）	Ｖ字型金物、Ｔ字型金物	1.0
（に）	羽子板ボルト 短冊金物	1.4
（ほ）	羽子板ボルト＋スクリュー釘５０ 短冊金物＋スクリュー釘５０	1.6
（へ）	１０ＫＮ用引き寄せ金物	1.8
（と）	１５ＫＮ用引き寄せ金物	2.8
（ち）	２０ＫＮ用引き寄せ金物	3.7
（り）	２５ＫＮ用引き寄せ金物	4.7
（ぬ）	１５ＫＮ用引き寄せ金物×２	5.6

（特記事項）

※ 柱の接合金物は建設省告示１４６０号の仕様によるものとする。

※ 使用金物は上記金物と同等耐力を有する金物とする

（Ｚマーク適合品同等）



基礎伏図　S=1/100

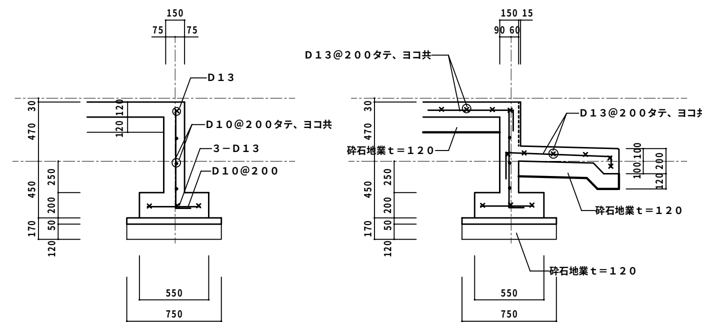
※特記無き限り基礎立上り天端はＦＬ−３０

凡　例	
+50	設計ＧＬよりの高さを示す
	基礎立上り
	アンカーボルト位置（柱心より２００、@２０００以内）
	土間コンクリート　ｱ１２０ Ｄ１３@２００タテ、ヨコ共

特記事項

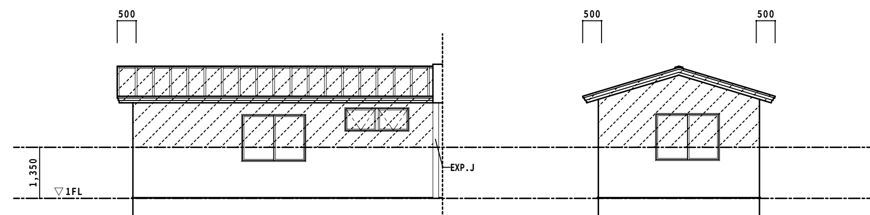
※通り心モジュールは９１０とする

※アンカーボルト　Ｍ１２　Ｌ＝４００@２０００以内

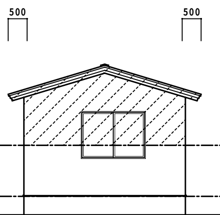


基礎詳細図　S=1/30

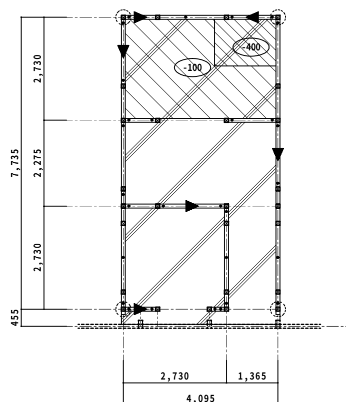
○ 敷 地 条 件
・地盤の種類：砂礫混じり粘性土
qa＝30.0kN/㎡
・凍結震度：２５㎝



桁行方向見付面積求積図　S=1/100



梁間方向見付面積求積図　S=1/100



床 伏 図　S=1/100

※特記無き限り土間コンクリート高さはＦＬ−３０

凡　例		
+50	ＦＬよりの高さを示す	
	アンカーボルト位置（柱心より２００、@２０００以内）	
	管柱　１０５×１０５　杉（１等）	
	隅柱　１０５×１０５　杉（１等）	
	土台　１０５×１０５ 防腐処理材(栂)	
	土間コンクリート	ｱ１２０ Ｄ１３@２００タテ、ヨコ共
	筋違い	９０×４５
	筋違い	９０×４５ たすき掛

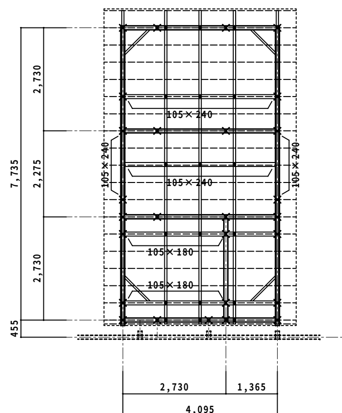
特記事項

※建物内部の土間コンクリート下には
ポリエチレンフィルムｱ０．１５敷きを行う

※土間コンクリートはＦｃ＝１８Ｎ／mm² とする

※アンカーボルト　Ｍ１２　Ｌ＝４００@２０００以内

※ＧＬ＋１m以内の部分は防腐防蟻処理を行う。



小屋伏図　S=1/100

凡　例		
	管柱	１０５×１０５
梁H	梁	特記無限り１０５×１０５ 幅：１０５
	火打梁	９０×９０（火打金物可）
	棟木、隅木	１０５×１０５
	母屋	９０×９０@９１０
•	束	９０×９０@９１０
	束振止め	９０×１５
	小屋筋違	９０×１５
-----	垂木	４５×６０@４５５

特記事項

※梁は松材を使用

※柱の接合金物は建設省告示１４６０号の仕様によるものとする。

※使用金物は上記金物と同等耐力を有する金物とする。
（Ｚマーク適合品同等）

構造耐力上必要な軸組計算表（筋違い計算）						
・けた行見付面積						１７．４６ ㎡
・はり間見付面積						７．８２ ㎡
地震力に対する必要壁量（ｃｍ）	風圧力に対する必要壁量（㎝）				必要壁量（ｃｍ）	
	桁行方向		梁間方向		桁行方向	梁間方向
３３．５３㎡× １１ ＝ ３６９ ｃｍ−①	７．８２ ㎡×５０ ＝３９１㎝−②		１７．４６㎡×５０ ＝８７３ｃｍ−③		①、②より ＝３９１ｃｍ	①、③より ＝８７３ｃｍ
耐力壁の種類		有効壁量（ｃｍ）	有効壁量（ｃｍ）		判	定
	倍率	桁行方向	梁間方向		桁行方向 ｃｍ	梁間方向 ｃｍ
		壁長ｃｍ×ヶ所数×倍率＝有効壁長	壁長　ｃｍ×ヶ所数×倍率＝有効壁長			
筋違い ４５×９０	２．０ たすき ４．０	１８２×２×４．０＝１４５６ 合計　１４５６	９１× ２ ×４．０ ＝　７２８ １３６.５× １ ×４．０ ＝　５４６ １８２× １ ×４．０ ＝　７２８ 合計　２００２		１４５６ ｃｍ ＞ ３９１ｃｍ ∴ＯＫ	２００２ ｃｍ ＞ ８７３ｃｍ ∴ＯＫ

	Ｘ方向		Ｙ方向	
	側端部分　（上）	側端部分　（下）	側端部分　（右）	側端部分　（左）
存在壁量（㎝）	９１×１×４．０ ＋ １３６．５×１×４．０ ＝９１０	９１×１×４．０ ＝３６４	１８２×１×４．０ ＝７２８	１８２×１×４．０ ＝７２８
床面積（㎡）	４．０９５ × ２．０４７ ＝８．３８	４．０９５ × ２．０４７ ＝８．３８	１．０２ × ８．１９ ＝８．３５	１．０２ × ８．１９ ＝８．３５
必要壁量（㎝）	８．３８×１１＝９２．２	８．３８×１１＝９２．２	８．３５×１１＝９１．８５	８．３５×１１＝９１．８５
壁量充足率	９１０ ／９２．２ ９．８６ ＞０．５	３６４ ／ ９２．２ ３．９４＞０．５	７２８ ／ ９１．８５ ７．９２＞０．５	７２８／９１．８５ ７．９２＞０．５

特記事項

※　継手及び仕口については、１０５角はかすがい、それを超えるものは羽子板ボルト止めとする。

一級建築士事務所
NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.Ltd.
日新設計
一級建築士事務所
日　新　設　計　株　式　会　社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	
日付	H22.09.06

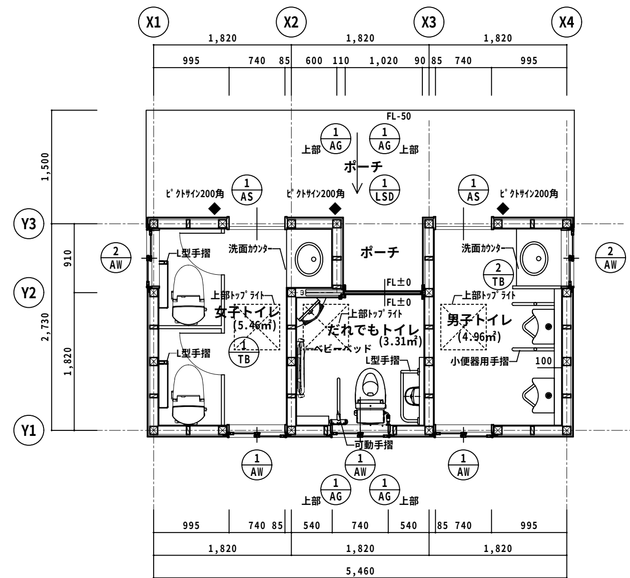
設計名称　平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容　（増築部）　展開図・各伏図・基礎詳細図

縮尺　S＝1：100

図面番号　Ａ — ２６　枚ノ内

設計番号

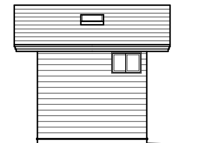


屋外トイレ平面詳細図　S＝1／50

立面図　S=1/100



南側立面図



東側立面図

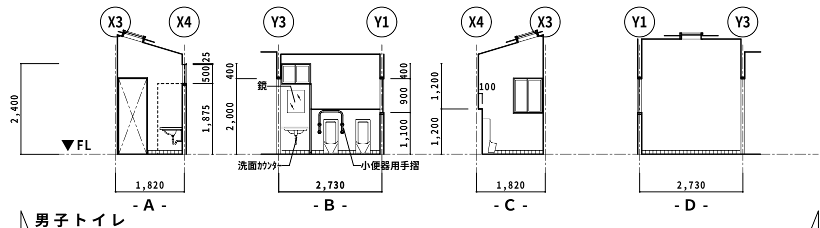


北側立面図

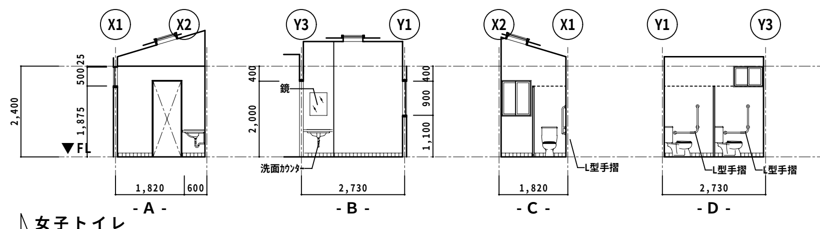


西側立面図

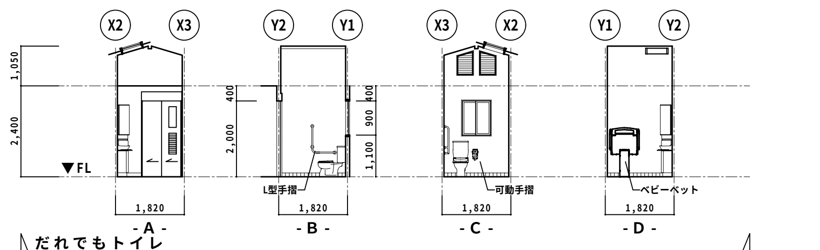
展開図　S=1/100



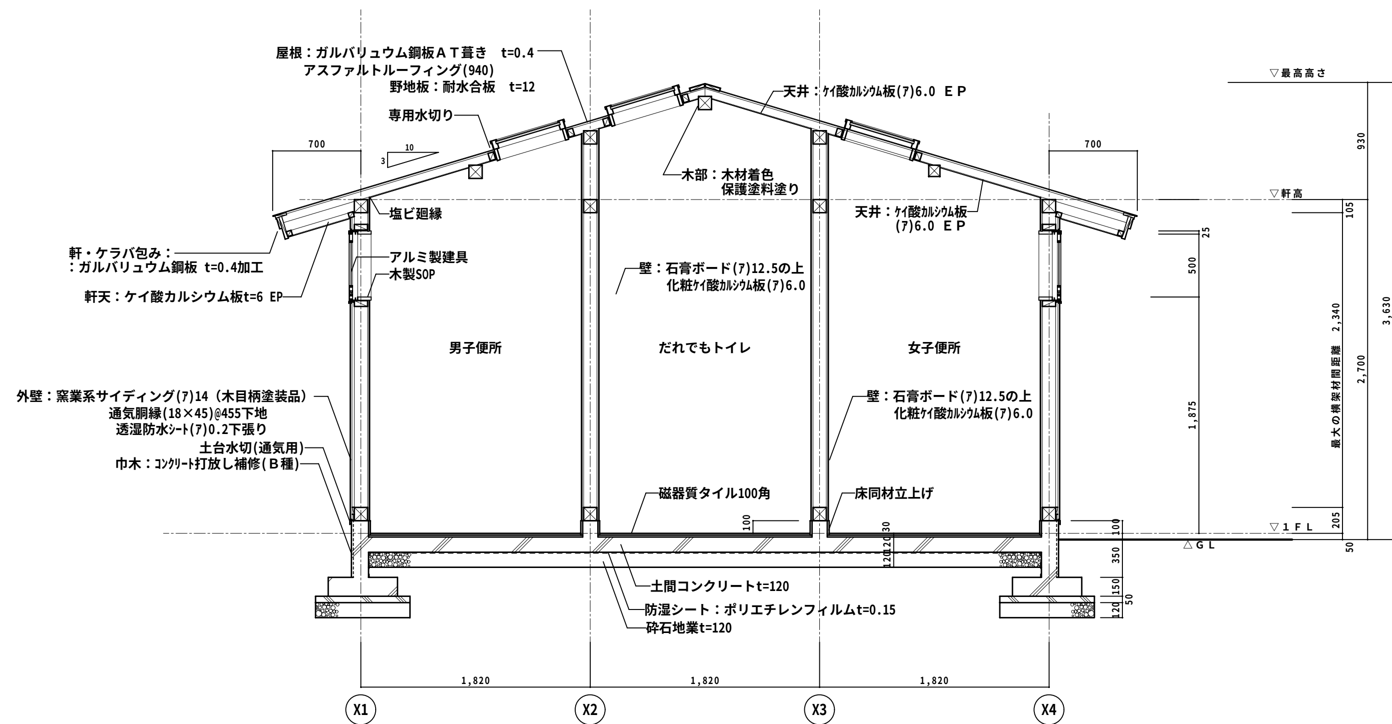
男子トイレ



女子トイレ



だれでもトイレ



屋外トイレ矩計図　S＝1／30

外部仕上表

区分	仕上
屋根	耐水合板ｔ＝１２下地、アスファルトルーフィング（９４０）下貼、ガルバリューム鋼板ｔ＝０．４（カラー）ＡＴ葺き　勾配３／１０
軒裏	ケイ酸カルシウム板ｔ＝６　ＥＰ　目透し張（一部有孔）
外壁	透湿防水シート（ア）０．２下張り＋通気胴縁（１８×４５）＠４５５下地＋窯業系サイディング（ア）１４（木目柄塗装品）
巾木	コンクリート打放し補修（Ｂ種）　土台水切ｶﾞﾙﾊﾞﾘｭｰﾑ鋼板(ｱ)0.4加工
ポーチ	モルタル下地、磁器質タイル100角

内部仕上表

室名	床	巾木	H	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
男子トイレ	モルタル下地、磁器質タイル100角	床同材立上げ	１００	石膏ボード(ｱ)12.5の上、化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(ｱ)6.0	小屋裏表わし、木部木材着色保護塗料塗り	塩ビ製	直天	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ200角、洗面ｶｳﾝﾀｰ、鏡、ﾗｲﾆﾝｸﾞ
女子トイレ	モルタル下地、磁器質タイル100角	床同材立上げ	１００	石膏ボード(ｱ)12.5の上、化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(ｱ)6.0	小屋裏表わし、木部木材着色保護塗料塗り	塩ビ製	直天	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ200角、洗面ｶｳﾝﾀｰ、鏡、L型手摺
だれでもトイレ	モルタル下地、磁器質タイル100角	床同材立上げ	１００	石膏ボード(ｱ)12.5の上、化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(ｱ)6.0	小屋裏表わし、木部木材着色保護塗料塗り	塩ビ製	直天	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ200角、洗面ｶｳﾝﾀｰ、鏡、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、ベビーベッド、L型手摺、可動手摺

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図		設計名称	平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事
製図		図面内容	屋外トイレ各図(1)
日付	H22.09.06	縮尺	S＝1：30･50･100
図面番号	A ― 27	枚ノ内	
設計番号			

符号・名称・数量	1/AW 引違い窓 新設:3	2/AW 引違い窓 新設:2	1/AG 換気ガラリ 新設:2	1/AS 三方枠 新設:2	1/TP トップライト(ＦＩＸ) 新設:3	1/LSD 2枚片引き手動ハンガー戸 (壁収納タイプ) 新設:1	1/TB トイレブース 新設:1	2/TB トイレブース 新設:1
姿　図	FL 900 1,100 740	500 1,875 740	600 1,875 400 400	2,000 740	590 630 10 3	200 550 550 2,000 1,020 ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ (開口率35%)	870 20 1,800 50 550 550 2,600	20 1,800 50 650
仕上・見込	アルミ製　カラー　７０	アルミ製　カラー　７０	アルミ製　カラー　７０	アルミ製　カラー　７０	アルミ製　カラー　７０	扉：化粧鋼板　枠：粉体塗装　扉：36	メラミン化粧合板　４０	メラミン化粧合板　４０
ガラス	型板硝子ァ４	型板硝子ァ４			ペアガラス（PW6.8＋12A＋FL3.0）	型板硝子ァ４		
金　物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	把手:木目調樹脂製L=455、戸先パッキン ステンレスガイドレール、付属金物一式	ラバトリーヒンジ ラッチ 戸当り　表示錠 ステンレス頭継ぎ 巾木 その他附属金物	ステンレス頭継ぎ 巾木 その他附属金物
備　考						※有効開口巾:900以上		

基礎伏図　S=1/100

X1 X2 X3 X4　1,820 1,820 1,820　600 1,220　FL-80 FL-30　Y1 Y2 Y3　1,500 2,730 910 1,820　5,460

※特記無き限り基礎立上り天端はＦＬ−３０

凡　例		
+50	設計ＧＬよりの高さを示す	
（記号）	基礎立上り	
（記号）	アンカーボルト位置（柱心より２００、@２０００以内）	
（記号）	土間コンクリート	ァ１２０ Ｄ１３@２００タテ、ヨコ共

特記事項

※通り心モジュールは９１０とする

※アンカーボルト　Ｍ１２　Ｌ＝４００@２０００以内

床 伏 図　S=1/100

X1 X2 X3 X4　1,820 1,820 1,820　1,270 550　FL-80 FL-30 FL-30　Y1 Y2 Y3　1,500 2,730 910 1,820　5,460

※特記無き限り土間コンクリート高さはＦＬ−３０

凡　例		
+50	ＦＬよりの高さを示す	
（記号）	アンカーボルト位置（柱心より２００、@２０００以内）	
（記号）	管柱　１０５×１０５　杉（1等）	
（記号）	隅柱　１０５×１０５　杉（1等）	
（記号）	土台　１０５×１０５ 防腐処理材(栂)	
（記号）	土間コンクリート	ァ１２０ Ｄ１３@２００タテ、ヨコ共
（記号）	筋違い	９０×４５
（記号）	筋違い	９０×４５ たすき掛

特記事項

※建物内部の土間コンクリート下には
　ポリエチレンフィルムァ０．１５敷きを行う

※土間コンクリートはＦｃ＝１８Ｎ／mm² とする

※アンカーボルト　Ｍ１２　Ｌ＝４００@２０００以内

※ＧＬ＋１m以内の部分は防腐防蟻処理を行う。

小屋伏図　S=1/100

X1 X2 X3 X4　1,820 1,820 1,820　910 910 910 910 910 910　700 600 700　Y1 Y2 Y3　2,730 910 1,820　5,460

凡　例		
（記号）	管柱	１０５×１０５
（記号）梁H	梁	特記無限り１０５×１０５ 幅：１０５
（記号）	火打梁	９０×９０（火打金物可）
（記号）	棟木、隅木	１０５×１０５
（記号）	母屋	105×105@910
（記号）	束	105×105@910
	束振止め	９０×１５
	小屋筋違	９０×１５
（記号）	垂木	４５×６０@４５５

特記事項

※梁は松材を使用

※柱の接合金物は建設省告示１４６０号の
　仕様によるものとする。

※使用金物は上記金物と同等耐力を有する
　金物とする。
　　（Ｚマーク適合品同等）

基礎詳細図　S=1/30

120 60 60　Ｄ１３　Ｄ１０@２００タテ、ヨコ共　Ｄ１０@２００　３−Ｄ１３　▽GL ▽FL　150 30 20 120 450 300 120 150 170 50 120　550 750

Ｄ１３@２００タテ、ヨコ共　Ｄ１３　Ｄ１３@２００タテ、ヨコ共　ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑt=0.15　砕石地業ｔ＝１２０　砕石地業ｔ＝１２０　30 220 250 120　550 750

○ 敷 地 条 件

・地盤の種類：砂礫混じり粘性土
　ｑa＝30.0kN/m²

・凍結震度：２５cm

1,365 2,730 1,365　a/4 a/4　13.795m²　(ほ) 91 (ろ)　(ろ) 91 (ほ)　b/4 682.5 1,365 682.5 b/4　Y1 Y2 Y3　910 1,820　600 1,220　1,820 1,820 1,820　5,460　X1 X2 X3 X4

凡　例

（記号）　筋違い　９０×４５　たすき掛

接合金物一覧表		
接合記号	接合使用	接合部倍率
（い）	短ほぞ差し、かすがい	0
（ろ）	長ほぞ差し込み栓 Ｌ字型金物	0.7
（は）	Ｖ字型金物、Ｔ字型金物	1.0
（に）	羽子板ボルト 短冊金物	1.4
（ほ）	羽子板ボルト＋スクリュー釘５０ 短冊金物＋スクリュー釘５０	1.6
（へ）	１０ＫＮ用引き寄せ金物	1.8
（と）	１５ＫＮ用引き寄せ金物	2.8
（ち）	２０ＫＮ用引き寄せ金物	3.7
（り）	２５ＫＮ用引き寄せ金物	4.7
（ぬ）	１５ＫＮ用引き寄せ金物×２	5.6

（特記事項）

※　柱の接合金物は建設省告示１４６０号の仕様によるものとする。

※　使用金物は上記金物と同等耐力を有する金物とする
　（Ｚマーク適合品同等）

700 700 10 3 10 3 1,350 ▽1FL

梁間方向見付面積求積図　S=1/100

700 700

桁行方向見付面積求積図　S=1/100

構造耐力上必要な軸組計算表（筋違い計算）

・けた行見付面積　８．１７ m²

・はり間見付面積　１０．６４ m²

地震力に対する必要壁量（ｃｍ）	風圧力に対する必要壁量（cm） 桁行方向	風圧力に対する必要壁量（cm） 梁間方向	必要壁量（ｃｍ） 桁行方向	必要壁量（ｃｍ） 梁間方向
１３．７９m²× １１ ＝ １５２　ｃｍ−①	１０．６４ m²×５０ ＝５３２cm−②	８．１７m²×５０ ＝４０９ｃｍ−③	①、②より ＝５３２ｃｍ	①、③より ＝４０９ｃｍ

耐力壁の種類	倍率	有効壁量（ｃｍ） 桁行方向 壁長cｍ×ヶ所数×倍率＝有効壁長	有効壁量（ｃｍ） 梁間方向 壁長　ｃｍ×ヶ所数×倍率＝有効壁長	判定 桁行方向 ｃｍ	判定 梁間方向 ｃｍ
筋違い ４５×９０	２．０ たすき ４．０	９１×２×４．０＝　７２８ 合計　７２８	９１× ４ ×４．０ ＝１４５６ 合計　１４５６	７２８ ｃｍ ＞ ５３２ｃｍ ∴ＯＫ	７２８ ｃｍ ＞ ４０９ｃｍ ∴ＯＫ

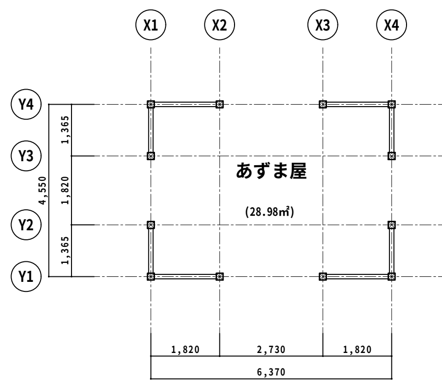
	Ｘ方向 側端部分（上）	Ｘ方向 側端部分（下）	Ｙ方向 側端部分（右）	Ｙ方向 側端部分（左）
存在壁量（cm）	９１×２×４．０ ＝７２８	９１×２×４．０ ＝７２８	９１×１×４．０ ＝３６４	９１×１×４．０ ＝３６４
床面積（m²）	５．４６ × ０．６２８ ＝３．４２	５．４６ × ０．６２８ ＝３．４２	1.３６５ × ２．７３ ＝３．７２	1.３６５ × ２．７３ ＝３．７２
必要壁量（cm）	３．４２×１１＝３７．６	３．４２×１１＝３７．６	３．７２×１１＝４０．９	３．７２×１１＝４０．９
壁量充足率	７２８ ／３７．６ １９．３ ＞０．５	７２８ ／３７．６ １９．３ ＞０．５	３６４ ／ ４０．９ ８．８９＞０．５	３６４ ／ ４０．９ ８．８９＞０．５

特記事項

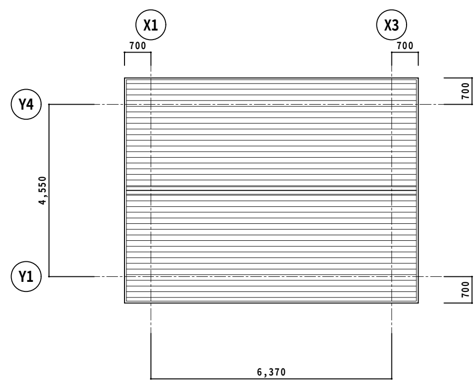
※　継手及び仕口については、１０５角はかすがい、それを超えるものは羽子板ボルト止めとする。

一級建築士事務所 日新設計 NISSIN ARCHITECTS&ENGINEERS Co.Ltd.
一級建築士事務所
日 新 設 計 株 式 会 社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

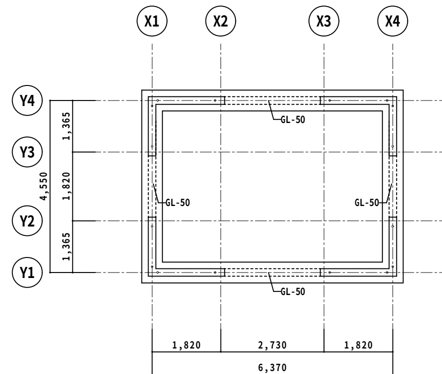
検図		設計名称	平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事
製図		図面内容	屋外トイレ各図(2)
日付	H22.09.06	縮尺	S＝1：30・100
図面番号	A — ２８　枚ノ内	設計番号	



平 面 図　S=1/100



屋根伏図　S=1/100



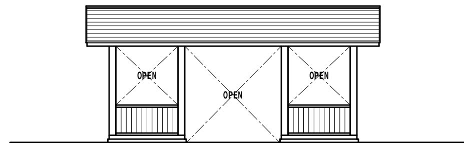
基礎伏図　S=1/100

※特記無き限り基礎立上り天端はGL±0

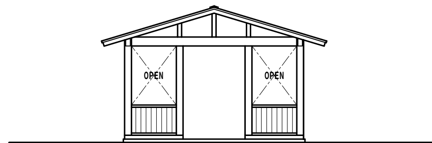
凡　例	
	基礎立上り、土台180×120
	アンカーボルト位置（柱心より２００、@２０００以内）

特記事項

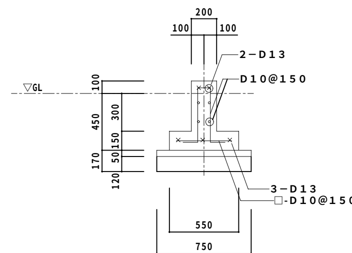
※柱脚金物：PL6.5加工 2M-12　アンカーボルト　2M-12L=400
※土間コンクリートはＦｃ＝１８Ｎ／mm　とする
※アンカーボルト　Ｍ１２　Ｌ＝４００@２０００以内
※ＧＬ＋１m以内の部分は防腐防蟻処理を行う。



南側立面図　S=1/100

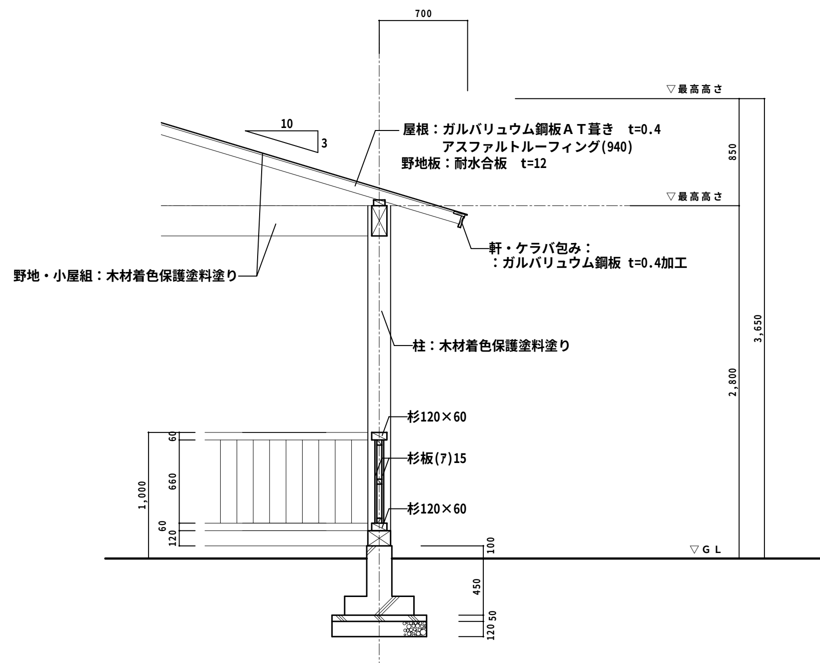


東側立面図　S=1/100



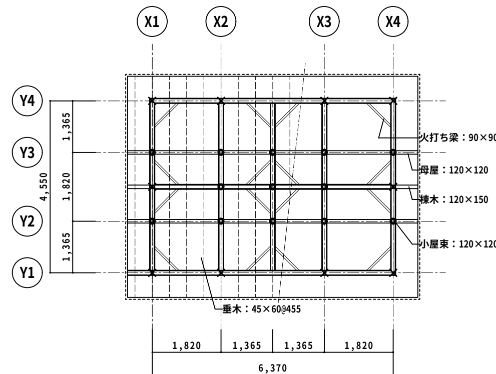
基礎詳細図　S=1/30

○ 敷 地 条 件
・地盤の種類：砂礫混じり粘性土
qa＝30.0kN/㎡
・凍結震度：２５㎝



※　特記なき木部塗装は木材着色保護塗料塗りとする

屋外トイレ矩計図　S＝1/30



小屋伏図　S=1/100

凡　例		
	管柱	１８０×１８０
梁H	梁	特記無限り１２０×２４０
	火打梁	９０×９０
	棟木、隅木	１０５×１０５
	母屋	１２０×１２０
	束	９０×９０@９１０
	束振止め	９０×１５
	小屋筋違	９０×１５
	垂木	４５×６０@４５５

特記事項

※柱･梁は国産杉材(地場産推奨)を使用

特記事項
※　継手及び仕口については、羽子板ボルト止めとする。

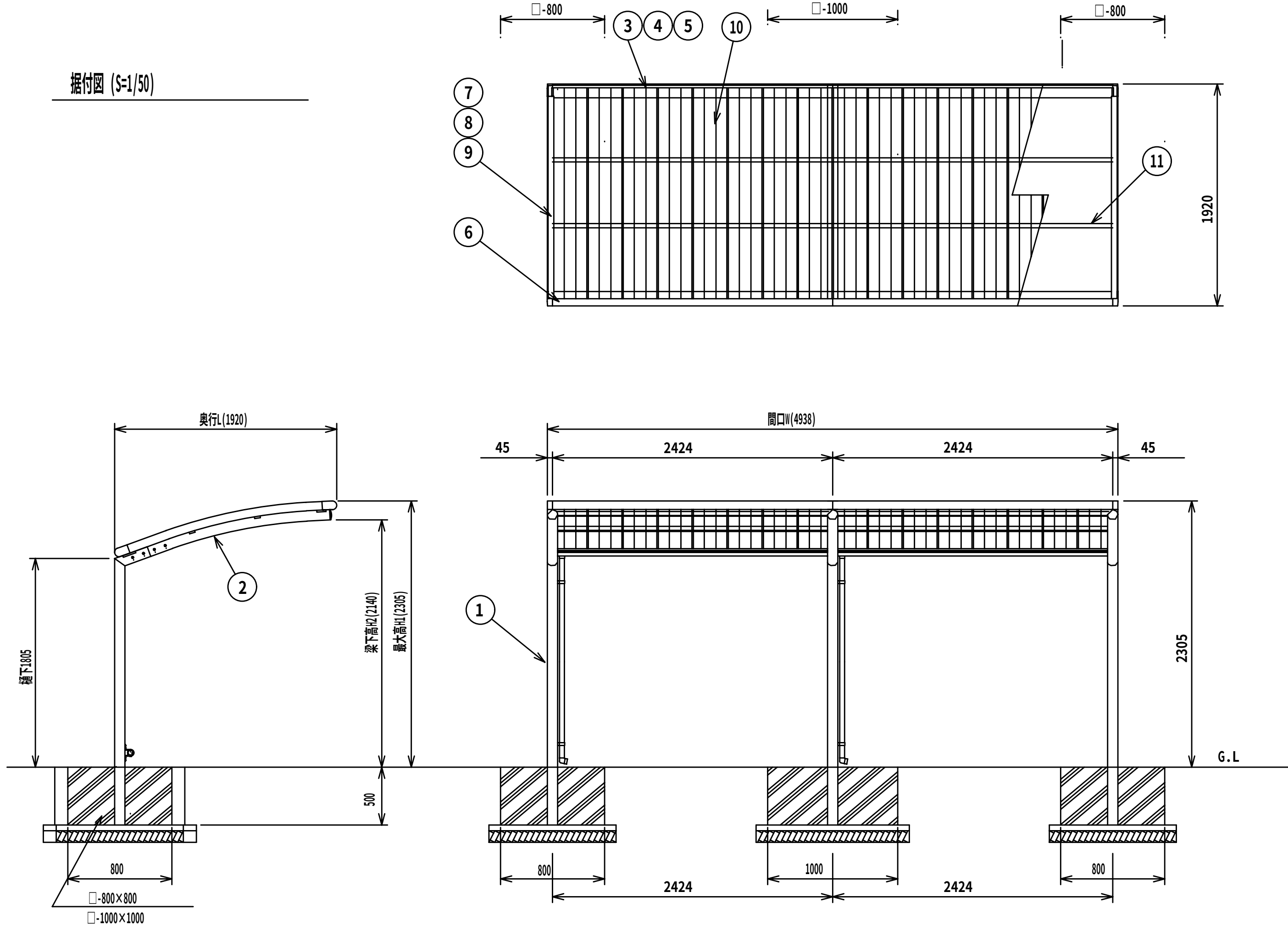
一級建築士事務所
日 新 設 計 株 式 会 社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図		設計名称	図面内容	あずま屋　各図	図面番号	Ａ — ２９　枚ノ内
製図		平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事				
日付	H22.09.06		縮尺	Ｓ＝1：30･100	設計番号	

2009.09.08 支柱補強及び母屋 変更

据付図 (S=1/50)



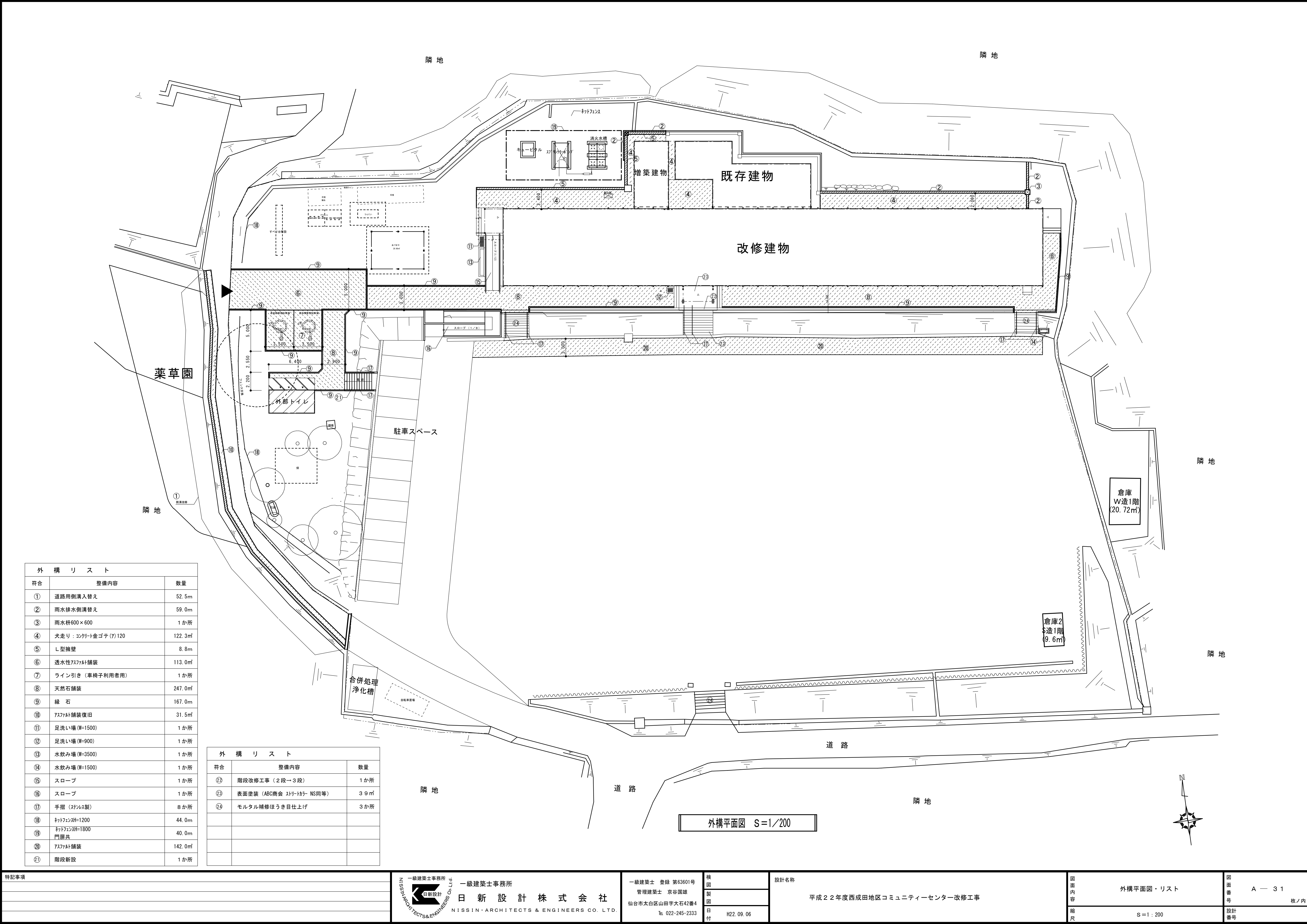
キャップ類	AAS
⑪ 母屋	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑩ 屋根材	アルミ板 ロールフォーミング材
⑨ 側面水切カバー	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑧ 側面水切	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑦ スペーサー	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑥ 正面水切	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑤ 端部母屋	アルミ押出形材+補強パイプ入り 陽極酸化・塗装複合皮膜
④ 樋カバー	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③ 樋	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
② 昇り梁	一般構造用炭素鋼鋼管 ペンタイトN・ポリエステル粉体塗装
① 支柱	一般構造用炭素鋼鋼管+下部補強入り ペンタイトN・ポリエステル粉体塗装
主要部材	仕様（材質・塗装）
型式コード	(SSR-PA)×3+(SSR-A6)×2 連棟セット・アルミ屋根仕様
商品名	サイクルポートSSRタイプ アルミ屋根６０用 連棟セット

四国化成株式会社 サイクルポートSSRタイプアルミ屋根６０用 連棟セット 同等品

○ 敷地条件
・地盤の種類：砂礫混じり粘性土
qa＝30.0kN/㎡
・凍結震度：２５㎝

特記事項
※土間コンクリートはＦｃ＝１８Ｎ／mm とする

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 製図 日付 H22.09.06	設計名称 平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 自転車置場 各図 縮尺 S＝1：30·100	図面番号 A — 30 枚ノ内 設計番号



外 構 リ ス ト

符合	整備内容	数量
①	道路用側溝入替え	52.5m
②	雨水排水側溝替え	59.0m
③	雨水桝600×600	1か所
④	犬走り：ｺﾝｸﾘｰﾄ金ゴテ(ｱ)120	122.3㎡
⑤	L型擁壁	8.8m
⑥	透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	113.0㎡
⑦	ライン引き（車椅子利用者用）	1か所
⑧	天然石舗装	247.0㎡
⑨	縁　石	167.0m
⑩	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装復旧	31.5㎡
⑪	足洗い場(W=1500)	1か所
⑫	足洗い場(W=900)	1か所
⑬	水飲み場(W=3500)	1か所
⑭	水飲み場(W=1500)	1か所
⑮	スロープ	1か所
⑯	スロープ	1か所
⑰	手摺（ｽﾃﾝﾚｽ製）	8か所
⑱	ﾈｯﾄﾌｪﾝｽH=1200	44.0m
⑲	ﾈｯﾄﾌｪﾝｽH=1800 門扉共	40.0m
⑳	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	142.0㎡
㉑	階段新設	1か所

外 構 リ ス ト

符合	整備内容	数量
㉒	階段改修工事（２段→３段）	１か所
㉓	表面塗装（ABC商会 ｽﾄﾘｰﾄｶﾗｰ NS同等）	３９㎡
㉔	モルタル補修ほうき目仕上げ	３か所

特記事項

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.09.06	設計名称 平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事
図面内容	外構平面図・リスト	図面番号	A — 31 枚ノ内
縮尺	S＝1：200	設計番号	

① 道路用側溝詳細図（300A） S=1/20

舗装高さ
520
54 412 54
コンクリート蓋
70 280 70
鉄筋コンクリートU形
敷きモルタル（1:3）
455
20
100 60
460

② 雨水側溝詳細図（240） S=1/20

340
50 240 50
U字側溝 W240
敷きモルタル（1:3）
再生クラッシャーランRC-40
捨コン
290
10060

③ 雨水桝詳細図 S=1/30

600
120 360 120
舗装高さ
グレーチング：鋼製501×500×50
600
150 120
再生クラッシャーランRC-40
捨コン
D10@200
（タテ、ヨコ共）

④ コンクリート舗装詳細図 S=1/10

コンクリート金ゴテ仕上げ
溶接金網φ6#100
コンクリート(7)120
路盤材料
（再生クラッシャーランＲＣ－４０）
（路床）
220
120
100

⑤ Ｌ型擁壁詳細図 S=1/20

750
150 600
水抜き孔@2000以内
土留め：ＰＣ製（Ｌ型）
840
1,000
500
450
160
200 50
250
捨コン
再生クラッシャーランRC-40

⑥ 透水性アスファルト舗装詳細図 S=1/10

透水性加熱アスファルト混合物（再生密粒度）
路盤材料（再生クラッシャーランＲＣ－４０）
（表層）
（路盤）
（フィルター層）
粗砂
（路床）
350
50
150
150

⑦ ライン引き詳細図 S=1/100

ライン（白色）W=150
マーク（白色）W=100
マーク（白色）W=150
マーク（白色）W=150
ライン（白色）W=150
ライン（白色）W=200
5,000
1,000 2,500
3,500
駐車場平面図 1/100
※駐車場ライン、マークは熱溶着とする

⑧ 天然石舗装詳細図 S=1/10

景観透水性舗装(7)10
プライマー
溶接金網φ4#100
コンクリート(7)120
路盤材料
（再生クラッシャーランＲＣ－４０）
（路床）
230
120 10
100

⑨ 縁石詳細図 S=1/10

120
地先境界ブロックＡ
敷きモルタル（1:3）
基礎コン
再生クラッシャーランRC-40
120
60 20
100

⑩ アスファルト舗装復旧細図 S=1/10

補修範囲 W=600
アスファルト混合物（再生密粒度）
タックコート ＰＫ－４
アスファルト混合物（再生密粒度）
（表層）
（基層）
プライムコート ＰＫ－３
（路盤）
（路床）
路盤材料（再生クラッシャーランＲＣ－４０）
480
60 50
370

⑪ ⑫ 足洗い場詳細図 S=1/20

600
ブラシ掛けフック
SUS304 6φ
グレーチング：鋼製亜鉛メッキ蓋付枠付き（既製品）
110°開閉式 500×600×2枚
コンクリート打ち放し
モルタル金ゴテ
800
150 500 150
150 1,200 150
1,500
(900)
平面 S=1:20

150
20
ブラシ掛けフック：SUS304 6φ
コンクリート打ち放しの上
複層塗材ＲＥ
500
25
25
D10 @200
内部：防水モルタル
グレーチング：鋼製
▼ GL
アンカー：D10-400@
× D13
• D10
断面 S=1:20

⑬ ⑭ 水飲み場詳細図 S=1/20

150 400 150 150
壁：モルタル金ゴテ・磁器質50角タイル
内部：モルタル金ゴテ・磁器質50角タイル
袖壁・壁：モルタル金ゴテ
・磁器質50角タイル
GL
コンクリート打放しのまま
1,100
200
150
400
150 200
60 50 110

⑮ スロープ詳細図 S=1/20

100
手摺：SUS304φ38×1.5
支柱：SUS304φ38×2.0
床：モルタル刷毛引き仕上
250
850
500
100
75 75
150
－ 断 面 －

支柱：SUS304φ38×2.0
手摺：SUS304φ38×1.5
12
1
－ 側 面 －

⑳ アスファルト舗装詳細図 S=1/10

アスファルト混合物（再生密粒度１３Ｆ）
プライムコート ＰＫ－３
（表層）
（路盤）
（路床）
路盤材料（再生クラッシャーランＲＣ－４０）
50
150

⑯ スロープ詳細図 S=1/50

＋１２５０
スロープ
１／８
＋６２５
手摺：SUS304φ40 ２段
±０
スロープ
１／８
＋６２５
150 1,400 150 1,400 150
75 1,550 75 1,550 75
75 75 2,225 75 75 1,775 75 75
2,375 5,000 1,925

壁：コンクリート打ち放しの上複層塗材ＲＥ
手摺：SUS304φ40 ２段
床：モルタル刷毛引き仕上
再生クラッシャーランRC-40
150
1,000
1,250
1,000
600
50
170 400
120
625
625
1,000
1,025
75 2,225 75 75 1,775 75
2,375 5,000 1,925

床配筋：Ｄ１３＠２００ タテ・ヨコ
壁配筋：Ｄ１３＠２００ タテ・ヨコ

㉑ 階段詳細図 S=1/40

150 2,000 150
床・立上り：モルタル塗り
再生クラッシャーランRC-40
1,540
140
280
120
手摺⑰
床：モルタル塗り
手摺⑰
2,000
2,300
150
300 300 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 300 500
3,800

床配筋：Ｄ１３＠２００ タテ・ヨコ
立上り：Ｄ１３＠２００ タテ・ヨコ

⑱ ⑲ ネットフェンス詳細図 S=1/20

1,200(1,800)
1,170(1,770)
独立基礎
180×180×450
（200×200×450）
支柱：V65×35×3.5 塗装品
胴縁：L40×40×3 塗装品
ひし形金網：φ3.2×56□ 塗覆品
鉄線：φ4.0 塗覆品
胴縁：L40×40×3 塗装品
2,000
門柱：V65×35×3.5 塗装品
胴縁：L40×40×3 塗装品
ひし形金網：φ3.2×56□ 塗覆品
ブレース：φ13
2,000
－門 扉－
※（ ）内はH=1,800を示す

⑰ 手摺（ステンレス製）詳細図 S=1/20

134.7
手摺：SUS304φ42.7 ２段
L=4000
250
850
600
400
100 50
300角
支柱間隔：2000以内
120～200
18
G.L.

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 Tel 022-245-2333	
検図			
製図			
日付	H22.09.06		
設計名称	平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事		
図面内容	外 構 詳 細 図	図面番号	Ａ － ３２ 枚ノ内
縮尺	S＝1：10・20・30・100	設計番号	

隣地

隣地

隣地境界線

隣地境界線

隣地境界線

隣地境界線

隣地境界線

既存建物

既存建物

ハントウボウ撤去

すべり台移設

樹木①

樹木②

シーソー撤去

薬草園

駐車スペース

隣地

隣地

倉庫
W造1階
(20.72㎡)

倉庫2
S造1階
(9.6㎡)

隣地境界線

隣地境界線

合併処理
浄化槽

隣地境界線

道路境界線

道路境界線

道路境界線

道路

隣地

道路

隣地

隣地

解　体　リ　ス　ト

符合	解体内容	数量
①	道路用側撤去	52.5m
②	雨水排水側撤去	59.0m
③	雨水枡450×450撤去	1か所
④	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装(ｱ)150撤去	52.1㎡
⑤	Ｌ型擁壁	3.6m
⑥	倉庫撤去　基礎共 木造　床面積　3.7㎡	1　棟
⑦	簡易便所撤去　便槽共	1か所
⑧	砂場撤去	1か所
⑨	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	90.5㎡
⑩	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	31.5㎡
⑪	足洗い場(W=1500)撤去	1か所
⑫	水飲み場(W=1500)撤去	1か所
⑬	すべり台移設（場内）	1か所
⑭	シーソー 撤去	1か所
⑮	ハントウボウ 撤去	1か所
⑯	手摺（スチール製)撤去	2か所
⑰	ﾈｯﾄﾌｪﾝｽH=1200撤去	44.0m
樹木①	アカシア　H=6m、φ400	1　本
樹木②	サクラ　H=6m、φ300	1　本

特記事項

一級建築士事務所
日　新　設　計　株　式　会　社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図		設計名称	平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事
製図		図面内容	解体平面図・リスト
日付	H22.09.06	縮尺	S＝1：200
図面番号	A — 33		枚ノ内
設計番号			

① 道路用側溝撤去詳細図（300A） S=1/20

舗装高さ
鉄筋コンクリートU形
敷きモルタル（1:3）

② 雨水側溝撤去詳細図（240） S=1/20

U字側溝 W240
敷きモルタル（1:3）
捨コン

③ 雨水桝詳細図 S=1/30

グレーチング：鋼製501×500×50
捨コン
D10@200（タテ、ヨコ共）

④ コンクリート舗装撤去詳細図 S=1/10

コンクリート(ｱ)120
D10@200
（路床）

⑤ L型擁壁撤去詳細図 S=1/20

土留め：PC製（L型）
捨コン

⑧ 砂場撤去詳細図 S=1/10

W2070×D3020
外枠：120×120
砂

⑨ アスファルト舗装撤去詳細図 S=1/10

アスファルト混合物（再生密粒度13F）
（表層）
（路盤）
（路床）

⑩ アスファルト舗装復旧細図 S=1/10

補修範囲 W=600
アスファルト混合物（密粒度）
アスファルト混合物（密粒度）
（表層）
（基層）
（路盤）
（路床）

⑪ 足洗い場詳細図 S=1/20

グレーチング：鋼製
コンクリート打ち放し
平面 S=1:20
グレーチング：鋼製
断面 S=1:20

⑫ 水飲み場撤去詳細図 S=1/20

壁：モルタル金ゴテ
内部：モルタル金ゴテ

⑮ スロープ撤去詳細図 S=1/20

手摺：鋼製φ40×2.3 SOP
支柱：鋼製φ40×2.3 SOP
コンクリート撤去

⑯ ネットフェンス撤去詳細図 S=1/20

支柱：V65×35×3.5 塗装品
胴縁：L40×40×3 塗装品
ひし形金網：φ3.2×51 ﾒｯｷ塗装品
鉄線：φ4 ﾒｯｷ塗装品
胴縁：L40×40×3 塗装品
独立基礎 180×180×450

⑥ 既存倉庫撤去詳細図 S=1/50

倉庫
床：土間コンクリート(ｱ)120
－平面－

○ 倉庫
構造・規模：木造平屋建て
床面積：3.36㎡

屋根：波板カラー鋼板
壁：波板カラー鋼板
木製建具800×1800
－立面－
屋根：波板カラー鋼板
仕上げなし
床：土間コンクリート(ｱ)120
－断面－

⑦ 簡易便所撤去細図 S=1/50

マンホール：鋳鉄製φ450
小便 小便 大便
床：コンクリート金ゴテ
－平面－
簡易便所：スチール製既製品
－立面－
便槽
－断面－

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図
日付 H22.09.06

設計名称
平成22年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容 解体詳細図
縮尺 S=1：10・20・30・50
図面番号 A－34
枚ノ内
設計番号

仕　　様　　書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事

2．工事場所　宮城県黒川郡富谷町西成田字郷田１番２９

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考

4．工事種目（⊙印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建設別及び屋外	工事種別				備考
				屋外	
⊙電灯設備	改修増設一式				
⊙動力設備	改修増設一式				
・電熱設備					
⊙受変電設備	改修増設一式				
・静止形電源設備					
⊙発電設備	改修増設一式				
・避雷設備					
・構内交換設備					
・構内情報通信網設備					
・情報表示設備					
⊙映像・音響設備	改修増設一式				
⊙拡声設備	改修増設一式				
⊙誘導支援設備	改修増設一式				
⊙呼出し設備	改修増設一式				
⊙テレビ共同受信設備	改修増設一式				
・監視カメラ設備					
⊙防犯設備	改修増設一式				
⊙火災報知設備	改修増設一式				
・中央監視制御設備					
・					
⊙構内配電線路	改修増設一式				外灯設備を含む
・構内通信線路					
・電波障害調査	別紙仕様書による。				

5．指定部分　※ なし　・ あり　（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　　　　　）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編 平成１５年版），公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編，平成１５年版）及び公共建築設備工事標準図（電気設備工事編，平成１５年版）による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお，機械設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（1）項目は番号に⊙印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は，⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。⊙印と※印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	①．適用基準等	⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年） ・
	②．機材等	本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督員の承諾を受けるものとする。
	③．機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」((社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督員に提出するものとする。
	④．保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督員に提出のこと。
	5．雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥．施工計画書及び施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督員の承諾を受ける。 また，県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督員に提出する。
	⑦．環境対策	・ ＩＳＯ　１４００１対象工事 施工計画書中の環境対策の項目に環境配慮計画書を記載し，現場においては特に環境に配慮する。 ⊙ ＩＳＯ　１４００１対象外工事
	⑧．手続き	官公署への諸手続き等は遅滞なく監督員と協議の上，請負者が代行処理する。 なお，当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	⑨．事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑩．電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
	⑪．機材等の検査及び試験	共通仕様書による。（第１編　１．４．３　，１．４．４　）
	⑫．足場，さん橋類	・ 別契約の関係請負者が設置したものは，無償で使用できる。　・ 本工事で設置する。
	⑬．監督員事務所	※ 設けない　・ 設ける（　　号・・・建築工事）
	⑭．工事用電力，水，他	本工事に必要な工事用電力，水などの費用はすべて引渡まで請負者の負担とする。
	⑮．工事用仮設物	構内につくることが　※ できる　・ できない
	⑯．残土処理	・ 構外搬出　※ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所にたい積
	⑰．発生材の処理	(1)建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ○・ なし　・ あり（　　） (2)引渡しを要するもの　※ なし　・ あり（　　） (3)廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，場外搬出の上，適切に処分すること。 （搬出計画）⊙ 廃棄物の搬出処分についての施工計画書を提出し，監督員の承諾を得ること。 ⊙ 廃棄物の搬出処分が終了したときは報告書を提出すること。 (イ) 特別管理産業廃棄物 ※ なし　・ あり（ ・ ＰＣＢ使用機器　・　） (ロ) 再生資源化を図るもの ・ なし　・ あり（　　） (ハ) (イ)(ロ)以外の発生材の処分地 ⊙ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物は 「　　」（ＤＩＤ地区 ○・ 有　・ 無 ）に処分すること。 ・ 木くず等の管理型の産業廃棄物は 「　　」（ＤＩＤ地区 ・ 有　・ 無 ）に処分すること。 (4)図面に示された発生材の数量との相違が生じた場合には，設計変更の対象とする。 ※再生資源利用計画等の提出 次のものの利用及び処理を行う場合は、宮城県建設副産物処理設計積算要領（平成５年３月１９日付け宮城県土技第１０７号）に基づき、再生資源の利用計画等を施工計画書に含め監督職員に提出し、また、工事完了時に建設副産物の処理結果報告書を監督職員に提出する。 工事現場に搬入するもの　土砂、砕石、加熱アスファルト混合物 施工により発生するもの　建設副産物 建設リサイクル法 ・ 対象工事 落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。 ⊙ 対象外工事
	⑱．耐震施工	設備機器の固定は，耐震を考慮し堅固に据付、取付および支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は，次に掲げる事項以外，すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課監修1997年版）による。

設置場所	設計用標準震度：特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

注1) 設置場所の区分は共通仕様書による。　注2) （　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

(1)本工事の施設は（○ 一般の施設　・ 特定の施設 ）とする。
(2)地域係数は1.0とする。
(3)100kg以下の軽量な機器（共通仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。
(4)重要機器類
・ 配電盤　・ 発電装置　・ ＵＰＳ装置　・ 直流電源装置
・ 中央監視装置　・ 交換機　・　・

章	項目	特記事項
一般共通事項	19．他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合，「各工事の工事区分表」による。
	20．保温，結露防止	外部に面する壁，天井でＦＰ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。
	㉑．電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，共通仕様書第６編　通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。 （ＥＭ－ＣＭＭＳ，ＥＭ－ＶＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）
	㉒．合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管(一重管)とし，温度による分類はタイプ－25とする。
	23．二種金属製可とう管	露出箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし いんぺい箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし
	24．電線本数，管路など	分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは，監督員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
	25．インサート	鋼鉄製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	26．呼び線	長さ１ｍ以上の入線しない電線管には，1.2㎜以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
	27．フラッシュプレート	図面に特記なき場合（ ※ 金属製（ステンレス・新金属も含む）　・ 樹脂製 ）とする。
	28．フロアプレート･ベース	※ 水平高低調節付（空転防止リング付）　・ 砲金製　・ アルミ合金製
	29．ハンドホール蓋	県章およびチェーン付のものとする。
	30．はつり	・ 既存のコンクリート床，壁などの配管貫通部の穴あけは，図面に特記なき場合，原則としてダイヤモンドカッターによる。
	31．再使用機器	取外し再使用機器は，清掃及び絶縁抵抗測定のうえ，取付ける。
	32．接地極	接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは1,500㎜とする。 ただし，Ｄ＝１０は1,000㎜，Ｗ＝３０は1,200㎜とする。

	接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格，数量
・	避雷設備用接地	ＥＬ	Ω以下	・ ＥＰ×１ ・ ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×３連－　組
・	共同接地	ＥＡ・ＥＤ・ＥLH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×３連－２組
・	共同接地	ＥＡ・ＥＣ・ＥＤ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×３連－２組
・	Ａ種	ＥＡ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×３連－２組
・	Ｂ種	ＥＢ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×２
・	Ｃ種	ＥＣ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×３連－２組
・	Ｄ種	ＥＤ	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×１
・				
・	構内交換機（陽極）用	Ｅｔ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×３連－　組
・	本配線盤の保安装置	ＥＡｔ	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×３連－２組
・	電話引込口の保安器	ＥDt	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×１
・	拡声増幅器	ＥDa	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×１
・	防犯装置用	ＥＳ	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×３連－　組
・			――	
・	測定用	Ｅｏ		ＥＢ(Ｄ＝10又はＷ＝30)×１
・	避雷器用（低圧用）	ＥLL	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×３連－２組
・	避雷器用（高圧用）	ＥLH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はＷ＝40)×３連－２組
・	構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

章	項目	特記事項
一般共通事項	㉝．塗装工事	下記部位に使用する，外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外　※ 居室　・ 盤類等は指定色塗装仕上げとする。 ・次の管路は塗装（調合ペイント２回塗り）を行う。（　　）
	34．山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが1.5ｍを超える場合には，山留めを行うものとする。
	㉟．舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事共通仕様書22章（舗装工事）及び建築工事監理指針（舗装工事）による。
	36．公共事業労務費調査に対する協力	本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合，調査票等に必要事項を正確に記入し監督職員に提出する等、必要な協力を行う。また，本工事の工期経過後においても同様とする。 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導の対象に該当した場合、その実施に協力する。また、本工事の工期経過後においても同様とする。 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう，労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等，日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておく。 本工事の一部について下請契約を締結する場合には，当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が上記同様の義務を負う旨定める。
	㊲．不法無線局の排除	請負者は電波法令を遵守し，不法無線局を搭載した車両を使用してはならない。
	38．工事実績情報の登録	請負代金額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（ＣＯＲＩＮＳ）の登録を行うものとする。
電灯設備	①．工事範囲	⊙ 配管　⊙ 配線　⊙ 分電盤類
	②．電気方式	幹線　単相３線式２００Ｖ/１００Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　単相２線式２００Ｖ 分岐　単相２線式１００Ｖ
	③．施工方法	幹線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 分岐　電灯　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 コンセント　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 屋外露出　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製
	④．蛍光灯	蛍光灯器具安定器の種別および点灯方式，力率，定格入力電圧，周波数は図示以外は下記による。

蛍光灯の種類			標準図（電力1）記号
環形のランプ			ＧＬ　１５
直管形のランプ	１５形以下		ＧＬ　１５
	２０形	防雨形器具，防湿形器具，シーリングライト プルスイッチ付き電池内蔵形非常用照明器具	ＧＬ　１５
	２０形	上記以外のもの	ＧＨ　１５
	４０形および１１０形		ＲＨ　　５
高輝度誘導灯			Ｅ　　１５
Ｈf形のランプ		ルーバー又は照明カバー付き，防雨形，防湿形	ＰＨＨ　５
		ルーバー又は照明カバーが取付可能な器具	ＰＴＨ　５
		上記以外の露出形及び下面開放形	ＰＮＨ　５
コンパクト形のランプ		１３Ｗ　１８Ｗ　２７Ｗ	ＥＬ　１５
		３６Ｗ　５５Ｗ	ＰＨ　　５

章	項目	特記事項
電灯設備	⑤．蛍光ランプ	⊙ 省エネ形（ ・ 全部　○・ 暖房を行う部屋，廊下などに限る。）　・ 一般形
	⑥．非常用照明器具	※ 電池内蔵形　・ 電源別置形
	7．ハイテンションアウトレット	※ 飛び出し形　・ 外部固定形 ※ 銅合金製　・ アルミ製
	8．予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管として、予備の配線用遮断器４個以下の場合は（ＰＦ２２）相当を１本、５個以上の場合は（ＰＦ２２）相当を２本以上、天井裏まで立上げる。 梁下に配管の配線スペースのない梁には、１スパンにＶＥ（３６）×２を予備スリーブとして埋込むこと。
動力設備	①．工事範囲	⊙ 配管　○ 配線　○ 制御盤類
	②．電気方式	幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　三相３線式　２００Ｖ
	③．施工方法	幹線　・ 金属管配線　○・ ケーブル配線 分岐　・ 合成樹脂管配線　○・ 金属管配線 屋外露出　・ 合成樹脂管配線　○・ 金属管配線　・ ケーブル配線 ボックス　・ 合成樹脂製　○・ 金属製
	4．警報盤	※ 壁掛形（電源装置　※ 内蔵　・ 別置 ）　・
	5．電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※ 埋込連用形配線器具　・
	⑥．機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	7．電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	8．進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
電熱設備	1．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　50Hz 分岐　相　線式　Ｖ
	2．施工場所及び面積	・　（　㎡）　・　（　㎡）
受変電設備	1．工事範囲	⊙ 機器類　・
	2．電気方式	高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ 低圧　三相３線式　２００Ｖ 低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	3．引込ケーブル	・ ＣＶＴ３８□　・ ＣＶＴ６０□ ・ ＣＶ３８□－３Ｃ　・ ＣＶ６０□ －３Ｃ　⊙ ＥＭ－６ＫＶ－ＣＥＴ６０ｓｑ
	4．配電盤	・ 屋内形　⊙ 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ⊙ キュービクル式配電盤　・ 高圧閉鎖配電盤　・　・
	5．主遮断装置	※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　⊙ 高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流 １２．５　ｋＡ
	6．設備容量	⊙ 変圧器総容量 １００　ｋＶＡ
	7．変圧器	⊙ 油入式　・ 乾式
	8．進相用コンデンサ	※ 低圧　⊙ 高圧
	9．リアクトル	⊙ ６%　・ １３%
	10．自動力率制御装置	※ 無効電力検出方式　・ 力率検出方式
	11．測定用補助接地極	⊙ 設置
静止形電源設備	1．直流電源装置	※ 非常用照明器具電源，受変電設備制御電源供用　・ 受変電設備専用　・ 非常用照明器具専用 蓄電池　・ 鉛蓄電池（ ・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・　） ・ アルカリ蓄電池（・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）
	2．交流無停電電源装置	用途（　　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・ 鉛蓄電池（ ・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・　） ・ アルカリ蓄電池（・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）
発電設備	1．工事範囲	・ 機器類　・
	2．形式	・ 簡易形　・ キュービクル式　・ オープン形　・ ・ 屋内形　・ 屋外形
	3．発電機	電気方式　三相３線方式５０Ｈｚ　電圧　Ｖ．　定格出力　ｋＶＡ
	4．原動機	種類　・ ディーゼル　・ ガスタービン　・ 定格出力　ｋW以上　始動方式　※ 電気式　・ 空気式 （　ＰＳ以上）　冷却方式　・ ラジエータ式　・ 水冷循環式
	5．燃料	種類　・ 軽油　・ 灯油　・ Ａ重油 燃料小出槽　ﾘｯﾄﾙ　主貯油槽(地下)　・ なし　・ あり(・ 別途　・ 本工事)
	6．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋW パワーコンディショナ　相　線式　定格出力　ｋW
避雷設備	1．工事範囲	・ 受雷部　・ 引下げ導線　・ 接地極埋設
	2．受雷部	・ 突針　・ むね上導体　・ 笠木（別途）など
	3．避雷導線	・ 引下げ導線　※ 建築構造体利用
	4．接地極	※ 接地極埋設　・ 建築構造体利用
	5．測定用補助接地極	・ 設置
構内交換設備	1．工事範囲	・ 交換機　・ 電話機　・ 配線（ ・ 全部　・ 端子盤以降 ）
	2．電話交換機	形式　・ ボタン電話装置　・ ＰＢＸ 回線数　内線　／　回線　局線　／　回線
	3．電話機への配線	電話機１台につき，下記のものを見込む。 ・ ＥＭ－ＴＩＥＦ０．６５－２Ｃ（ ・ ２０ｍ　・　） ・ ＥＭ－ＥＢＴ０．４－２Ｐ　（　２０ｍ　・　） ・ ワイヤープロテクタ（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	4．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※ 一般電話用　個（ ・ 納入する　・ 取り付ける ） ※ 銅合金製　・ アルミ製
	5．保安器用接地	※ 本工事　・ 別途工事
通信・情報設備	①．工事範囲及び施工方法	（下表）

項目	工事範囲：配管	配線	機器類	施工方法：合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線
・電気時計	・	・	・	・	・	⊙
⊙拡声	⊙	⊙	⊙	・	・	⊙
・表示	・	・	・	・	・	・
⊙インターホン	⊙	⊙	⊙	・	・	⊙
⊙テレビ	⊙	⊙	・	・	・	⊙
⊙防犯	⊙	・	・	・	・	・
⊙トイレ呼出	⊙	⊙	⊙	・	・	・
・ＬＡＮ	・	・	・	・	・	⊙

ボックス　⊙ 合成樹脂製　・ 金属製　・

章	項目	特記事項
通信・情報設備	2．構内情報通信網設備	種類（ ・１０ＢＡＳＥ－Ｔ　・１００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・１０００ＢＡＳＥ－Ｔ　・ＡＴＭ ・　・　）
	3．情報表示設備	・ 情報表示盤（ ・ 発光ダイオード式　・ 磁気浮動式　・ プラズマ式　・ 液晶式 ） ・ 親時計　回線　※ 壁掛形　・ 自立形 （ ・ 電子チャイム組込　・ プログラムタイマー組込 ）
	④．映像・音響設備	・ 増幅器　Ｗ　⊙ 別紙図面参照 ・ ＶＴＲ（ ※ Ｓ－ＶＨＳ　・ ＤＶ　・　） ・ プロジェクタ（ ※ 前面投射式　・ 背面投射式 ） ・ 音響設備（ ・ ＣＤ　・ ＭＤ　・ カセット　・　）
	⑤．拡声設備	⊙ 増幅器 ８０ Ｗ　※ 卓上形　・ キャビネットラック形
	6．誘導支援設備	・ 身体障害者用インターホン　⊙ トイレ等呼出し装置　・ 音声誘導装置
	⑦．呼出し設備	⊙ インターホン（ ・ 受付用　・　）
	⑧．テレビ共同受信設備	・ テレビアンテナ（ ・ ＡＶ－　・ ＡＵ－　・ ＢＳＡ－　・ ＣＳＡ－　） ・ 地上波アンテナマスト（ ※ 壁面取付形　・ 自立形 ） ・ ＢＳ用アンテナマスト（ ・ 壁面取付形　・ 自立形 ）
	9．監視カメラ設備	・ 白黒方式　・ カラー方式
	⑩．防犯設備	接地工事（ ※ 本工事　・ 別途 ）
火災報知設備	①．工事範囲	⊙ 配管　⊙ 配線　⊙ 機器類
	②．火災報知装置	⊙ 受信機 Ｐ 形 １ 級 ８ 回線（　アドレス）　・ 壁掛形　・ 自立形 ⊙ 単独　・ 複合盤（自火報　回線　自動閉鎖　回線　ガス漏れ警報　回線） ・ 副受信機　回線 ⊙ 機器収容箱　⊙ 専用形（・ 埋込形　⊙ 露出形）　・ 屋内消火栓箱に組込み
	③．非常警報装置	⊙ 非常ベル（自動式サイレンを含む）　・ 非常放送装置
	④．自動閉鎖装置	・ 連動制御器　回線（遠方復帰機構　回路） ・ 単独（・ 壁掛形　・ 自立形）　・ 火災受信機などとの複合盤 ・ 自動閉鎖機構　・ 防火戸用（本工事，電磁式又はラッチ式，ＤＣ24Ｖ，0.6Ａ以下） ・ 防煙ダンパ用(別途，瞬時通電式又は電動式，ＤＣ24Ｖ，0.6Ａ以下，遠方復帰機構(電動式)，ＤＣ24Ｖ，0.7Ａ以下) ・ 防火シャッター用（別途，ＤＣ24Ｖ，0.6Ａ以下） ・ 自動開放機構　・ 排煙ダンパ（別途，排煙機運転用連動機構付）
	5．ガス漏れ警報装置	・ 受信機　回線（ ・ 都市ガス用　・ 液化石油ガス用） ・ 単独（ ・ 壁掛形　・ 自立形 ）　・ 火報受信機などとの複合盤 ・ 感知器 ・ 併設　・ 連動 ・ 定格電圧（ ・ ＡＣ100Ｖ　・ ＤＣ24Ｖ ） ・ ガス検知出力信号（ ・ 有電圧出力方式　・ 無電圧接点方式 ）
	6．消火器類	(1)消火器　種別 ・ 数量（　　） (2)消火器収納箱　仕様 ・ 材質 ・ 数量（　　）
中央監視制御設備	1．工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 機器類
	2．監視制御対象設備	・ 動力設備　・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 火災報知設備
	3．表示操作盤	・ 壁掛形　・ 自立形 組込み機器　・　・ ・　・
	4．監視制御装置	構成機器　・ グラフィックパネル　・ ミニグラフィックパネル ・ プラズマディスプレイ　・ 操作卓 ・ ＣＲＴディスプレイ（・ キャラクタ　形　・ グラフィック　形） ・ 中央処理装置　・ 伝送端末局（子局） ・ 作表用印字装置　・ 雑印字装置　形 ・ ロギングタイプライタ
構内配電線路	1．工事範囲	⊙ 管路　⊙ 配線　⊙ 機器類
	2．電気方式	⊙ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Hz ⊙ 低圧　単相２線式　１００Ｖ ⊙ 低圧　三相３線式　２００Ｖ ・ 低圧　相　線式　Ｖ
	3．布設方法	※ 地中埋設式（ ⊙ ＦＥＰ　・ ＰＥ　・ 厚鋼電線管 ）　・ 架空線式
	4．柱上機器	⊙ 高圧負荷開閉器　※ 一般用　・ 耐重塩じん用 ・　※ 地絡継電器付き（※ 方向性　・ 無方向性） ⊙ 避雷器　※ 一般用　・ 耐塩用 ○ 高圧カットアウト，がいしなど　※ 一般用　・ 耐塩用
	5．高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※ 一般用　・ 耐塩用 ※ 処理者銘板取付（屋内外共，線名，作業日，氏名を表示）
	6．その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	7．外灯設備	⊙ 定格電圧　１００　Ｖ　Ｗ
	8．沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す（　　）
	9．標識シート	⊙ 高圧ケーブル　○ 電力幹線ケーブル
	10．予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまで（ＦＥＰ100）１本の予備配管を設ける。 分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまで（ＦＥＰ80）２本の予備配管を設ける。
構内通信線路	1．工事範囲	・ 管路　・ 配線
	2．用途	・ 電話用　・ 時計、拡声用　・ 火災報知用
	3．施工方法	※ 地中埋設式（・ ＦＥＰ　・ ＰＥ　・ 厚鋼電線管）　・ 架空線式
	4．標識シート	・ 弱電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備	名称	測点	取付高（㎜）	通信設備	名称	測点	取付高（㎜）
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	約 1,800	電話	引込線留め高	地上～引込点	
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200		集合保安器箱	天井下～上端	200
	分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)		端子盤(廊下、室内)	床上～下端	300
					〃（ＥＰＳなど)	床上～中心	1,500
					壁付アウトレット(一　般)	床上～中心	300
					〃（和　室)		150～200
電灯	スイッチ（一　般)	床上～中心	1,300	時計・拡声・通信設備	壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
	〃（和　室)	〃	1,200		子時計	〃	2,300
	コンセント(一　般)	〃	300		壁掛形スピーカ	〃	2,300
	〃（和　室)	〃	150～ 200		壁付アッテネータ	〃	1,300
	〃（台　上)	台上～中心	100		壁付インターホン(一　般)	床上～中心	1,300
	〃（ファン用)	床上～下端	ファン下端		〃（身体障害者)	〃	1,300
	〃（厨　房)	床上～中心	800～1,000		壁付アウトレット(一　般)	〃	300
	〃（車　庫)	〃	1,300		〃（和　室)	〃	150～200
	〃（機械室)	〃	500～1,000		機器収容箱	天井下～上端	200
	〃（土　間)	〃	800～1,300		直列ユニット(一　般)	床上～中心	300
	ブラケット(一　般)	床上～中心	2,100～2,300		〃（和　室)	〃	200
	〃（踊　場)	〃	2,000～2,500	警報・表示等	表示盤	床上～中心	2,300
	〃（鏡　上)	鏡上端～中心	150		壁付発信機	〃	1,300
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上		ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下		壁付押しボタン(一　般)	床上～中心	1,300
					〃（身体障害者玄関)	〃	900
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端2,000以下)	火災報知器	受信機	床上～中心	800～1,500
	開閉器箱	〃	1,500		副受信機	〃	800～1,500
	電磁開閉器用ボタン	〃	1,300		機器収容箱	〃	800～1,500
身障者用	非常ボタン(便所用)	床上～中心	900		発信機	〃	800～1,500
	壁付インターホン(親機)	〃	1,300		表示灯	床上～中心	2,100
	〃（玄関子機)	〃	1,100		ベル	〃	2,300
	廊下表示灯(復旧ボタン付)	〃	1,300		液化石油ガス用検知器	床上～上端	250
	身障表示ランプ	〃	1,500		都市ガス用検知器（軽質)	天井～上端	150
	スイッチ	〃	1,100		〃（重質)	床上～上端	250

注）天井高さ3,000㎜以上の場合は監督員と協議すること。

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出すること。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1 完成調書	営繕工事完成引渡要領（平成１３年４月１日版）（作成は，主たる請負業者が，他の工事および監督員の協力を得て取りまとめる。）	1部	7 工事写真 ①工事施工写真	Ａ４版 チューブ式ファイル 工事施工写真は，履行写真（着手前写真と完了写真）並びに施工状況写真とで構成される。	1部
			②完了写真	Ａ４版 ペーパーファイル 完成届に添付	1部
2 完成図 ①黒表紙金文字製本	Ａ４版 （4 機器完成図，5 取扱説明書とまとめて１冊にしてもよいが，厚さ８０㎜を越える場合は分冊とする。）	1部	③完成写真	Ａ４版 ペーパーファイル 営繕課保管用，ネガﾌｨﾙﾑ含む。	1部
			④マイクロフィルム	３５㎜　ＭＦフォルダー 営繕課保管用	1部
②青焼き二つ折り製本	Ａ２版（Ａ１版二つ折り）	1部	8 工事週報	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
③青焼き二つ折り製本（縮小）	Ａ４版（Ａ３版二つ折り） １部は営繕課保管	2部	9 工事打ち合わせ議事録	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
④原図	三つ折りケース収納	1部	10 工事に関する承諾確認書 ①施工計画書 ②施工要領書 ③確認書・承諾書 ④協議書 ⑤安全に関する書類 ⑥建設廃棄物ﾏﾆﾌｪｽﾄ	Ａ４版 チューブ式ファイル	1式
3 施工図 ①青焼き二つ折り製本	Ａ２版（Ａ１版二つ折り） （施工図の枚数が少ない場合は，完成図の二つ折り製本と合本可）	1部			
②原図	三つ折りケース収納	1部			
4 機器完成図	Ａ４版 黒表紙金文字製本 （2 完成図と合本可）	1部	11 各種保証書	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
5 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧	Ａ４版 黒表紙金文字製本 （2 完成図と合本可）	1部	12 その他 ①機器試験成績書 ・機材材質証明書 ・機材検査試験報告書 ・工場検査報告書 ・工場立会検査報告書 ②現場試験成績書 ・工事別試験報告書 ・総合運転および試験報告書	（機器完成図と合本可）	1部
6 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③記期別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部			

注記：機器参考図について
・本図面中で，機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を参考図として記載している。
これらのものについては，その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。
・多目的便所や授乳室など福祉を目的とし身体の不自由な人の使用する部屋のスイッチは特記なき場合でもワイドプレートとし、設置位置は条例に定める位置とする。
・完成図はＣＡＤを用いて作成し、上記の他にデーターとして提出する。
形式　ＤＸＦ又はＳＸＦ　記録媒体　ＭＯ６４０ＭＢ以下　部数２部

特記事項

一級建築士事務所　日新設計
NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.Ltd.
一級建築士事務所
日　新　設　計　株　式　会　社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	製図	日付
		H22.

設計名称：平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事

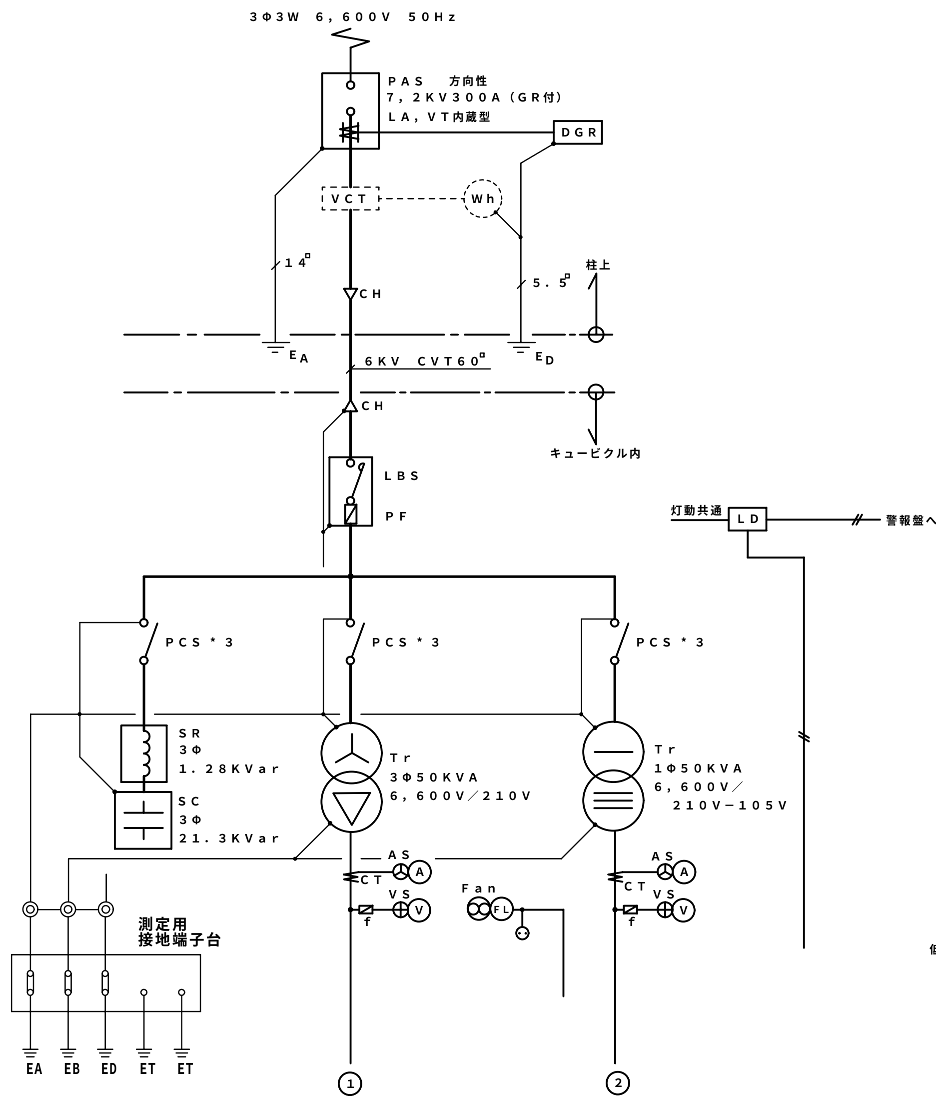
図面内容：電気設備工事特記仕様書

縮尺：

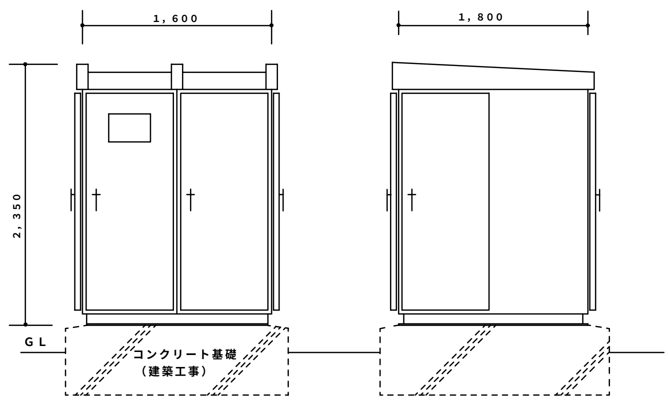
図面番号：E— 01

枚ノ内

設計番号：



屋外キュービクル



参考姿図

FP22-3C(E39)

耐火セパレーター

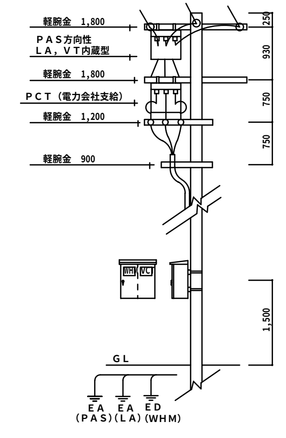
① 低圧動力盤

MCB3P225／125	11KW+1.8KW	FP22□－3C	SPU，浄化槽
ELB3P50／30	2.2KW	EM－CE3.5□－3C	増圧ポンプ
MCB3P225／125	18.34KW	EM－CET38□	P－1

三相負荷合計
33.34KW＊1.25＝41.675KVA

② 低圧電灯盤

MCCB3P225／225	43.9KVA	EM－CET150□	L－1
ELB2P50／20	1.0KVA	EM－CE3.5□－3C	SPU電灯＋凍結防止ヒーター
ELB2P50／20	1.0KVA	EM－CE3.5□－3C	SPU凍結防止ヒーター 200V
ELB2P50／20	1.0KVA	EM－CE3.5□－3C	凍結防止ヒーター
MCCB2P50／20			LD
MCCB2P50／20			所内灯
MCCB3P100スペース			予備



装柱材

※気中開閉器は次の場合方向性とする
6KVCVｹｰﾌﾞﾙの長さが38SQで50M、60SQで45Mを超える時。落雷等の原因も含め、周囲の影響を受けやすい時。

凡例

記号	名称	仕様及び摘要
	分電盤	結線図参照
	動力盤	結線図参照
	照明器具	姿図参照
	照明器具	姿図参照
	埋込スイッチ	片切り　ネーム・ランプ付
	埋込コンセント	2P15A　2：2ケ口 E：接地極又は端子付き
WP	防雨コンセント	2P15A　2：2ケ口 E：接地極又は端子付き
	換気扇	結線のみ

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	
日付	H22.

設計名称：平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容：受変電設備図・凡例

縮尺：

図面番号：E－02

枚ノ内

設計番号：

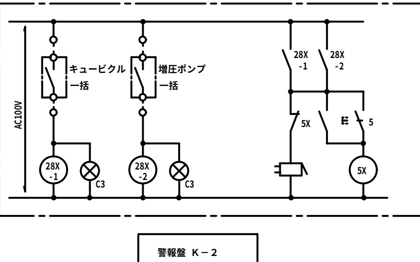
電灯分電盤結線図（１）

盤名称（盤形式）幹線番号 幹線サイズ	電気方式 主幹（結線）合計容量	回路番号	電圧 V	分岐 AF／AT	負荷名称	負荷容量（VA）	備考
L－1	合計 43．9kVA	A	100	MCCB 2P 50／20	誘導灯	100	
		B	100	MCCB 2P 50／20	火報受信機	200	
		C	100	MCCB 2P 50／20	非常放送	100	
		D	100	MCCB 2P 50／20	トイレ表示・インタホン	100	結線１
			100	MCCB 3P 50／30	厨房分電盤	5000	
		G1	AC-GC 100	MCCB 2P 50／20	電 灯 発電機回路切替	1390	結線２
		G2	AC-GC 100	MCCB 2P 50／20	電 灯 発電機回路切替	1330	結線２
		1	100	MCCB 2P 50／20	電 灯	800	
		2	100	MCCB 2P 50／20	電 灯	1230	
		3	100	MCCB 2P 50／20	電 灯	870	
		4	100	MCCB 2P 50／20	電 灯	1140	
		5	100	MCCB 2P 50／20	電 灯	920	
AC 1φ3W 210／105V	ELCB 3P225／200	6	200	ELCB 2P 50／20	電 灯	1800	
		7	100	ELCB 2P 50／20	電 灯	951	
		8	100	MCCB 2P 50／20	ロスナイ	710	
		9	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	200	
		10	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	1000	
		11	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	1000	
		12	100	MCCB 2P 50／20	警報盤	200	
		13	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	100	
		14	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	1000	
		15	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	200	
		16	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	600	
		17	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	500	
		18	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	500	
		19	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	400	
		20	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	1000	
		21	100	ELCB 2P 50／20	ＥＰＨ	1500	
		22	100	ELCB 2P 50／20	コンセント	1000	
		23	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	500	
		24	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	500	
		25	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	300	
		26	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	400	
		27	100	MCCB 2P 50／20	コンセント	400	
		28	100	ELCB 2P 50／20	給湯器	500	
		29	200	ELCB 2P 50／20	ＩＨヒーター	1000	
		30	200	ELCB 2P 50／20	ＡＣ	1700	
		31	100	ELCB 2P 50／20	ＡＣ	750	
		32	100	ELCB 2P 50／20	ＡＣ	800	
		33	200	ELCB 2P 50／20	ＥＰＨ	1500	
		34	100	MCCB 2P 50／20	ＦＦ	750	
		35	100	MCCB 2P 50／20	ＦＦ	900	
		36	100	ELCB 2P 50／20	屋外トイレ	940	
		37	100	ELCB 2P 50／20	屋外トイレ	880	
		38	100	ELCB 2P 50／20	自動販売機	1000	
		39	100	ELCB 2P 50／20	電気温水器	1350	
		40	100	ELCB 2P 50／20	自動販売機	1000	
		41	200	ELCB 2P 50／20	ＩＨヒーター	1000	
		42	200	ELCB 2P 50／20	エアコン	1690	
		43	100	MCCB 2P 50／20	予 備		
		44	100	MCCB 2P 50／20	予 備		
		45	100	MCCB 2P 50／20	予 備		
		46	100	MCCB 2P 50／20	予 備		
		47	100	MCCB 2P 50／20	予 備		
		48	100	MCCB 2P 50／20	予 備		
	合計 38．4kVA						

結線１
- インタホン・トイレ表示器電源
- 外部トイレフリッカーランプへ
- トイレ表示器・外部トイレ窓発報信号

結線２
手動式ＤＴ
- 回路切り替えコンセントへ
- 発電機接続コンセントより

盤名称（盤形式）幹線番号 幹線サイズ	電気方式 主幹（結線）合計容量	負荷記号	負荷名称	負荷容量（kW）	結線記号 主回路	制御回路	連動又はインターロック	操作	遠方SW 表示 状態	故障	警報	計測	監視	備考
P－1														
			空調機	3．08kW	ELCB3P50／30									
			空調機	3．08kW	ELCB3P50／30									
	WL F		空調機	2．60kW	ELCB3P50／30									
			空調機	2．58kW	ELCB3P50／30									
AC 3φ3W210V	MCCB 3P225／125		空調機	2．40kW	ELCB3P50／30									
			空調機	2．30kW	ELCB3P50／30									
			空調機	2．30kW	ELCB3P50／30									
	合計 18．34kW													



警報盤 Ｋ－２

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷國雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.	設計名称 平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 盤リスト / 縮尺	図面番号 E－03 枚ノ内 / 設計番号

配　置　図　S＝1／200

隣地
隣地境界線
道路境界線
6KV-CVT60SQ(FEP80)
キュービクル
引込柱ＣＰ１２m
装柱機器は受変電設備図面参照の事
H1-R2K-60
増築建物 (33.54㎡)
既存建物 (91.50㎡)
動力盤
EXP.J
改修建物 (608.02㎡)
スロープ(1/12)
スロープ１／８
ブランコ
うんてい
将来計画建物
砂場
ハントボウ
EW-AE1.2-2C(FEP30)　トイレ表示
EW-CE2.0-3C(FEP30)　同ランプ用
EW-CE3.5-3C(FEP30)*2
WP 150*150*150
150*150*150
① スイッチ回路
既存Ｈ．Ｈ
すべり台移設
身体障害者駐車場
EW-CE3.5-3C(FEP30)*2
EW-AE1.2-2C(FEP30)
EW-CE2.0-3C(FEP30)
EW-CE3.5-3C(FEP30)
フェンス改修
増築建物
外部トイレ (14.90㎡)
駐車スペース
畑
石碑
薬草園
側溝改修
合併処理浄化槽
自転車置場
倉庫 W造1階 (20.72㎡)
倉庫2 S造1階 (9.6㎡)
道路
(+5650) (+1680) (+1500) (+6050) (+1600) (+1450) (+1030) (+1090) (+1290) (+850) (+1350) (+1310) (+4450) (+860) (+390) (+360) (+320) (+320) (+945) (+465) (+380) (+380) (+120) (±0) (±0) (±0) (+455) (+650) (+430) (+450) (+570) (+380) (+350) (+400) (+2450) (-1330) (-1205) (-1150) (-1100) (-1415) (-1430) (-1430) (-1460) (-1850) (-2550) (-1430) (-1430) (-910) (-1040) (-1070) (-1450) (-1500) (-650) (-600) (-1750) (-3050) (-4020) (-4550) (-4650) (-4550)
2,082.7　7,640.6　5,039.1　4,540.4　5,927.1　14,638.7　28,163.5　5,915.6

パトライト（屋内・屋外用）(AC100V)

マウントラバー取付けのこと

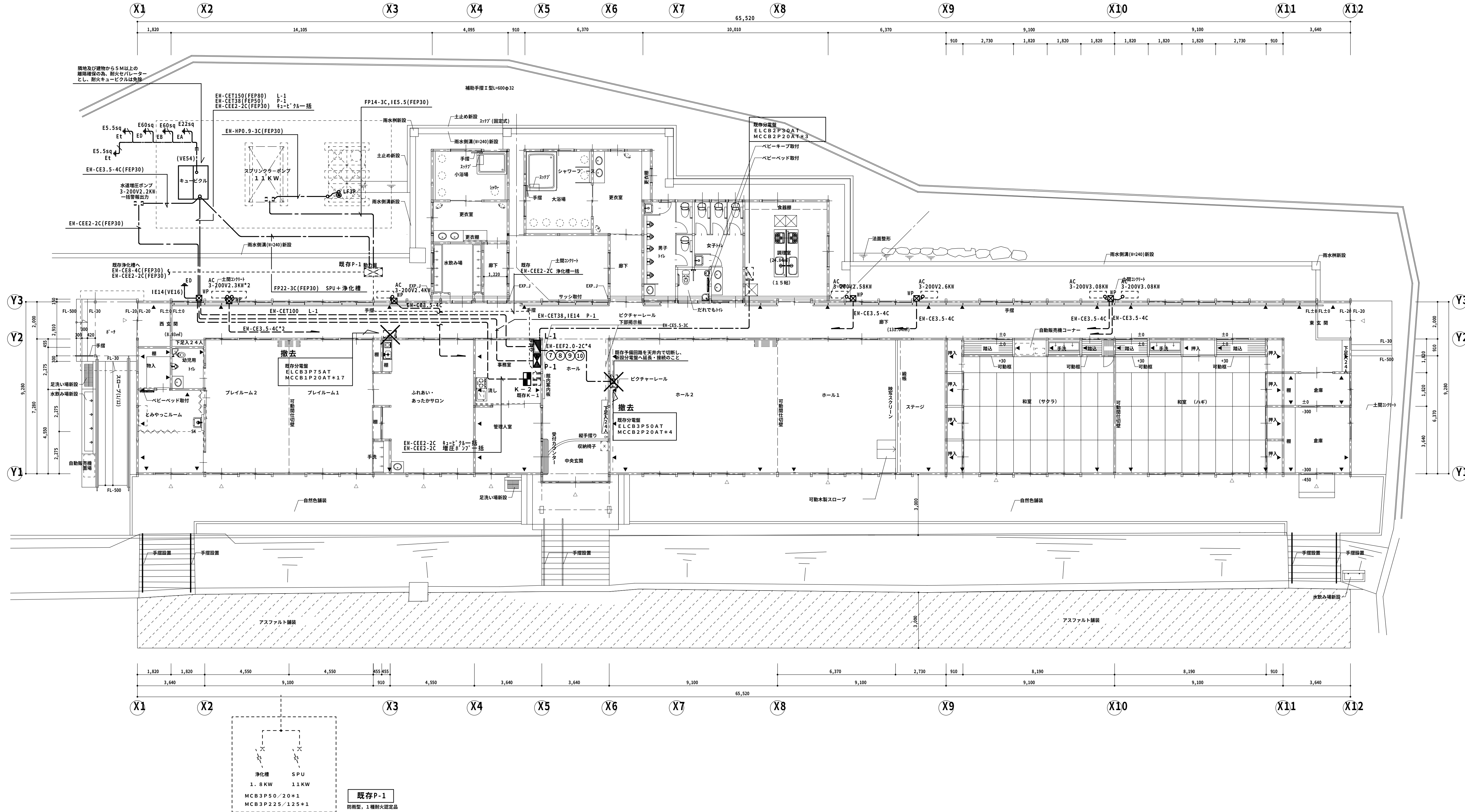
赤色

定格	電圧　AC100V 50/60Hz
ランプ	ＡＣ１２Ｖ1W

パトライト
AC100V
（ﾊﾟﾄﾗｲﾄRS-100相当品）
EW-AE1.2-3C(PF16)
人感センサー2 壁式 松下WTK1811W
人感センサー1 天井型 松下WTK4481K
ポーチ
女子トイレ
だれでもトイレ
男子トイレ
N1*3
H*3
X1 X2 X3 X4 Y1 Y2
IE2.0*2(PF16)
IE2.0*3(PF16)

屋外トイレ平面詳細図　S＝1/100

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN-ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録 第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.	設計名称 平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 配置図 / 縮尺 Ｓ＝1：200	図面番号 E－04 枚ノ内 / 設計番号



特記事項			
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN-ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷國雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.	設計名称 平成22年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事
図面内容	(改修後) 動力・幹線設備平面図	図面番号	E— 05 枚ノ内
縮尺	S＝1：100	設計番号	

A　K1－IRS4－JE13　非常照明バッテリー内蔵

参考型番
松下電工ＬＢ９１６３０（１３W）
ハロゲン１３W＊１

ＪＥ１３W×１

器具取付高さ		２．１m	２．４m	２．６m	３．０m	４．０m	５．０m	６．０m	７．０m
単体配置	Ａ１	４．０m	４．６m	４．６m	４．７m	０．２m	０．１m	－	－
直線配置	Ａ２	８．６m	９．６m	１０．２m	１１．２m	７．３m	－	－	－
四角配置	Ａ４	６．９m	７．６m	８．０m	８．９m	－	－	－	－

B　ＳＨ１－ＦＢＦ２０－Ｃ

誘導灯，ＢＴ内蔵

パネルは所轄消防と協議のこと

C　ＳＴ１－ＦＳＦ２１－ＢＬ
D　ＳＴ１－ＦＢＦ２２－ＢＬ

誘導灯，ＢＴ内蔵
C：冷陰極蛍光灯Ｂ級　通路両面吊下
D：冷陰極蛍光灯Ｂ級　通路片面吊下

パネルは所轄消防と協議のこと

E　ＦＢＦ７ＭＰ－３２１－ＰＮ９

F　ＦＨＴ４２W×１　ダウンライト

防雨型
Wフリータイプ
反射板：プラスチック（高反射ホワイト）
枠：ステンレス（クールホワイトつや消し仕上）
パネル：熱処理ガラス（透明）
埋込穴Φ１５０　埋込高Ｈ＝１０８

G　ＦＲＳ２１Ａ－Ｈ３２１

H　ＥＦＤ２５W×１　ブラケット

防雨型
本体：アルミダイカスト（オフブラック）
グローブ：ガラス（乳白つや消し）
W＝２３０　Ｈ＝２３０　出しろ２６８

パナソニック電工　ＹＦ３１５３３　相当品

I　ＨＳＡ８－１５０ＣＭ　２００Ｖ

本体：アルミダイカスト（ミディアムグレーメタリック）
下面パネル：硬質ガラス（乳白）

J　Ｍ２５０W×１　２００Ｖ

スパイク式

防雨型
中角タイプ
本体：アルミダイカスト（オフブラック）
反射鏡：アルミ（鏡面仕上）
前面：強化ガラス

パナソニック電工　ＮＣ６２０８１ＢＫ　相当品

K　ＦＲＳ２１－Ｈ２４１

L1　ＦＳＳ９－３２１－ＰＨ
L2　ＦＳＳ９－３２２－ＰＨ
L3　ＦＳＳ９ＭＰ－３２２－ＰＨ

M　ＦＲＳ１５Ｆ１－３２２－ＰＨ

高効率乳白パネル・フラット型

N1　ＦＢＦ７－３２１－ＰＨ
N2　ＦＢＦ７ＭＰ－３２１－ＰＨ

カバー：アクリル（乳白）

O　ＦＲＳ１５－３２２－ＰＨ

P　ＦＨＦ３２W×２　シーリングライト

ボルトフリー（１００～２４２Ｖ）
ランプフリー（ＦＨＦ３２／ＦＬＲ４０／ＦＬ４０）
枠：木製（白木）
反射板（ホワイト）
パネル：アクリル（乳白）

パナソニック電工　ＮＳＦ４２５１２　相当品

Q　ＦＲＳ２１－Ｈ１６１

呼出表示器　３窓用（壁掛型）

１窓から外部接点を取り出し、分電盤内マグネットへ出力する

トイレ呼出
電源
警報音停止
復旧
250
380
60

形　　状	壁掛形
材　　質	鋼板製メラミン焼付塗装
呼出表示灯	LED（赤）
呼出音	警報ブザー
操作スイッチ	警報音停止、復帰釦
電　　源	AC100V　50／60Hz

代表廊下灯

120
70
24.5

形　　状	壁埋込形
材　　質	樹脂製
	表示灯カバー：ポリカーボネート
表示灯	LED（赤），DC8V

復旧ボタン

RESET
復旧
120
70
7

形　　状	壁埋込形
プレート	樹脂製
復旧スイッチ	ノンロック式

トイレ呼出押ボタン（引きひも付）

70
11.5
呼出
CALL
PUSH
120
180
33
Φ21

形　　状	壁埋込形
プレート	抗菌ABS樹脂プレート
確認灯	LED（赤）
押ボタン	ノンロック式
握　　り	マンダリンオレンジ色
備　　考	JIS保護等級4級（C-0920）

特記事項

一級建築士事務所
日新設計
NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.Ltd.
一級建築士事務所
日　新　設　計　株　式　会　社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図
日付　H22.

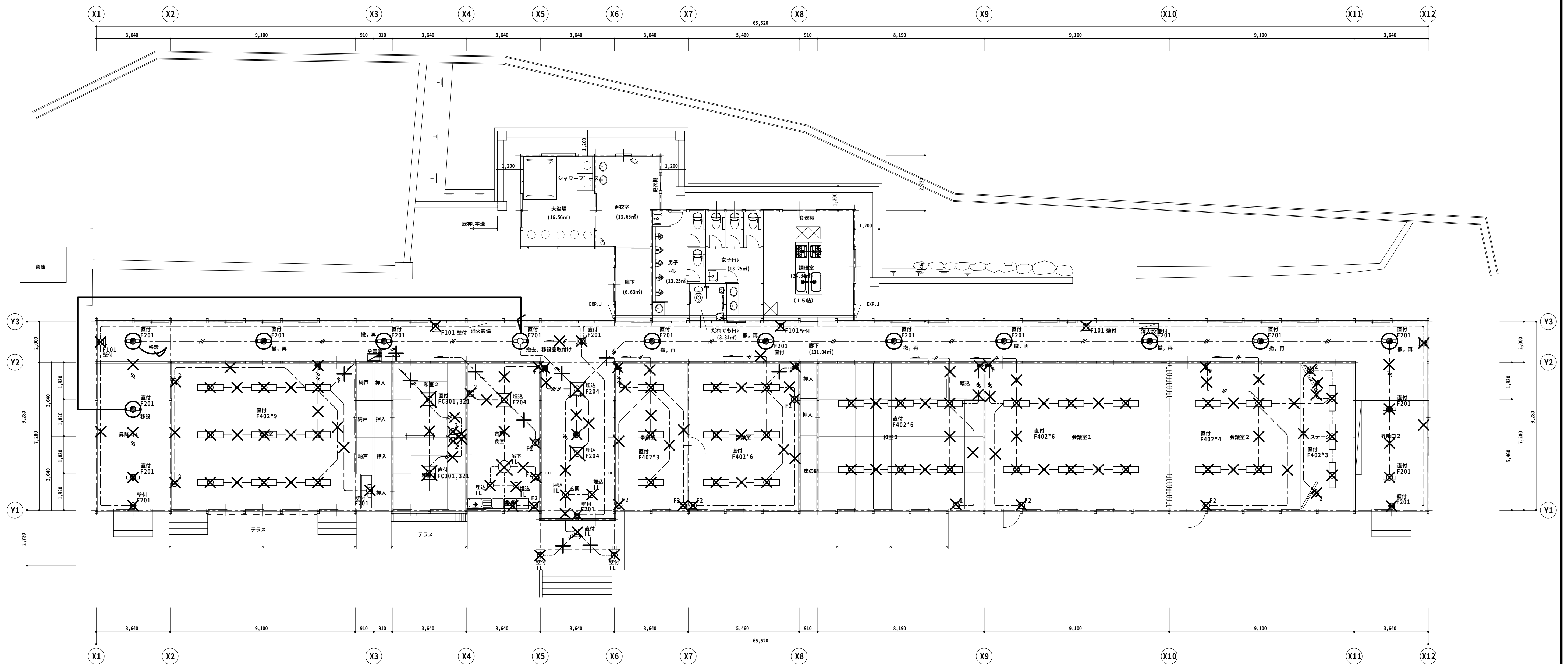
設計名称　平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容　照明器具姿図・トイレ表示設備姿図

縮尺

図面番号　E－06　枚ノ内

設計番号



F2：ＶＶＦ用露出コンセント　２ヶ口

F：ＶＶＦ用露出スイッチ　２ヶ

×	：撤去
○ 撤，再	：撤去再取付

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.	設計名称 平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 （改修前）電灯設備撤去平面図 / 縮尺 Ｓ＝１：100 / 図面番号 E— 07 枚ノ内 / 設計番号

A	K1−IRS4−JE13

参考型番
松下電工ＬＢ９１６３０（１３W）
ハロゲン１３W＊１

非常照明バッテリー内臓　　図中ｼﾝﾎﾞﾙ ●

ＪＥ１３W×１

器具取付高さ		2．1m	2．4m	2．6m	3．0m	4．0m	5．0m	6．0m	7．0m
単体配置	A１	4．0m	4．6m	4．6m	4．7m	0．2m	0．1m	−	−
直線配置	A２	8．6m	9．6m	10．2m	11．2m	7．3m	−	−	−
四角配置	A４	6．9m	7．6m	8．0m	8．9m	−	−	−	−

※非常用照明の円は床面照度１ルクスを満たすために必要な
器具取付けピッチの上限であり、カバーエリアでは無い。
従って、四隅が円に入っていなくても器具ピッチ側で
円が重なっていれば照度は確保されている。
（松下電工資料による）

非常用照明設置基準

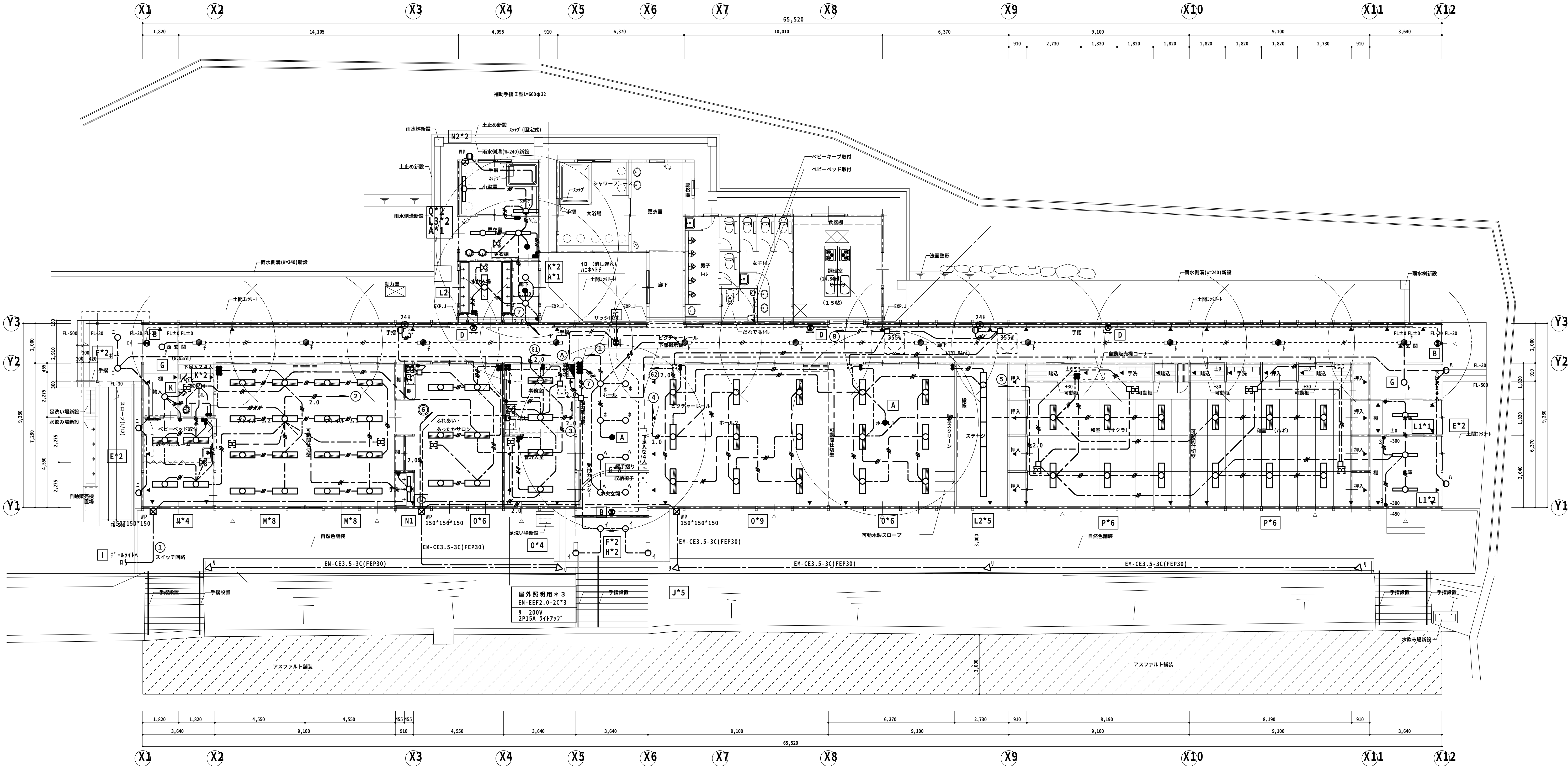
対象となる建物
１．床面積５００m２以上
２．３階建て以上
３．入院施設を伴うもの
４．採光がとれない居室

平成１２年建設省告示第１４１１号による適用除外の居室等より
１．避難階の小部屋で避難口まで歩行距離３０M以内は除外される
２．廊下部分は避難経路となるので設置を必要とする
３．避難階の直上階・直下階は３０Mが２０M以内となる
４．階段を通って非難階に出る時は、階段を起点として２０M
以内とする

B	ＳＨ１−ＦＢＦ２０−Ｃ	C	ＳＴ１−ＦＳＦ２１−ＢＬ
		D	ＳＴ１−ＦＢＦ２２−ＢＬ

誘導灯，ＢＴ内蔵
パネルは所轄消防と協議のこと

誘導灯，ＢＴ内蔵
C：冷陰極蛍光灯Ｂ級　通路両面吊下
D：冷陰極蛍光灯Ｂ級　通路片面吊下
パネルは所轄消防と協議のこと



:AC−GC回路	

- EM-EEF1.6-2C 天井内ころがし
- EM-EEF1.6-3C 天井内ころがし
- EM-EEF1.6-2C*2 天井内ころがし
- EM-EEF1.6-2C+3C 天井内ころがし
- EM-EEF2.0-2C 天井内ころがし
- EM-EEF2.0-3C 天井内ころがし

--------：既設を表わす

特記事項

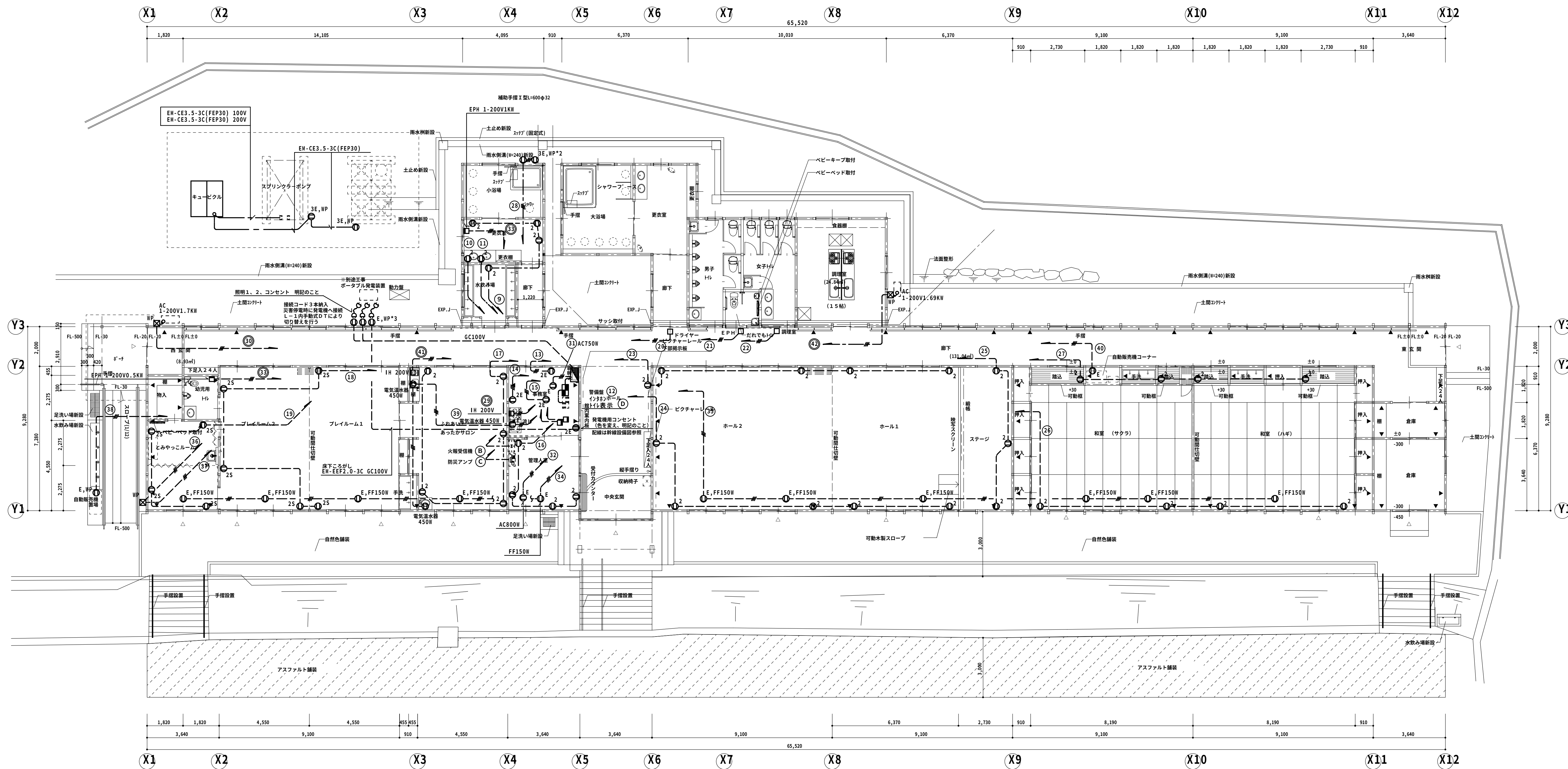
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録　第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
Tel 022-245-2333

検図
製図
日付　H22.

設計名称
平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容　（改修後）　平面図
縮尺　S＝1：100
図面番号　E−08
枚ノ内
設計番号



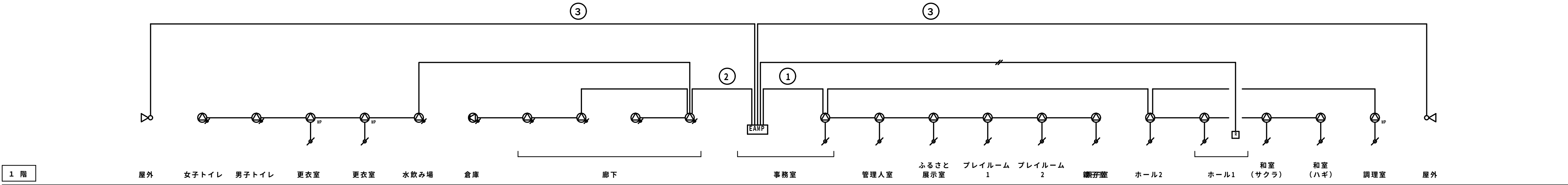
※別途工事
ポータブル発電装置

ヤンマーYDG500VS-5E相当品
空冷ディーゼル発電機　超低騒音型
自励式回転界磁形
定格出力１００Ｖ４ＫＶＡ４０Ａ
アース付コンセント１５Ａ＊３
使用燃料ディーゼル経由
タンク１６Ｌ
外形910*527*740，乾燥重量176kg

2S 埋込コンセント
2P15A　扉付　2ケ用

EM-EEF2.0-2C 天井内ころがし
EM-EEF2.0-3C 天井内ころがし
EM-EEF2.0-2C 床下ころがし
EM-EEF2.0-3C 床下ころがし

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.	設計名称 平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 （改修後）コンセント設備平面図 / 縮尺 S＝1：100	図面番号 E― 09 枚ノ内 / 設計番号



放送設備系統図

放送設備系統表

系統NO	階別	部屋名
①	1 階	居室系
②		廊下系
③		屋外
④		予備
⑤		予備

放送設備凡例表

記号	名称
EAMP	壁掛型非常業務放送装置
	天井埋込型スピーカー
	天井埋込型スピーカー（ATT付）
WP	天井埋込型スピーカー（防滴型）
	壁掛型スピーカー（ATT付）
	ホーンスピーカー
	アッテネーター
R	電源遮断ユニット

1.特記なき配管配線は以下による。
- HP1.2-3C（PF16）
- HP1.2-2C（PF16）（//）

EAMP 壁掛型非常業務放送装置

450　6　129　622

定格出力	80 W（D級増幅方式）
出力制御	10回線及び一斉
非常放送	音声警報式、一斉火災放送移行機能付
ブロック放送	最大5ブロック（緊急優先ブロック、業務ブロック、BGMブロック）
自火報連動	連動、連動一斉
音声警報メッセージ	日本語・英語131種類
業務放送メッセージ	12種類
業務放送優先順位	6段階
操作スイッチ	非常起動、火災放送、非火災放送、緊急優先一斉、一斉
表　示	火災、発報放送、火災放送、非火災放送、出火階、ブロック作動
	連動、連動一斉、発報連動停止、放送中、メッセージ再生
液晶表示	16文字　×2行（放送内容表示、起動元表示）
状態出力	10回路10種類
音声入力	アナウンスマイク、マイク1、マイク2、ライン、
	ユニットケース、報時チャイム
	電話ページング、アナウンスユニット、非常リモコン、
	マルチ業務リモコン、業務リモコン、BGM
モニタースピーカー	出力 0.45 W（音量調節器、ハウリング防止機能付）
電　源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz、DC 24 V

天井埋込型スピーカー / 天井埋込型スピーカー（ATT付）

230　22　110　174

L級

スピーカーユニット	16 cmコーン型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	93 dB/W（1 m）
周波数特性	80 Hz～14 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
パネル	アルミパンチング
アッテネーター	4段階（大/中/小/切）

R 電源遮断ユニット

116　38　120

電力容量	最大800 W
電流容量	最大10 A（ACアウトレット1個）
制御方式	DC24 V「断」信号によりAC100 Vを「断」
	制御（両切り）
制御電流	DC24 V、約2 mA
電　源	AC100 V
質　量	400 g（プレート含まず）

WP 天井埋込型スピーカー（防滴型）

60　Φ180

L級

スピーカーユニット	9 cm防滴型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	90 dB/W（1 m）
周波数特性	150 Hz～18 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
質　量	700 g

壁掛型スピーカー（ATT付）

290　135　214

L級

スピーカーユニット	16 cmコーン型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W（1 m）
周波数特性	120 Hz～13 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
アッテネーター	4段階（大/中/小/切）

レフレックスホーンスピーカー

Φ400　376

L級

定格入力	15 W
出力音圧レベル	110 dB/W（1 m）
周波数特性	250 Hz～7 kHz
入力インピーダンス	670 Ω（15 W）、1 kΩ（10 W）、
	2 kΩ（5 W）、3.3 KΩ（3 W）
防塵・防水性能	IP65準拠
質　量	3.2 kg

アッテネーター

70　45　120　音量調節器

入力容量	6 W（0.5 W～6 W適合）
入力インピーダンス	1.7 kΩ～20 kΩ
音量調節	OFF、-18 dB、-12 dB、-6 dB、0 dB

特記事項

一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第63601号　管理建築士　京谷国雄　仙台市太白区山田字大石42番4　TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.	設計名称　平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事
図面内容	放送設備　系統図	図面番号	E－10　枚ノ内
縮尺		設計番号	

ホール音響設備　システムブロック図

※別途工事

ワイヤレスアンテナ
（ワゴンに取付）
ワゴンアンプ
ワイヤレス
チューナー
（2波受信）
MD-CD
デッキ
ダブル
カセットデッキ
デジタルミキサー
4chパワーアンプ
ワゴン接続
プレート
メイン
スピーカー
サブ
スピーカー
外部入力
パネル
L/R
※別途工事
液晶プロジェクター
カラオケ
装置
（別途）
スクリーン
（別途）
各機器へ
主電源ユニット
R
AC100V
EMG24V

ワゴンアンプ

※別途工事

535
560
970

No.	機　器　名　称
1	デジタルミキサー
2	MD-CDデッキ
3	ダブルカセットデッキ
4	ワイヤレスアンテナ
5	ワイヤレスチューナー
6	外部入力パネル
7	4chパワーアンプ
8	主電源ユニット
9	引出しユニット
W	機器収納ワゴン
V	ベンチレートパネル

デジタルミキサー	
入　　力	モノラル×6、ステレオ（L／R）×4、サブ×2
出　　力	ステレオ（L／R）×2、モノラル×2、
	REC OUT（L／R）×1
機　　能	モノラル・ステレオ・OUTイコライザー、
	ハウリング抑制回路、デジタルディレイ内蔵
MD-CDデッキ	
CDプレーヤー	CD-TEXT、MP3再生対応、タイム・サーチ機能、
	±16%ピッチ・コントロール再生（CD-DAのみ）
MDレコーダー	SP（ステレオ）/MONO/LP2/LP4対応
	グループ再生モード、タイム・サーチ機能、
	±12.5%ピッチ・コントロール再生
外部制御	RS-232C、PS/2キーボード
ダブルカセットデッキ	
ヘッド	デッキA：再生、デッキB：消去、録音／再生
周波数特性	30 Hz～16 kHz（メタルテープ）
その他	ピッチコントロール機能付
ワイヤレスチューナー	
受信方式	ダイバシティ・ダブルスーパーヘテロダイン
受信周波数	800 MHz帯の30波より選択、2波
入　　力	アンテナ（α・β各2）、混合（-10 dBs不平衡）
出　　力	チューナー×2、混合（-10/-50 dBs切換、不平衡）
外部入力パネル	
コネクター	RCAピンx2
4chパワーアンプ	
定格出力	65 W x4（8 Ω）、100 W x4（4 Ω）
周波数特性	20 Hz～20 kHz±0.5 dB
S／N	100 dB以上（入力短絡、IHF-A WTD）
引出しユニット	
収納合計質量	5 kg以下
主電源ユニット	
AC100 V入力	20 Aサーキットブレーカー
その他	外部起動端子、連結起動端子、自動遅延回路付
引出しユニット	
収納合計質量	5 kg以下
ワゴン	キャスター、鍵付強化ガラス扉（270°開閉可）
材　　質	木製（EIAマウントタイプ）

移動式ビデオプロジェクター

※別途工事

520　418　530　319　700～900

電　　　源	ＡＣ１００ Ｖ　５０／６０ Ｈｚ
表　示　方　式	３原色液晶シャッター投写方式
レ　ン　ズ	手動ズーム、Ｆ１．７～１．９
	ｆ＝２４～２９ ｍｍ
光　出　力	５０００ ＡＮＳＩルーメン
解　像　度	水平１０２４×垂直７６８
ビ デ オ 入 力	コンポーネント×１、Ｓ映像×１、
	コンポジット×１
Ｒ Ｇ Ｂ 入 力	デジタル×１、アナログ×１
出　　　力	アナログＲＧＢ×１
コントロール信号端子	ＲＳ－２３２Ｃ
プロジェクター置台	
仕　　　上	本体：鋼板、天板：合板
そ　の　他	３口コンセント　スライド式サイドトレー付

120型電動スクリーン

3064　118　50　1494　100　2657　100

電　　　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０ＨＺ
出　　　力	１００Ｗ
スクリーンサイズ	１２０インチ（１６：９）
スクリーン生地	グラスパウダー　ファイバーグラス
ケースカラー	ブラック
形　　　式	モータードライブタイプ

ワゴン接続プレート

116　120

コネクター	XLR-4-32F77　x4
プレート	新金属

メインスピーカー

470　306　286

スピーカーユニット	高音用：定指向性ホーン型
	低音用：25 cmコーン型
定格入力	130 W（RMS）
出力音圧レベル	94 dB/W（1m）
周波数特性	65 Hz～20 kHz
指向角度	水平：70°、垂直：70°
その他	天井吊下金具付

サブスピーカー

420　270　245

スピーカーユニット	高音用：定指向性ホーン型
	低音用：20 cmコーン型
定格／最大入力	130W（RMS）／260W（連続プログラム）
出力音圧レベル	93 dB/W（1m）
周波数特性	65 Hz～20 kHz
指向角度	水平：70°、垂直：70°
その他	天井吊下金具付

ワイヤレスマイクロホン（ハンド型）

※別途工事

x2本

φ57　235

送信周波数	800 MHz帯の30波から1波選択
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
空中線電力	5 mW/2 mW切替
マイクユニット	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
アンテナ	本体内蔵式
電　　源	単3乾電池または専用充電式電池
質　　量	約155 g（電池含まず）

チャージャー

※別途工事

x1台

185　103　115

充電方式	有接点式、約5時間
電　　源	AC100 V、7.5 VA
質　　量	1.2 kg

床上型マイクスタンド

※別途工事

970～1,560　300

マイク取付高さ	最高1,560 mm～最低970 mm
マイク取付ネジ	3/8-16UNC
付属変換ネジ	5/16-18UNC、5/8-27UNS
ロック方式	スリーブロック方式
質　　量	2.6 kg

卓上型マイクスタンド

※別途工事

231～380　φ150

マイク取付高さ	最高380 mm～最低231 mm
マイク取付ネジ	3/8-16UNC
付属変換ネジ	5/16-18UNC、5/8-27UNS
ロック方式	スリーブロック方式
質　　量	1.1 kg

特記事項

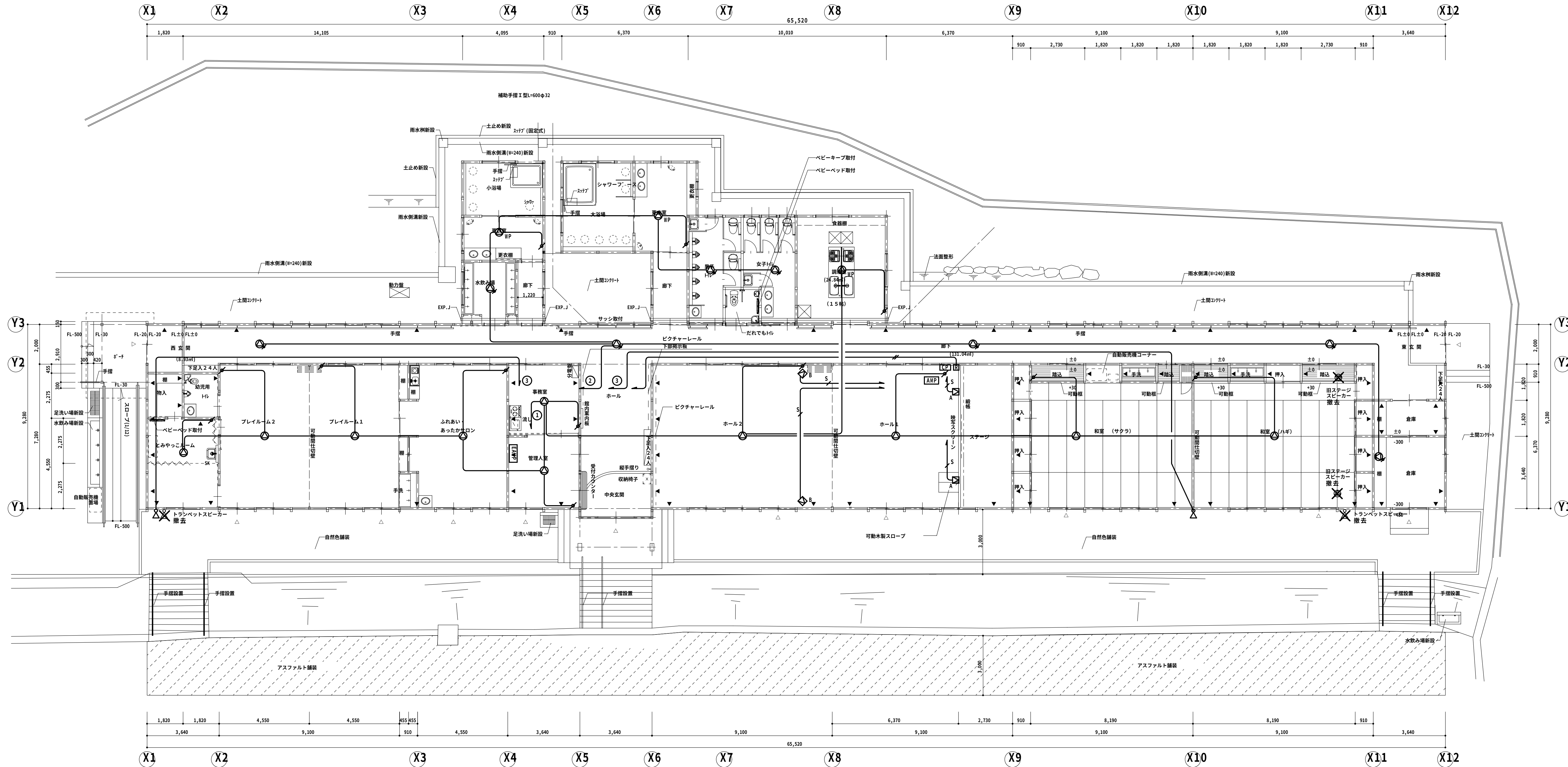
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図
日付　H22.

設計名称
平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容　ホール音響設備　機器姿図
縮尺

図面番号　E— 11
枚ノ内
設計番号



ローカル音響設備凡例表

記　号	名　　称
AMP	ワゴンアンプ
CP	ワゴン接続プレート
◁A	メインスピーカー
◁B	サブスピーカー

1.特記なき配管配線は以下による。
—S/— 4S6 (PF16)

放送設備系統表

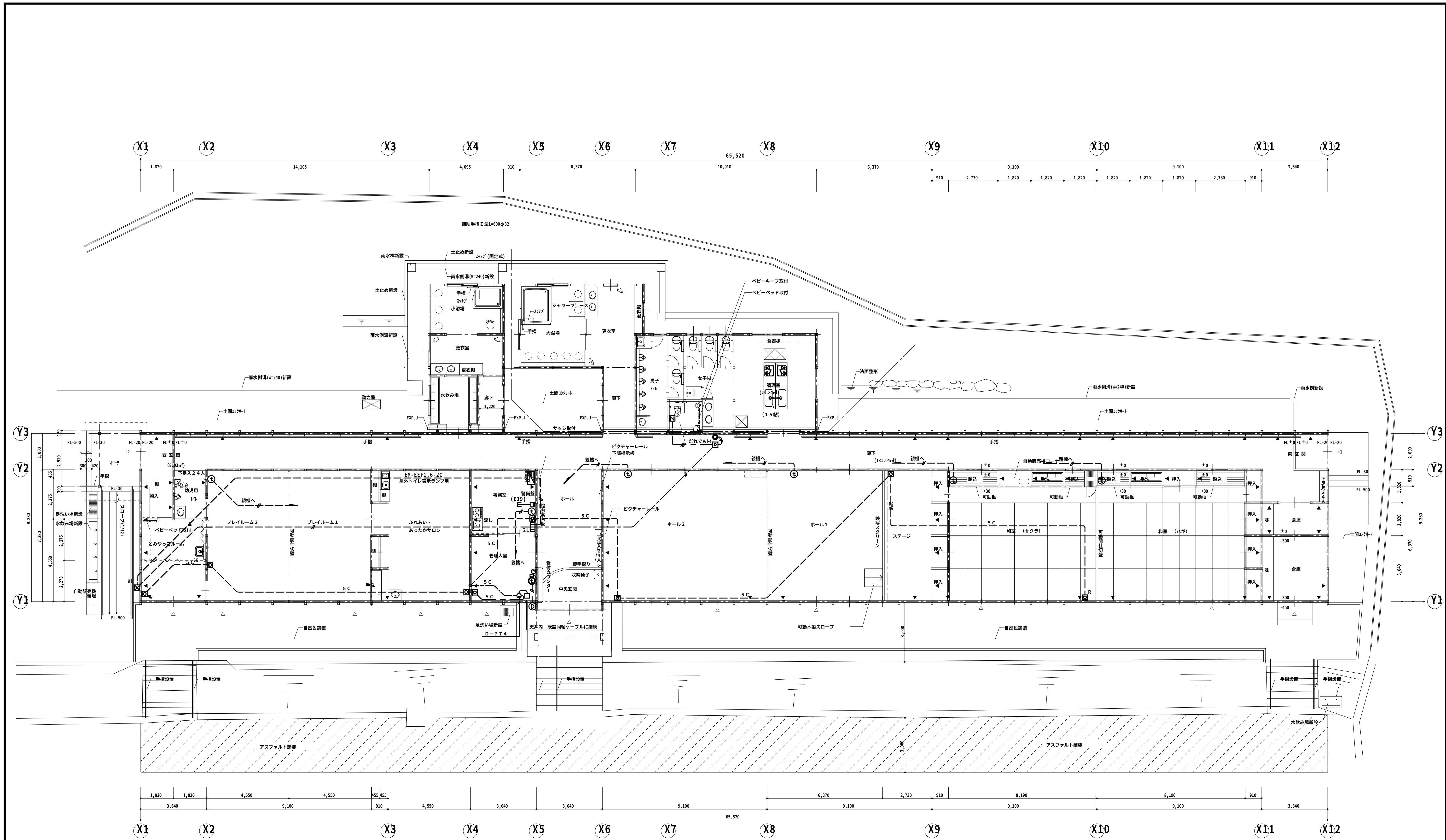
系統NO	階　別	部　屋　名
①	1 階	居室系
②		廊下系
③		屋外
④		予備
⑤		予備

放送設備凡例表

記　号	名　　称
EAMP	壁掛型非常業務放送装置
	天井埋込型スピーカー
	天井埋込型スピーカー (ATT付)
WP	天井埋込型スピーカー (防滴型)
	壁掛型スピーカー (ATT付)
	ホーンスピーカー
	アッテネーター
R	電源遮断ユニット

1.特記なき配管配線は以下による。
—— EM-HP1.2-3C (PF16)
—//— EM-HP1.2-2C (PF16)

特記事項				
一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.	設計名称 平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 (改修後) 放送設備平面図 / 縮尺 S＝1：100 / 図面番号 E— 12 枚ノ内 / 設計番号



5C 天井内ころがし　5C 床下ころがし　EM-5C-FB

記号	名称
ⓣ（黒）	複合式インターホン１０局用親機
ⓣ	複合式インターホン１０局用子機
Ⓓ	ドアホン
◙	直列ユニット　R：末端

トイレ呼出，インタホン設備

- EM−AE0．9㎜−2C（天井内）
- EM−AE0．9㎜−3C（天井内）

特記事項

一級建築士事務所
日　新　設　計　株　式　会　社
NISSIN·ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	
日付	H22.

設計名称
平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容	（改修後）弱電設備平面図	図面番号	E— 13　枚ノ内
縮尺	S＝1：100	設計番号	

凡例		
記号	名称	備考
	受信機	P－2－5L
	総合盤	Ⓟ◐Ⓑ組込　埋込型
Ⓟ	発信機	P型2級
◐	表示灯	AC24V
Ⓑ	電鈴	DC24V　150mm／mm
	差動式スポット型感知器	2種
	定温式スポット型感知器	1種　防水型
	定温式スポット型感知器	特種
	定温式スポット型感知器	特種　防水型
S	光電式スポット型感知器	2種

天井裏

HP0.9－5P　HP0.9－5P

AC100V　AC100V

1F

自動火災報知設備　系統図

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12

3,640　9,100　910　910　3,640　3,640　3,640　3,640　5,460　910　8,190　9,100　9,100　3,640

65,520

Y1 Y2 Y3

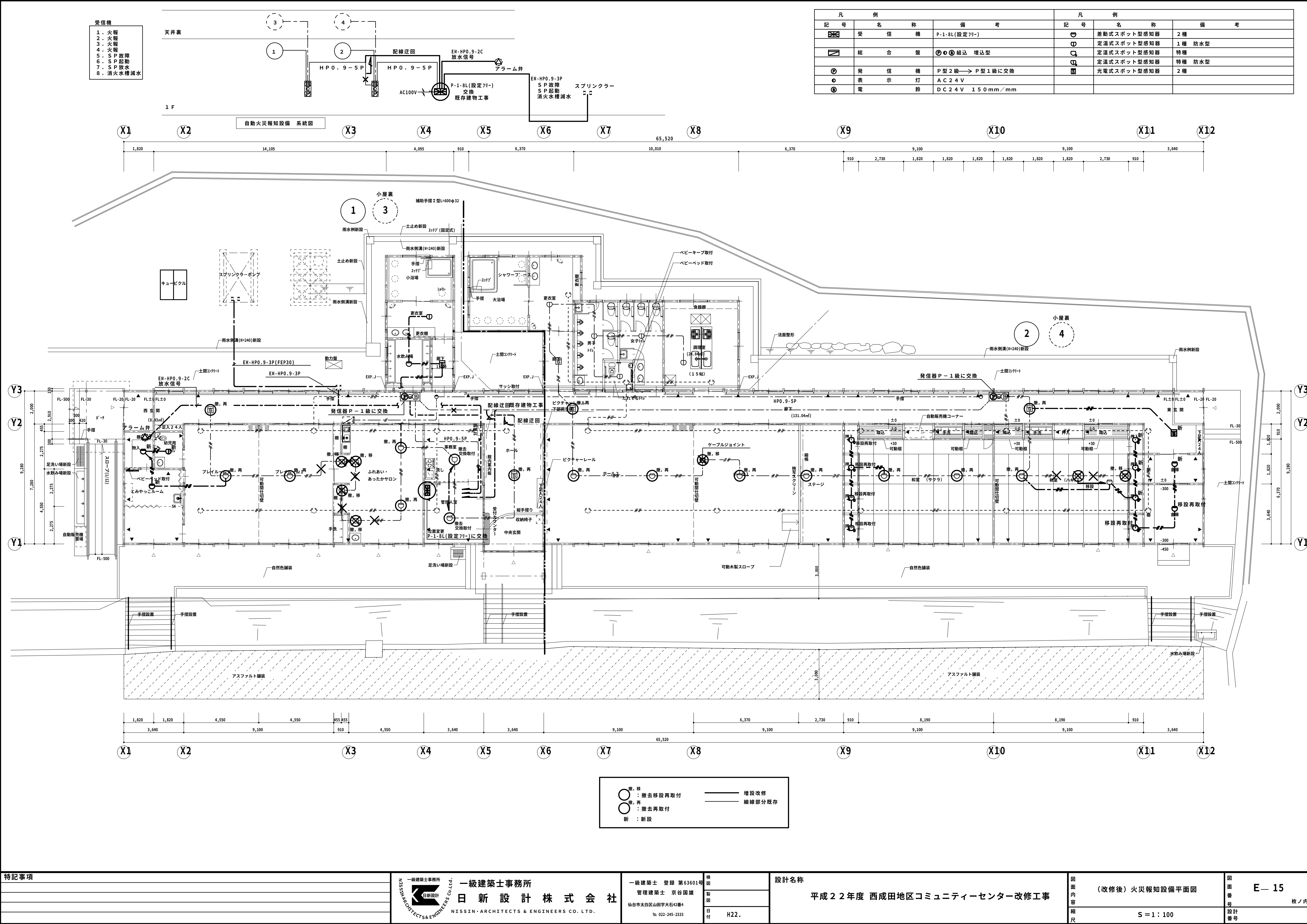
小屋裏

倉庫　既存U字溝　シャワー　大浴場 (16.56㎡)　更衣室　男子トイレ　女子トイレ (13.25㎡)　食器棚　調理室 (15帖)　EXP.J

昇降口1　子供室　納戸　押入　和室2　和室1　台所食堂　ホール　玄関　ポーチ　事務室　談話室　和室3　会議室1　会議室2　ステージ　昇降口2　廊下 (131.04㎡)　テラス

HP0.9－5P　P－2－5L　分電盤　消火栓箱

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録 第63601号 管理建築士　京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.	設計名称 平成２２年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 (改修前) 火災報知設備平面図 / 縮尺 S＝1：100	図面番号 E－14 枚ノ内 / 設計番号



凡例		
記号	名称	備考
(受信機記号)	受信機	P-1-8L(設定ﾌﾘｰ)
(総合盤記号)	総合盤	Ⓟ◐Ⓑ組込　埋込型
Ⓟ	発信機	P型2級──＞P型1級に交換
◐	表示灯	AC24V
Ⓑ	電鈴	DC24V　150mm／mm

凡例		
記号	名称	備考
(記号)	差動式スポット型感知器	2種
(記号)	定温式スポット型感知器	1種　防水型
(記号)	定温式スポット型感知器	特種
(記号)	定温式スポット型感知器	特種　防水型
S	光電式スポット型感知器	2種

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	
日付	H22.

設計名称　平成22年度 西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容　（改修後）火災報知設備平面図

縮尺　S＝1：100

図面番号　E— 15　枚ノ内

設計番号

機 械 設 備 改 修 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ. 工 事 概 要

1. 工 事 名 称　平成２２年度　西成田地区コミュニティセンター改修工事
2. 工 事 場 所　宮城県　黒川郡　富谷町　西成田　字　郷田一番２９
3. 建 物 概 要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
既存棟	木造	1	609.68		(一) ロ　集会場	

4. 工事種目（・印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建設別及び屋外	屋内							屋外
⊙ 空気調和設備	○							
・ 冷房設備								
・ 暖房設備								
⊙ 換気設備	○							
・ 排煙設備								
・ 自動制御設備								
⊙ 衛生器具設備	○							
⊙ 給水設備								○
⊙ 排水設備	○							○
⊙ 給湯設備	○							
⊙ 消火設備	○							○
・ 厨房機器設備								
⊙ ガス設備	○							○
・ し尿浄化槽設備								
・ 昇降機設備								
・ 撤去工事	○							

5. 指定部分　※ なし　・ あり（工期：平成　年　月　日）
（対象部分：

6. 設備概要　（⊙ 印のついたものは、主要方式を示す）

方式	設備概要	
空気調和方式等	・ 空気調和	・ 全空気方式　・ ファンコイルユニット・ダクト併用方式　⊙ パッケージ方式
	・ 温風暖房	・ 温風暖房機　・ ・ 全空気方式　・ ファンコンベクター・ダクト併用方式 ・ 将来冷房考慮（・ ダクト　・ 配管　・ 機器）　・ 考慮外
	・ 直接暖房	・ 蒸気暖房　・ 温水暖房　・ 電気
自動制御方式	・ 電気式　・ 電子式　・ デジタル式　・ 空気式　・ 中央監視制御	
給水方式	⊙ 水道直結方式　・ 高置タンク方式　・ タンクレスブースター方式　・	
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（⊙ 分流式　・ 合流式） 建物外の汚水及び雑排水（・ 分流式　⊙ 合流式） 放流先　汚水（・ 下水道直放流　⊙ し尿浄化槽） 雑排水（・ 下水道直放流　⊙ し尿浄化槽　・ 側溝　・ 別途桝）	
給湯方式	⊙ 局所式　・ 中央式	
消火設備方式	・ 屋内消火栓（・ 湿式　・ 乾式）　・ 連結送水管　・ 泡消化 ⊙ スプリンクラー（⊙ 湿式　・ 乾式）　・ 連結散水　・ 粉末消化 ・ 二酸化炭素　・ 屋外消火栓	
ガス設備方式	・ 都市ガス　種別（　）　kJ／m3（N）（供給圧力　Pa）　⊙ 液化石油ガス	

Ⅱ. 特記仕様書

1. 一般事項
（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編，平成１９年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）及び国土交通大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編，平成１９年版）」（以下「標準図」という。）による。ただし、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成１９年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。
（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2. 特記事項　（1）項目は番号に ⊙ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は，⊙ 印の付いたものを適用する。　・ 印の付かない場合は，※ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ※ 印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項

一般共通事項

①. 適用基準等
⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）
⊙ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号）
⊙ 宮城県建設工事元請・下請適正化要綱（平成21年4月1日施行）

②. 機材等
※ 本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。
※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。

③. 機材の品質・性能証明
本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督員の承諾を受ける。
また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。

④. 保険
本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督員に提出のこと。

⑤. 雇用
本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。

⑥. 施工計画書および施工図等
工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督員に提出する。
工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督員の承諾を受ける。
また，県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督員に提出する。

⑦. 工事実績情報の登録
※ 適用する（請負額が５００万円以上の場合）　・ 適用しない
受注時及び完了時にあらかじめ監督員の承認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を監督員に提出する（請負額が２，５００万円未満の場合は、受注時のみ）

⑧. 手続
工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。
なお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。

⑨. 事故報告
施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

⑩. 電気保安技術者
※ 適用する　・ 適用しない

⑪. 技能士の適用
本工事に下記の当該職種別技能士（・ １級　・ ２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する）
⊙ 配管（配管工事）　・ 建築板金（ダクト製作及び取付け）　・ 熱絶縁施工（保温工事）
・ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
・ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・ 本工事で設置

⑫. 足場等
枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成１５年４月策定）」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。

⑬. 監督員事務所
※ 設けない　・ 設ける（　号・・・建築工事仕様書）

⑭. 工事用仮設物
構内に作ることが　※ できる　・ できない

⑮. 残土処理
・ 構外搬出　※ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所にたい積
建設発生土を場外へ搬出する場合
1 建設発生土現場管理者（複数可）を選任し、施工計画書に記載し、提出する。
2 ダンプトラック等管理表を、工事着手前に監督員に提出する。
3 建設発生土搬出等管理表を、搬出を行う日毎に作成し、1週間毎の集計表を監督職員に提出する。
4 建設発生土は受入地において、搬出先土量を伝票により管理するとともに、搬出先の土量を確認する。

⑯. 発生材の処理
（1）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・ なし　・ あり（　）
（2）冷媒回収費用は（・ 本工事　・ 別途工事）
冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）」に従って行い、監督員に第一種フロン類回収業者登録通知書の写し，フロン類回収証明書を提出する。ただし、家庭等のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い監督員に、特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券の写しを提出する。
（3）引渡しを要するもの　※ なし　・ あり（　）
（4）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，、場外搬出の上，適切に処分する。
（ア）特別管理産業廃棄物　※ なし　・ あり（　）
（イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設
・コンクリート（　）
・コンクリート及び鉄から成る建設資材（　）
・木材（　）
・アスファルトコンクリート（　）
（ウ）その他発生材の処分を行う施設
・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　）
・ 木くず等の管理型の産業廃棄物（　）
建設リサイクル法
・ 対象工事　落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。
また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。
・ 対象外工事

⑰. 総合調整
※ 本工事において下記の項目の総合調整を行い，報告書を提出する。　・ 別途
総合調整の項目　⊙ 風量調整　・ 水量調整　・ 室内外空気の温湿度測定
・ 室内気流及びじんあいの測定　・ 騒音の測定　⊙ 初期運転状態の記録
⊙ 末端水栓の残留塩素濃度の測定　・ し尿浄化槽放流水質の測定
・ 機器の絶縁抵抗の測定　・ 水圧調整
測定箇所は，監督員の指示による。

⑱. 容量等の表示
(1)機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。
(2)電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。

⑲. 耐震措置
機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。
耐震措置の計算及び施工方法は，次に揚げる事項以外すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課２００５年版監修）による。

設置場所	設計用標準震度 特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

注（1）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（2）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
（1）本工事の施設は（・ 一般の施設　⊙ 特定の施設）とする。
（2）地域係数は1.0とする。
（3）100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。
（4）重要機器類（高置タンク、受水タンクは機器表による。）
（5）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は，十分な強度を有する方法で固定し，水平鉛直方向の地震力に対して，つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。

⑳. 弁等のサイズ
特記されていない弁等のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

㉑. 電線類
本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。
（ＥＭ－ＣＥＥＳ，ＥＭ－ＵＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）

22. 溶接部の非破壊検査
対象配管系統　・ 冷温水　・ 冷却水　・ 消火（水用）　・ 油　・ ガス
検査の種類　・ 浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・ 放射線浸透検査（ＲＴ）

㉓. はつり
既存のコンクリート部の床，壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
Ｘ線検査　※ 行わない　・ 行う

㉔. 支持金物・固定金具
（1）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とし，ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
（2）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
（3）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。

㉕. 埋戻し土・盛土
図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし 各工事種目で別に指定されたものは除く
・ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）　・ 山砂の類

㉖. 地中埋設標及び埋設表示用テープ
地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお，地中埋設標の設置場所は図示によるほか，屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
(1)給水管　⊙ 地中埋設標　⊙ 埋設用表示テープ
(2)ガス管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ
(3)油管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ
(4)消火管　⊙ 地中埋設標　⊙ 埋設用表示テープ

㉗. 保温
・ 主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。
主機械室：
・ ダクトの保温の外装は下記による。内装は（⊙ ﾛｯｸｳｰﾙ　⊙ ｸﾞﾗｽｳｰﾙ）

区分	場所	外装
屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス　・
屋内露出	各階 機械室	・ アルミガラスクロス　・
屋内露出	主機械室	・ アルミガラスクロス　・
屋内露出	居室・廊下など	・ カラー亜鉛鉄板　・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		⊙ アルミガラスクロス
屋外露出、多湿箇所（　）		・ ステンレス鋼板

・ 配管の保湿の外装は下記による。内装は（・ ﾛｯｸｳｰﾙ　・ ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　⊙ ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ）

区分	場所	外装
屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス　・
屋内露出	各階 機械室	・ アルミガラスクロス　・
屋内露出	主機械室	・ アルミガラスクロス　・
屋内露出	居室・廊下など	・ 綿布　・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		⊙ アルミガラスクロス
屋外露出、多湿箇所（　）		⊙ ステンレス鋼板　・ 着色アスファルトプライマー ・アスファルトプライマー

㉘. 塗装
下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※ 屋外露出　※ 居室

㉙. 防食処理
土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。
（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。）

㉚. 山留め
切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には山留めを行うものとする。

31. 舗装工事
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書22章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。

㉜. 他工事との取り合い
図面に特記なき場合は，表「工事区分表」による。

33. 再使用品の清掃
再使用する機器類は現場内で可能な洗剤による水洗等の清掃を行う。

㉞. 火気の使用
建物内での火気の使用は原則として行わない。

35. 室内空気中の化学物質の濃度測定
室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し，監督員に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。
測定対象室（　）、測定箇所数（　）

㊱. 施工調査
・ 下記によるほか、改修標準仕様書第１編１．５．１及び１．５．２による。
・ 施工計画調査　・ 事前調査
調査項目（・　・　）　調査範囲（・　・　）　調査方法（・　・　）

37. アスベスト
アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。
アスベスト使用状況（　）

38. あと施工アンカー
（1）あと施工アンカー　※ 接着系アンカー（接着剤は有機系とする）
※ 金属拡張系アンカー（※ 本体打込み式）
（2）試験等　性能確認試験　※ 行わない　・ 行う
施工確認　※ 行う　・ 行わない

39. 既設インサート及びアンカーボルト
既設インサート及びアンカーボルトを　※ 使用しない　・ 使用する

40. 宮城県ﾘｻｲｸﾙ製品利用促進について
・ 認定品利用対策工事として次の認定製品を使用すること。
（使用製品名：　使用場所：　）
※ 認定製品使用対象外工事だが、利用の促進に努めること。

㊶. 施工条件
別添の施工条件明示書による。

仮設工事

①. 工事用電力、水その他
本工事に必要な工事用電力、水などの費用、及び官公署等への諸手続きなどの費用は、請負者の負担とする。
既設コンセントの使用　※ 不可　・ 可
既設給水栓の使用　※ 不可　・ 可

②. 養生
養生範囲（　）
養生方法（　）

空気調和・冷房・暖房設備

①. 設計温湿度

	外気 一般系統 温度(DB)	外気 一般系統 湿度(RH)	外気 温度(DB)	外気 湿度(RH)	屋内（調整目標値） 一般系統 温度(DB)	屋内 一般系統 湿度(RH)	屋内 温度(DB)	屋内 湿度(RH)
夏期	32.1 ℃	64 %	℃	%	26 ℃	%	℃	%
冬期	－3.2 ℃	55 %	℃	%	22 ℃	%	℃	%

2. ばい煙濃度計
取付箇所は図示による。

3. 煙突
※ 別途　・ 本工事（鋼板厚　mm、高さ　m以上）

4. 煙道
※ 煙道径300mm以下は鋼板厚3.2mm，300mmを超えるものは4.5mmとする。　・ 図示による。
（煙道径が400mmを超えるものには，掃除口に蝶番を取り付ける。）

5. ダクトの区分
低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）

6. 長方形ダクトの工法
・ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法（・ 共板　・ スライド）

7. 風量測定口
取付け場所は　・ 図示した位置　・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト　・ 外気取入れダクト
・ 風量調整ダンパーの上流又は下流　・ 空調機のサプライチャンバーからの分岐ダクト

8. チャンバ
(1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
(2)空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。
(3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。

9. 防煙ダンパ
(1)復帰方式　※ 遠隔式（電気式（定格入力DC24V、0.5A以下）
(2)復帰動作　※ 順送り　・ 同時

⑩. 配管材料
（1）冷温水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・
（2）冷却水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・
（3）蒸気管（給気管）　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
（還水管）　※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40）　・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
（4）油管、油用通気管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　⊙ 灯油用外面被覆鋼管
（5）膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管
※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・
（6）空調用排水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・
（7）冷媒管　※ 断熱材被覆銅管（製造者標準品）　・ 銅管

⑪. 弁類
※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ

12. 鋼管用伸縮管継手
※ ベローズ形　・ スリーブ形

13. 温度計
※ 共通仕様書，標準図による他，図示した箇所に取り付ける。（配管用はＬ形、ダクト用は円形）
・ 空気調和機，温風暖房機まわりの給気ダクト，還気ダクト及び外気ダクト
・ 冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管
・ パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口

14. 瞬間流量計
※ 着脱可能形（※ 全数　・ 図示による）
着脱可能形の場合，その指示部（・ 40A用　個　・ 100A用　個　・ 250A用　個）を付属する。
・ 固定形（止水コック付）　・ 測定用タッピング（32mmピトー管流量計用）

⑮. オイルタンク
（1）オイルタンク本体は図示による。　・ 既製品タンク、格納庫付
（2）遠隔油用指示計　※ 取付ける　・ 取付けない
（3）計量尺は，青銅製，黄銅製又はアルミ製とし，100ﾘｯﾄﾙ実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。

16. 積算油量計
図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。

17. 注油口及び指示ボックス
標準図（機材6）による。
・単独形　・共用形（・ローリーアース付）

18. 消音内貼り
（1）施工箇所は図示による。
（2）内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。
（3）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは別図による。

⑲. 保温
(1)建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む），仕様は冷温水管の項による。
(2)屋外露出配管の保温は，給水設備の項による。
(3)外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温　※ 要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・ 不要
(4)排気ダクトの外壁開放部より１m程度保温する。（チャンバーボックスを含む）
(5)冷媒管（断熱材被覆銅管）の保温外装
屋内露出部　・ 保温化粧ケース（樹脂製）　・ 外装なし　・
屋外　・ 保温化粧ケース（樹脂製）　・
(6)高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は　mmとする。

⑳. 電気工事の範囲
(1)地震感知器の配管配線　※ 別途　・ 本工事
(2)防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は　※ 別途　・ 本工事

㉑. 塗装
（1）屋内露出裸ダクトの塗装（居室は除く）は　※ 行わない　・ 行う
（2）屋内露出冷却水配管の塗装（居室は除く）は　※ 行わない　・ 行う

換気設備

①. 準拠事項
［空気調和　・ 冷房　・ 暖房設備］の当該事項に準ずる。
⊙ ５ ・ ６ ・ ７ ・ ８ ・ １６ ・ １７ ・ １８

2. 開放形湯沸器排気フード
※ 別途　・ 本工事

3. 厨房用排気ダクト
※ 亜鉛鉄板　・ ステンレス鋼版（SUS304）（板厚は別記による）

4. 厨房用排気ﾀﾞｸﾄ工法
※ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）

5. 厨房用排気フード
(1)フード周囲の天幕（フード面から天井面まで）　※ 取り付ける　・ 取り付けない
(2)フードコック　※ 取り付ける　・ 取り付けない
(3)材質（天幕とも）　※ ステンレス鋼板（SUS304）

6. 多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ
次の系統のダクトのｼｰﾙは標準図（施工４５，４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし，水抜き管を設ける。
（　）

⑦. 塗装
屋内露出裸ダクトの塗装（居室は除く）は　※ 行わない　・ 行う

排煙設備

1. ダクト　・ 亜鉛鉄板製　・ 鋼板製（1.6mm以上）
2. 排煙口の形式　・ 可動羽根（スリット共）　・ 可動パネル
3. 排煙口解放装置　・ 可動羽根（スリット共）　・ 可動パネル
4. 排煙風量測定方式　建築設協定期検査業務指導書（（財）日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。

自動制御設備

1. 中央監視制御　中央監視制御装置の構成機能は別紙による。
2. 計装工事の配線　屋外・屋内露出の配線は，図面に特記のない限り金属管配線とする。

衛生器具設備

1. 大便器洗浄弁　不凍結節水弁付とする。
②. 便器洗浄用タンク　※ 手洗なし　・ 手洗付
3. 小便器節水装置　※ 節水装置（機能は別図による）　・ 押ボタン式（不凍結節水弁付）
4. 小便器洗浄管　※ 埋込　・ 露出
⑤. 付属水栓　吊りこま式（節水こま式）とする。
6. 自動水栓　電源供給方式（※ ＡＣ１００Ｖ）
7. 大便器耐火カバー　設ける（ピット内を除く）
8. 注記板　対象器具（　）

給水設備

1. 量水器
(1)親メーター　※ 水道事業者支給品　(2)子メータ　※ 本工事

2. 量水器桝
(1)親メーター用　※ 水道事業者の指定品　・ 標準図（機材５３）
(2)子メーター用　※ 標準図（機材５３）　・ 水道事業者の指定品

③. 配管材料
(1)一般用
・ ステンレス鋼管（拡管）
・ 塩ビライニング鋼管（・VA　・ VB）
・ ポリ粉体ライニング鋼管（・PA　⊙ PB）
・
(2)土間配管用（厨房，浴室等のシンダー内含む）
・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）
・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
⊙ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）
・
(3)屋外土中用
・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６拡管）
・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
⊙ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）
・ ビニル管（ＪＩＳ　Ｋ　6742）（ＶＰ）
⊙ 〃（ＨＩＶＰ）
・ ポリエチレン管
・ 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管
・

④. 不凍水栓柱
化粧ケーシング（・ アルミ合金製　・ 合成樹脂製）

5. 壁埋込型散水栓ﾎﾞｯｸｽ
鍵付とする。

⑥. 弁類
(1)水道直結部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ　・ 水道事業所の規定による　Ｋ
(2)その他の部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ

⑦. 給水栓
(1)屋内（※ 一般水栓　・ 耐寒水栓）　(2)屋外（※ 耐寒水栓　・ 一般水栓）
湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫式とする。

⑧. 埋設深さ
(1)一般敷地内（0.45　m以上）　(2)敷地内車両道路（　m以上）
(3)公道部分（※ 水道事業者及び道路管理者規定による）

9. 保温
(1)量水器桝内の保温を行う。

10. 埋設弁開閉用ハンドル
本工事に　※ 含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・ 含まない

⑪. 水道加入金等
水道加入金　・ 要（・ 本工事　・ 別途）　⊙ 不要
・ その他（　）　・ 要（・ 本工事　・ 別途）

⑫. その他
給水管の最小口径は20mmとする。ただし，器具接続部分を除く。

排水設備

①. 配管材料
(1)屋内汚水管
・ 排水用塩ビライニング鋼管
・ コーティング鋼管
・ メカニカル形排水鋳鉄管
・ 鉛管
・ ビニル管（ＶＰ）
(2)屋内雑排水管
・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
・ 排水用塩ビライニング鋼管（厨房用排水管）
・ 排水用タールエポキシ塗装鋼管（厨房用排水管）
・ ビニル管（ＶＰ）
(3)屋外土中汚水，雑排水管
・ コンクリート管（１種Ｂ形）
・ ビニル管（ＶＰ）
・ ビニル管（ＶＵ）
・ ビニル管（再生ＶＵ）
(4)土間配管用
・ 排水用塩ビライニング鋼管
・ コーティング鋼管
・ ビニル管（ＶＰ）
(5)通気管
・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
・ 排水用塩ビライニング鋼管
・ ビニル管（ＶＰ）

②. 排水桝
・ 桝リストは図面番号（Ｍ－２、Ｍ－５　）
(1)材料　・ ＲＣ　・ 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ
(2)ふた　・ 鋳鉄製（・ ＭＨＡ　・ ＭＨＢ　・ Ｔ８Ａ）　・ 樹脂製
※ 県マーク，流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付
(3)規格　・ 下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　・ 排水設備用樹脂製桝協会（ＨＭＳ）
・ 市町村別基準（・ 有　・ 無）

3. グリース阻集器
・ＦＲＰ製（５０　Ｌ）　・ＳＵＳ製（　Ｌ）　詳細は図示。

4. 満水試験継手
図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。

⑤. 試験
・ 衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。　・ 衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う

6. 放流負担金等
・ 不要　・ 要（・ 別途工事　・ 本工事）

⑦. 基礎材
※ 再生クラッシャーラン

8. その他

給湯設備

①. 配管材料
・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　⊙ 耐熱性ライニング鋼管　・ 銅管　・ 被覆銅管
・ 保温付被覆銅管 <膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。>

②. 弁類
給水設備の当該事項による。

3. 湯沸器の排気筒
厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。

④. 保温
湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。（h・(ｲ)・ＶⅡ）

消火設備

①. 配管材料
(1)一般
⊙ 配管用炭素鋼鋼管（白）
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ40）
(2)地中埋設部
⊙ 外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ）
・ 〃（ＳＧＰ－ＰＳ）
・ 〃（ＳＴＰＧ－370ＶＳ）
・ 〃（ＳＴＰＧ－370ＰＳ）
(3)二酸化炭素用
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ80）

②. 消火栓開閉弁
⊙ ＪＩＳ10Ｋ　・ ＪＩＳ20Ｋ

③. 保温
(1)屋外露出管については給水管に準ずる。
(2)充水タンクの保温　・ 施工しない　・ 施工する
(3)消火配管の保温　屋内消火栓　・ 施工しない　・ 施工する
スプリンクラー　⊙ 施工しない　・ 施工する

4. 消火器類
(1)消火器　種別　・ 数量（　）
(2)消火器収納箱　仕様　・ 材質　・ 数量（　）

厨房機器設備

1. 厨房機器類　図示による（材質などは共通仕様書による）。ただし，寸法は参考とする。
2. 付属制御盤　器具付属の制御盤は，製造者規格品とする。

ガス設備

①. 配管材料
(1)一般
※ 配管用炭素鋼鋼管（白）
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管
・ 鋼管
・
(2)屋外土中
※ ポリエチレン被覆鋼管
・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
・ 塩化ビニル被覆鋼管
・ ガス用ポリエチレン管

2. 都市ガス
(1)ガスメーター
親メーターはガス事業者の設置，子メーターは本工事とする。
(2)引込み負担金　・ 不要　・ 要（・ 別途工事　・ 本工事）

③. 液化石油ガス
(1)ガスボンベ　※ガス供給業者の設置（・ 10kg　・ 20kg　・ 50kg　本）
(2)ガスメーター　親メーターはガス供給事業者の設置，子メーター本工事とする。
(3)集合装置　・ 標準図（施工７０）による（４＋４ 本組）
(4)転倒防止等　・ 標準図（施工７１）｛・(a)　・(b)｝　・ ﾎﾞﾙﾄ，ﾁｪｰﾝ等はSUS製とする。

④. ガス漏れ警報器
図示の場所に取付ける（・ 分離形　・ 一体形）　⊙ 別途電気工事
外部出力端子（・ あり　・ なし）

⑤. 埋設深さ
(1)一般敷地内（　m以上）　(2)敷地内車両道路（　m以上）
(3)公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）

⑥. その他
配管工事は，原則としてガス供給事業者の責任施工とする。　供給事業者名（　）

表1「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。

名称	完成書類	部数
1 完成調書	営繕工事完成引渡要領（平成１３年４月１日版）（作成は，主たる請負業者が，他の工事および監督員の協力を得て取りまとめる。）	1部
2 完成図		
①黒表紙金文字製本	Ａ４版（4 機器完成図，5 取扱説明書とまとめて１冊にしてもよいが，厚さ８０mmを越える場合は分冊とする。）	1部
②青焼き二つ折り製本	Ａ２版（Ａ１版二つ折り）	1部
③青焼き二つ折り製本（縮小）	Ａ４版（Ａ３版二つ折り）　１部は設備課保管	2部
④原図	三つ折りケース収納	1部
⑤完成図書電子データ	JWW又はDXF形式のCADﾃﾞｰﾀもしくはTIFF形式（解像度200DPI程度）	CD 1枚
3 施工図		
①青焼き二つ折り製本	Ａ２版（Ａ１版二つ折り）（施工図の枚数が少ない場合は，完成図の二つ折り製本と合本可）	1部
②原図	三つ折りケース収納	1部
4 機器完成図	Ａ４版 黒表紙金文字製本（２ 完成図と合本可）	1部
5 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧	Ａ４版 黒表紙金文字製本（２ 完成図と合本可）	1部
6 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
7 工事写真		
①工事施工写真	Ａ４版 チューブ式ファイル　工事施工写真は，履行写真（着手前写真と完了写真）並びに施工状況写真とで構成される。	1部
②完成写真	Ａ４版 ペーパーファイル　完成届に添付	1部
③マイクロフィルム	３５mm ＭＦフォルダー　設備課保管用	1部
8 工事週報	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
9 工事打ち合わせ議事録	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
10 工事に関する承諾確認書 ①施工計画書 ②施工要領書 ③確認書・承諾書 ④協議書 ⑤安全に関する書類 ⑥建設廃棄物ﾏﾆﾌｪｽﾄ	Ａ４版 チューブ式ファイル	1式
11 各種保証書	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
12 その他 ①機器試験成績書 ・機材材質証明書 ・機材検査試験報告書 ・工場検査報告書 ・工場立会検査報告書 ②現場試験成績書 ・工事別試験報告書 ・総合運転および試験報告書		1部

［C］　凡例・使用材料

記号	名称	摘要
── - ──	給水管	
── -- ──	揚水管	（井水管）
── I ──	給湯管（往き）	
── II ──	給湯管（返り）	
────	排水管	雑排水管、屋外合流配管
──◁──	汚水管	
------	通気管	
── G ──	ガス管	
── X ──	屋内 消火栓管	
── SP ──	スプリンクラ-管	
── H ──	連結送水管	
── P ──	浴槽追焚管	PS：往き、PR：返り
⋈　N	仕切弁・逆止弁	GC：ｶﾞｽｺｯｸ
Ⓐ　Ⓡ	空気抜弁・減圧弁	
Ⓢ	電磁弁	（電磁弁装置）
	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	ゴム製球形、SUSﾍﾞﾛｰｽﾞ形
	水抜栓	
	不凍水栓柱	
	給水栓	
	給湯栓	
	混合水栓	
Ⓣ	排水トラップ	床トラップ、流しトラップ
	床上掃除口	
⊠	コンクリート製桝	インバート桝、ため桝
◎　⊗	塩ビ製桝	インバート桝、ため桝
⊠　⊗	トラップ桝	コンクリート製、塩ビ製
	ガス栓	ガス栓、可とう管コック

特記事項

一級建築士事務所
日新設計
NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.Ltd
一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士　登録　第６３６０１号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石４２番４
TEL０２２－２４５－２３３３

検図	
製図	
日付	平成21年10月

設計名称
平成２２年度
西成田地区コミュニティセンター改修工事

図面内容	機械設備改修工事特記仕様書	図面番号	Ｍ－１　全　枚ノ内
縮尺		設計番号	

水道増圧ポンプ
キャビネットタイプ
１２０L/min x ２５m
凍結防止機構付
コンクリート基礎 300H
GV25x2.CV25.FJ（ｺﾞﾑ球形）25x2
凍結防止ヒーター巻 25A .1.0mx2

既設管に接続

隣地境界線

既存建物 (91.50㎡)

増築建物 (33.54㎡)

改修建物 (608.02㎡)

増築建物 外部トイレ

アスファルト舗装こわし、復旧

駐車スペース

合併処理浄化槽

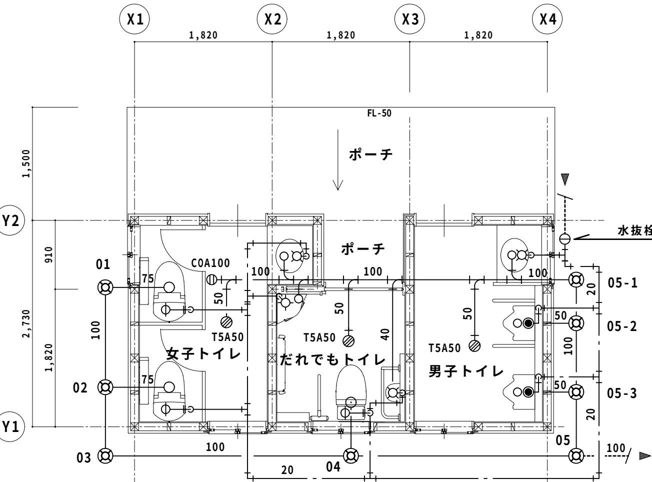
倉庫 W造1階 (20.72㎡)

倉庫2 S造1階 (9.6㎡)

道路境界線

隣地

道路



屋外トイレ平面図　1/50

※ 参考　現況 桝リスト小口径塩ビ製インバート桝）

桝 №	種　別・接続管径		下流側管底（mmH）	蓋・等
D	合流点（90Y）	別図 詳細図参照		
E	合流点（90Y）	別図 詳細図参照	５６５	
F	合流点（90Y）	150x65-200	７４０	鋳鉄T8A
G	屈曲点（90L）	150-200	９２０	〃
H	落差点（D R）	150-200	１０６０	〃
I	中間点（S T）	150-200	５００	〃
J	中間点（S T）	150-200	６６０	〃
K	中間点（S T）	150-200	８２０	〃

◎ 配管勾配　1/100、

屋外トイレ器具表

室　名	品　名	品　番	付　属　品・等	数量
男子便所	小　便　器	ＵＦＳ８００Ｃ	（壁掛、低リップ、感知器一体形）電源 AC100V、	1
			手すりT113BU2、	
	小　便　器	ＵＦＳ８００Ｃ	（壁掛、低リップ、感知器一体形）電源 AC100V、	1
	洗　面　器	Ｌ５４６Ｕ	（楕円形洗面器）オートストップ立水栓（TL19APR）	1
	化　粧　鏡	TS119FR5	（耐食鏡）参考寸法 455 x 608 x 5t、	
女子便所	洋　風　便　器	ＣＳ６７０ＢＨ	（ヒーター付便器）　ロータンク（手洗無 SH670BA）、	2
			洗浄便座（TCF6210）、紙巻器（YH60M）	
			紙巻器一体型手すり（YHB61FLLA）	
	洗　面　器	Ｌ５４６Ｕ	（楕円形洗面器）オートストップ立水栓（TL19APR）	1
	化　粧　鏡	TS119FR5	（耐食鏡）参考寸法 455 x 608 x 5t、	1
だれでも	車いす対応便器	ＣＳ２０ＡＢＨ	（ヒーター付便器）、ロータンク（手洗無）、	1
トイレ			洗浄便座（TCF6121RAM・リモコン便器洗浄タイプ）	
			手すり（T112CL10）、可動手すり（T112H8）、紙巻器、	
	埋込手洗器	ＬＳＨ５７０AP	オートストップ水栓、他一式、	1
	隅付手洗器	Ｌ１０Ｄ	立水栓（TL594AX）、止水栓、Ｓトラップ、	1
	化　粧　鏡	TS119FR5	（耐食鏡）寸法 455 x 608 x 5t、	1

桝リスト〔小口径塩ビ製インバート桝〕

桝 №	種　別・接続管径		下流側管底（mmH）	蓋・等
01	屈曲点（90L）	100x75-200	４００	樹脂製
02	合流点（90Y）	100x75-200	４２０	〃
03	屈曲点（90L）	100-200	４３０	〃
04	合流点（90Y）	100x75-200	４７０	〃
05	合流点（90Y）	100x100-200	５００	〃
06	落差点（90Y）	100x100-200	５３０	〃
07	合流点（90Y）	150x100-200	５９０	鋳鉄T8A
05-1	屈曲点（90L）	100-200	４００	樹脂製
05-2	合流点（90Y）	100x50-200	４１０	〃
05-3	合流点（90Y）	100x50-200	４２０	〃

◎ 配管勾配　1/50、

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN-ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図
製図
日付　H22.09.06

設計名称
平成２２年度西成田コミュニティーセンター改修工事

図面内容
給排水衛生設備
配置図・屋外便所平面図

縮尺　S＝1：200. 1:50

図面番号　M－２
枚ノ内

設計番号

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12

65,520

3,640 | 9,100 | 910 | 910 | 2,730 | 3,640 | 16,380 | 10,920 | 2,730 | 1,820 | 9,100 | 3,640

3,640 | 2,730 | 2,730 | 2,730 | 4,550

土止め

シャワーブース

別図 詳細図参照

浴室

更衣室

20 天井内配管

男子便所

女子便所

別図 詳細図参照

調理室

食器棚

廊下

だれでも便所

EXP.J

EXP.J

1,200

4,550

3,660

2,730

25

150

E

D

ハッチ部分撤去

1,820

Y3 Y2 Y1

2,000

12,010

7,280

2,730

廊下

分電盤

納戸 押入

納戸 押入

納戸 押入

押入

和室

和室

65

食堂

台所

ホール

玄関

事務室

談話室

押入

押入

床の間

和室

踏込

会議室

会議室

ステージ

昇降口

子供室

昇降口

ハッチ部分撤去

COA65

テラス

テラス

3,640 | 9,100 | 910 | 910 | 3,640 | 3,640 | 3,640 | 3,640 | 5,460 | 910 | 8,190 | 9,100 | 9,100 | 3,640

65,520

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12

特記事項

一級建築士事務所

日新設計

NISSIN ARCHITECTS & ENGINEERS Co.Ltd.

一級建築士事務所

日新設計株式会社

NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士 登録 第63601号

管理建築士 京谷国雄

仙台市太白区山田字大石42番4

℡022−245−2333

検図

製図

日付 平成21年10月

設計名称

平成22年度西成田地区コミュニティセンター改修工事

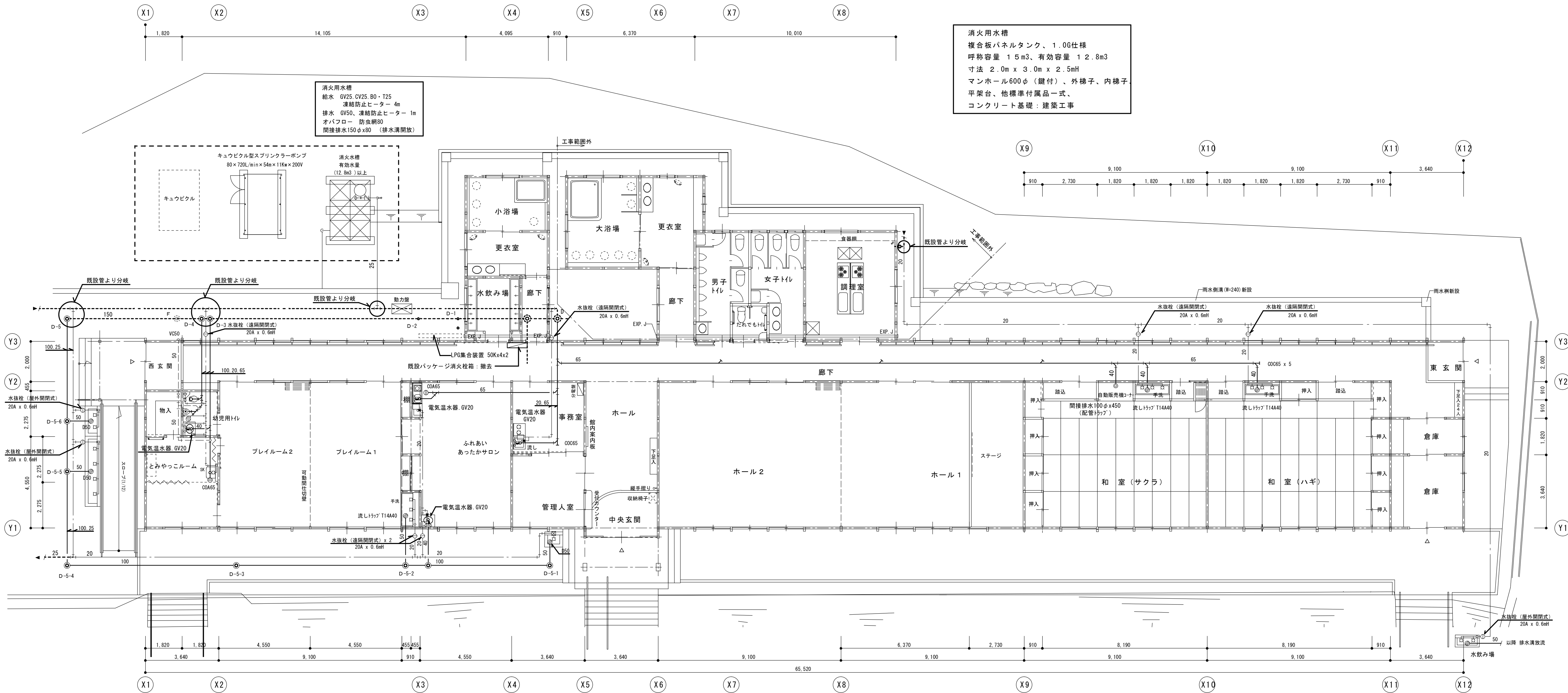
図面内容 給排水衛生設備 (現況) 平 面 図

縮尺 1/100

図面番号 M — 3

全 枚ノ内

設計番号



(屋外)器具表

室名	品名	品番	付属品・等	数量
幼児用トイレ	幼児用腰掛式大便器	CS310B	幼児用ロータンク（S300BK）、暖房便座、	1
	幼児用小便器	U310	フラッシュ弁（T601PX）	1
	はめ込楕円形洗面器	L546U	混合水栓TLNW31A、電気温水器12L REW12A1BH(AC100V)	1
			カウンター：建築工事	
とみやっこルーム	掃除用流し	SK22A	横水栓、Sトラップ、	1
和室	横水栓	T23BUN13		6
プレイルーム1	ホーム水栓	T200SUN13		3
事務室	ミニキッチン	建築工事	混合水栓、換気扇、他	
			本工事：電気温水器12L REW12A1BH(AC100V)	1
ふれあいあったかサロン	ミニキッチン	建築工事	混合水栓、換気扇、他	
			本工事：電気温水器12L REW12A1BH(AC100V)	1
	はめ込楕円形洗面器	L546U	混合水栓TLNW31A、電気温水器12L REW12A1BH(AC100V)	1
			カウンター：建築工事	
足洗い場1	ホーム水栓	T200SUN13		2
水飲み場1	ホーム水栓	T200SUN13		4
足洗い場2	ホーム水栓	T200SUN13	不凍水栓柱（D-A）13A x 0.6mH	1
水飲み場2	ホーム水栓	T200SUN13		2

給排水衛生設備
（改修後）平面図 1/100

桝リスト〔小口径塩ビ製インバート桝〕

桝No.	種別・接続管径		下流側管底（mmH）	蓋・等	
D-2	合流点（90Y）	増築棟詳細図参照	620	樹脂蓋	
D-3	合流点（90Y）	150x65-200	725	〃	本工事設置
D-4	合流点（90Y）	150x100-200	730	〃	本工事設置
~~F~~	~~合流点（90Y）~~	~~150x65-200~~	~~740~~	~~〃~~	撤去
D-5	合流点（90Y）	150-200	800	鋳鉄T8A	本工事設置
D-5-1	屈曲点（90L）	100x50-200	400	樹脂蓋	本工事設置
D-5-2	合流点（90Y）	100x50-200	475	〃	本工事設置
D-5-3	中間点（S T）	100-200	560	〃	本工事設置
D-5-4	屈曲点（90L）	100-200	645	〃	本工事設置
D-5-5	合流点（90Y）	100x50-200	695	〃	本工事設置
D-5-6	合流点（90Y）	100x50-200	720	〃	本工事設置

◎ 配管勾配 1/100、◎ 段差 30mm、◎ 樹脂蓋：A1、文字・鎖付

特記事項	事務所	登録	検図 / 製図 / 日付	設計名称	図面内容	図面番号
	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 TEL 022-245-2333	日付 H22.09.06	平成22年度西成田コミュニティーセンター改修工事	給排水衛生設備（改修後）平面図 縮尺 S=1:100	M―4 枚ノ内 設計番号

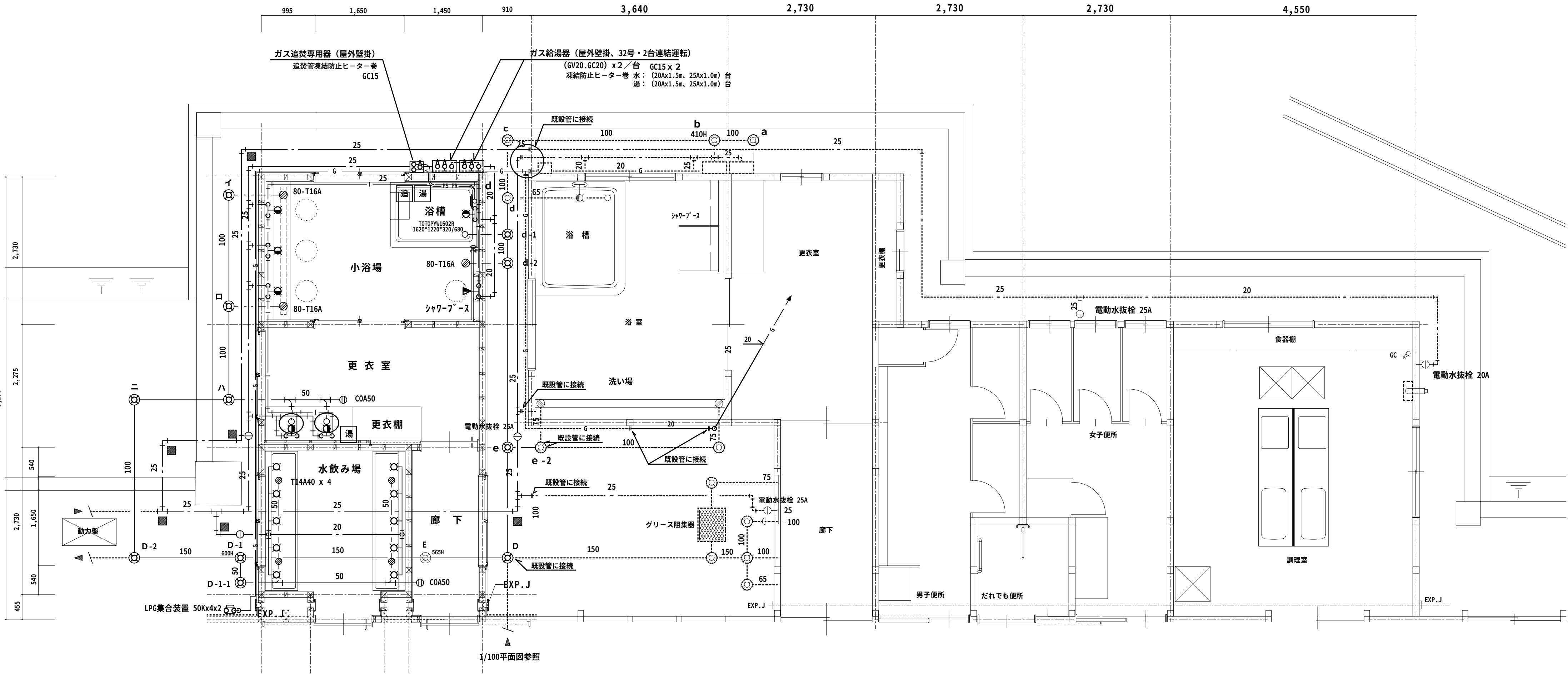
（増築棟）器　具　表

室　　名	品　　名	品　　番	付　　属　　品　・　等	数　量
小浴場	バス水栓	TBH20A	（２ハンドル、台付タイプ）	1
	シャワー金具	TMF49CGAN	（自閉式、サーモ付）	3
	化　粧　鏡	TS119FR5	（耐食鏡）寸法 455 x 608 x 5t、	3
	シャワー金具	TMF49C2GAN	（吐水口無、シャワー機能のみ、自閉式、サーモ付）	1
			インテリアバー（TS135GY12S）	
	ガス給湯器	RUXC-V3201W	屋外壁掛、給湯専用、ＬＰＧ用、２台連結運転仕様、電源 AC100V、	2
			リモコン：２台連結タイプ、脱衣室取付け、コード・配線共一式、	
			外壁取付金具：２台連結タイプ、	
	ガスふろがま	RF-1W	屋外壁掛、おいだき専用、ＬＰＧ用、電源 AC100V、	1
			リモコン：付属品、	
			配管カバー、据付台、10φペアチューブ（配管共）	
脱衣室	洗　面　器	L537	（楕円形洗面器）シングルレバー混合栓（TLNW31B）	2
			止水栓x2、Ｓトラップ、カウンター：建築工事	
	化　粧　鏡	TS119FR5	（耐食鏡） 寸法 455 x 608 x 5t、	2
水飲み場	ホーム水栓	T200SUN13		5
	横形簡易水飲水栓	T242SZKX		5

桝リスト〔小口径塩ビ製インバート桝〕

桝 №	種　別・接続管径		下流側 管底（mmH）	蓋・等	
D	合流点（90Y）	150x100x75-200	５５０	樹脂蓋	基礎工事時撤去・再使用据付け
~~E~~	~~合流点（90Y）~~	~~150x65-200~~	~~５６５~~	~~〃~~	撤去
D-1	合流点（90Y）	150x50-200	６００	〃	本工事設置
D-2	合流点（90Y）	150x100-200	６２０	〃	本工事設置
D-1-1	屈曲点（90L）	100x50-200	５９０	〃	
c	既　存				基礎工事時撤去・再使用据付け
d	既　存	100x65-200	４８０	樹脂蓋	基礎工事時撤去・再使用据付け
d-1	合流点（90Y）	100x65-200	４９０	〃	本工事設置
d-2	合流点（90Y）	100x75-200	４９５	〃	本工事設置
e	合流点（90Y）	100x100-200	５３０	〃	
e-1	屈曲点（90L）	100-200	４００	〃	
e-2	合流点（90Y）	100x75-200	５００	〃	
イ	屈曲点（90L）	100x75-200	５３０	樹脂蓋	
ロ	合流点（90Y）	100x75-200	５５０	〃	
ハ	合流点（90Y）	100x50-200	５７０	〃	
ニ	屈曲点（90L）	100-200	５９０	〃	

◎ 配管勾配　1/100、◎ 段差 ３０㎜、◎ 樹脂蓋：A1、文字・鎖付



小浴場、脱衣室 詳細図　1/50

※ 破線部分は既設配管等を示す。

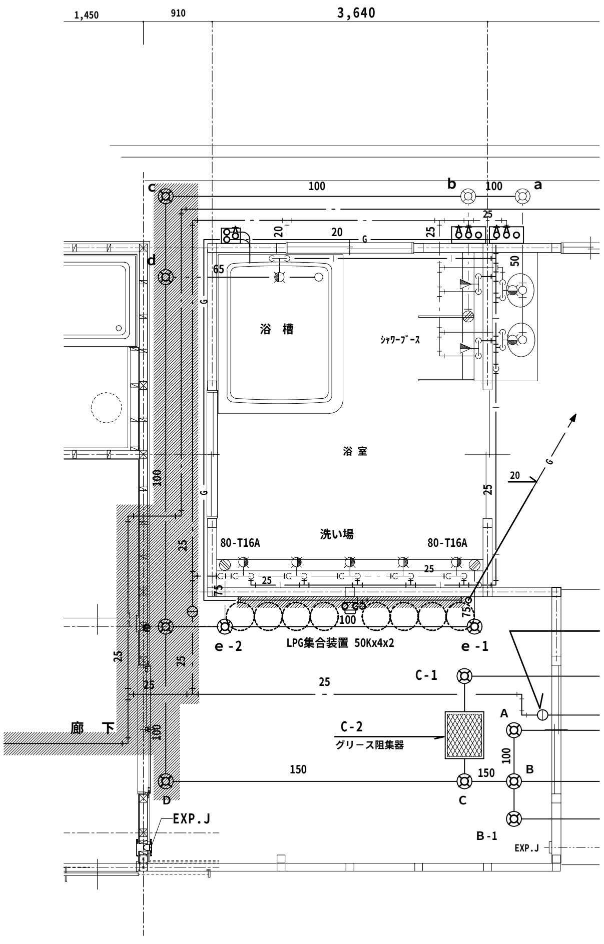
凡　例

湯	給湯器リモコン、配線共、
追	追焚リモコン、配線共、
■	埋設標示杭（コンクリート製）

桝リスト〔小口径塩ビ製インバート桝〕

桝 №	種　別・接続管径			下流側 管底（mmH）	蓋・等
A	屈曲点（90L）	100-200	段差付	４３０	樹脂蓋
B	合流点（90WY）	150x100-200	段差付	４７０	〃
C	合流点（90Y）	150x75-200		５１０	〃
D	合流点（90Y）	150x100-200		５５０	〃
E	合流点（90Y）	150x65-200		５６５	〃
B-1	屈曲点（90L）	65-200		４００	樹脂蓋
C-1	屈曲点（90L）	75-200		３５０	〃
C-2	ｸﾞﾘｰｽ阻集器	FRP製、埋設パイプ式		流入３８０	付属品
		２槽式、実容量50L		流出５００	
a	屈曲点（90L）	100-200		４００	樹脂蓋
b	合流点（90Y）	100x75-200		４１０	〃
c	屈曲点（90L）	100-200		４５０	〃
d	合流点（90Y）	100x65-200		４８０	〃
e	合流点（90Y）	100x100-200		５３０	〃
e-1	屈曲点（90L）	100-200		４００	〃
e-2	合流点（90Y）	100x75-200		５００	〃

◎ 配管勾配　1/100、◎ 段差 ３０㎜、◎ 樹脂蓋：A1、文字・鎖付
◎ 既設　給排水衛生設備図　桝リスト



既設配管撤去平面図　1/50

※ ハッチ部分の配管等は撤去

特記事項

一級建築士事務所
日新設計株式会社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.

一級建築士　登録 第63601号
管理建築士　京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	
日付	H22.09.06

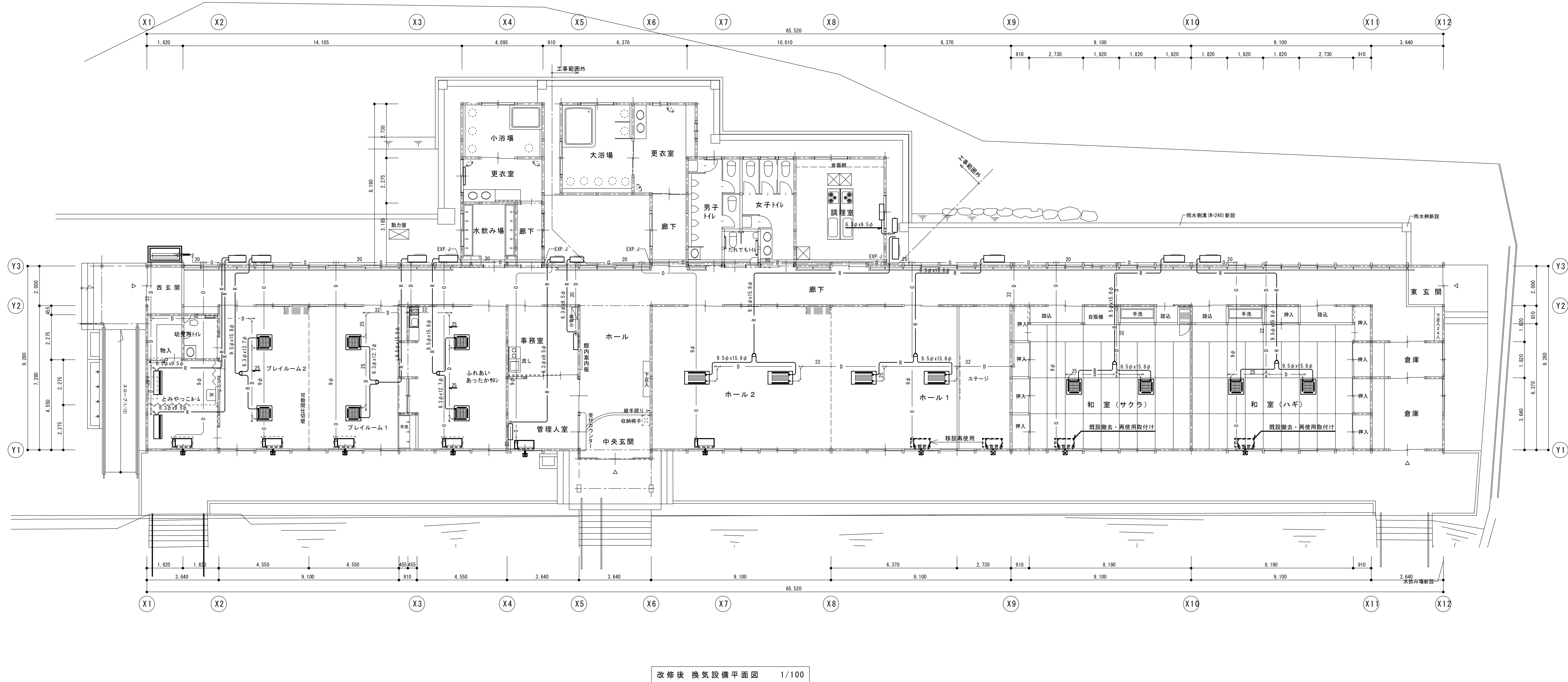
設計名称：平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事

図面内容：給排水衛生設備（増築棟）平面詳細図

縮尺：S＝1：50

図面番号：M — 5　枚ノ内

設計番号：



改修後 換気設備平面図 1/100

エアコンリスト（標準仕様）

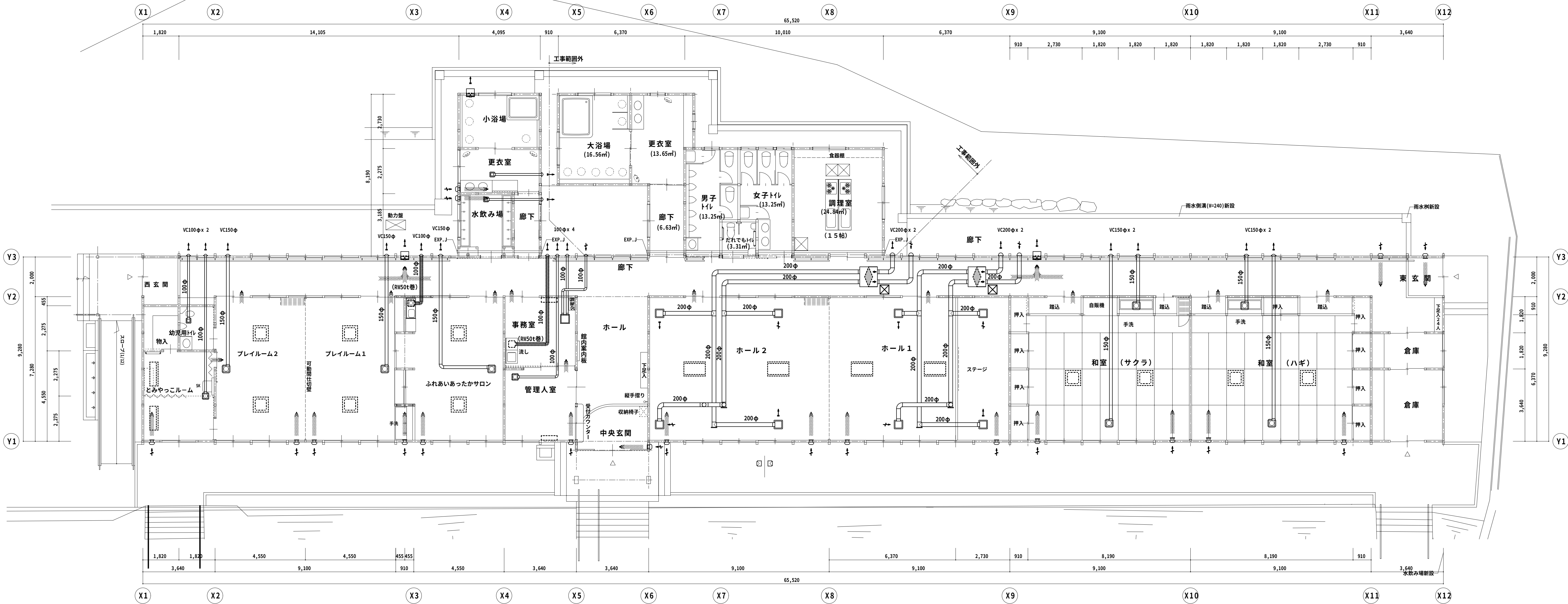
室名	形式	冷房能力 (KW)	暖房能力 (KW)	電源	消費電力 圧縮機 (KW)	消費電力 ﾌｧﾝ内 (KW)	消費電力 ﾌｧﾝ外 (KW)	台数 (SET)	備考
とみやっこﾙｰﾑ	ﾊｳｼﾞﾝｸﾞｴｱｺﾝ・ﾏﾙﾁ・天井ｶｾｯﾄ・１方向	６．０	７．８	単相200V	１．６	0.03+0.03	0.062	1	ワイヤードリモコン、 MLZ-RX28RAS
		(2.8+2.8)	(4.0+4.0)						
プレイルーム1.2	天井カセット形・４方向、ツイン	１０．０	１１．２	3相200V	１．３	0.03x2	0.06	2	ワイヤードリモコン、 MPLZX-ERP112JN
ふれあいあったかｻﾛﾝ	天井カセット形・４方向、ツイン	７．１	８．０	3相200V	１．４	0.03x2	0.06	1	ワイヤードリモコン、 MPLZX-ERP80JN
管理人室	ルームクーラー・壁掛形	２．８	３．２	単相100V	０．７５	0.028	0.022	1	ワイヤレスリモコン、 MSZ-AXV280
事務室	ルームクーラー・壁掛形	２．２	２．５	単相100V	０．６	0.028	0.022	1	ワイヤレスリモコン、 MSZ-AXV220
ホール１・２	天井カセット形・２方向、ツイン	１２．５	１４．０	3相200V	２．４	0.03x2	0.06x2	2	ワイヤードリモコン、 MPLZX-ERP140LN
和室（ｻｸﾗ.ﾊｷﾞ）	天井カセット形・４方向、ツイン	１２．５	１４．０	3相200V	２．９	0.03x2	0.06x2	2	ワイヤードリモコン、 MPLZX-ERP160JN
調理室	ルームクーラー・壁掛形	5.6	6.7	単相200V	１．６	0.04	0.05	1	ワイヤレスリモコン、 MSZ-AXV560S

◎ エアコン共通 二次側配線、防振吊金具、真空引・液充填、室外機既製品架台500H。

暖房機器表（標準仕様）

	室名	形式	暖房能力 (KW)	電源	燃焼時消費電力 (W)	台数 (SET)	備考	
ＦＦ式温風暖房機（標準仕様）	とみやっこﾙｰﾑ	背面給排気式	３．４８	単相100V	３０	1	FF-359GS	灯油タンク、架台付 壁接近タイプ、容量１９８L 液面計・指示計・配線 防油堤 RC 1500x600x300H ※とみやっこﾙｰﾑ、ﾌﾟﾚｲﾙｰﾑ1,2、ふれあいあったかｻﾛﾝについてはガード（SGK）付とする。
	プレイルーム1.2	背面給排気式	７．４１	単相100V	３１	1	FF-749SBT	
	ふれあいあったかｻﾛﾝ	背面給排気式	７．４１	単相100V	３１	1	FF-749SBT	
	管理人室	背面給排気式	３．４８	単相100V	３０	1	FF-359GS	
	ホール ２	背面給排気式	１０．０	単相100V	４１	1	FF-1019SBT	
	ホール １	既存再使用						
	和室（ｻｸﾗ）	既存再使用						
	和室（ﾊｷﾞ）	既存再使用						
電気暖房機（標準仕様）	幼児用トイレ	壁掛形ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	０．５	単相200V	０．５	1	ｻｰﾓ組込、ｶﾊﾞｰ付	
	更衣室	壁掛形ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ	１．０	単相200V	１．０	1	ｻｰﾓ組込、ｶﾊﾞｰ付	

特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番4 Tel 022-245-2333	検図 / 製図 / 日付 H22.09.06	設計名称 平成２２年度西成田コミュニティーセンター改修工事	図面内容 空気調和設備（改修後）平面図 縮尺 S=1:100	図面番号 M－６ 枚ノ内 設計番号



改修後 換気設備平面図 1/100

ホール 1・2
給気グリル
200φ用、消音 (PZ-20FGP)
265 m3/h

x 2

ホール 1・2
排気グリル
200φ用、消音 (PZ-20FGP)
265 m3/h

x 2

凡 例

(記号)	２４時間換気気流
(記号)	自然給気口 １５０φ 給気グリル１５０φ (P-18GLF5、ﾈｯﾄﾌｨﾙﾀｰ、風量調整付) ベンドキャップ１５０φ (P-18VSQ3、SUS深形ﾌｰﾄﾞ、防虫網付)
☒	天井点検口 450x450 ：建築工事

部屋ごとの換気量計算

室 名	床面積 m2	天井高さ m	気積 m3	換気種別	常時換気 換気回数 n (回/h)	換気量 m3／h	排気機 m3／h	自然 給気口 (５０m3/h・個) m3／h	150φ	局所換気 有効換気量 V＝20・Af／N (m3/h) Af ＝ 実床面積 m2 (窓面積減じない)、 N ＝ 一人当りの占有面積 m2,
とみやっこﾙｰﾑ	２０.70	2.70	５５.90	第三種	0.54	３０		５０	1個	7人、 N=2.1 V = 144.7 → １５０m3/h
プレイルーム２	３３.12	3.10	１０２.68	〃	0.54	５５		５０	1個	13人、 N=2.5 V = 265.0 → ３００m3/h
プレイルーム１	３７.26	3.10	１１５.52	〃	0.52	１００		１００	2個	14 人、N=2.6、 V = 286.6 → ３００m3/h
ふれあいあったかｻﾛﾝ	３５.61	2.90	１０３.26	〃	0.53	５５		５０	1個	9人、 N=3.6、 V = 184.0 → ２００m3/h
管理人室	１３.25	3.05	４０.41	〃	0.62	２５		５０	1個	2人、 N=6.6、 V = 40.1 → ５０m3/h
事務室 (無窓居室)	１３.25	3.05	４０.41	〃	0.62	２５				2人、 N=5.0、 V = 53.0 → ６０m3/h
										火気使用・ＩＨヒーター → ２００m3/h、
ホール ２	６６.25	3.05	２０２.06	〃	0.52	１０５		１００	2個	26人、 N=2.5、 V = 530.0 → ５３０m3/h
ホール １	６６.25	3.05	２０２.06	〃	0.52	１０５		１００	2個	26人、 N=2.5、 V = 530.0 → ５３０m3/h
和室（サクラ）	６６.25	2.98	１９７.42	〃	0.51	１００		１００	2個	20人、 N=2.6、 V = 401.3 → ４００m3/h
和室（ハギ）	６６.25	2.98	１９７.42	〃	0.51	１００		１００	2個	20人、 20人、 V = 401.3 → ４００m3/h
ホール・中央玄関	２８.14	2.98	８３.85	〃	0.54	４５		１００	2個	
西玄関	８.94	2.98	２６.63	〃	0.56	１５		５０	1個	
東玄関	１３.90	2.98	４１.43	〃	0.60	２５		１００	2個	
既設 廊下	１１６.48	2.98	３４７.11	〃	0.50	１７５	９５５			
幼児用ﾄｲﾚ	４.15	2.40	９.95	〃	0.50	５				５回/h V = 49.7 → ５０m3/h
増築 廊下	４.35	2.40	１０.43	〃	0.58	６				
増築 更衣室	９.32	2.40	２２.36	〃	0.54	１２		５０	1個	５回/h V = 112 → 110m3/h
増築 水飲み場	８.70	2.40	２０.87	〃	0.58	１２		５０	1個	５回/h V = 104 → 100m3/h
増築 小浴場	１１.18	2.40	２６.83							１０回/h V = 268 → ２７０m3/h
H22改修 計	(小浴室除く) ６１２.15		(小浴室除く) １８１９.75	(x 0.5=909.8)＜		９５５	９５５			
H21増築棟	(大浴室、調理室、男子トイレ、女子トイレ、他)					９５				
					計	１０５０		１０５０		

換気扇 リスト

室 名	形 式	羽根径 φ	風 量 m3/h	静 圧 Pa	電気容量 電源	電気容量 消費電力 W	台数	備 考
既設 廊下	格子付換気扇 (常時換気排気機)	２５０	常時 ４８０		単相100V	１７.0	2	(EX-25EX5) 電気式ｼｬｯﾀｰ、SUS屋外カバー、24時間専用ｽｲｯﾁ P-11SWL
小浴場	浴室用換気扇	２００	局所 ２７０		〃	１２.0	1	(V-20BL3) 屋外カバー
とみやっこﾙｰﾑ	天井埋込形・低騒音	１５０	局所 １５０	４０	〃	２１.0	1	(VD-15ZXP8)
幼児用ﾄｲﾚ	天井埋込形・低騒音	１００	局所 ３２０	３０	〃	７.2	1	(VD-10Z9)
プレイルーム1.2	天井埋込形・低騒音	２００	局所 ５００	４０	〃	４２.0	2	(VD-20ZXK8)
ふれあいあったかｻﾛﾝ	天井埋込形・低騒音	１８０	局所 ２００	４０	〃	２５.５	1	(VD-18ZX8)
管理人室	天井埋込形・低騒音	１００	局所 ５０	３０	〃	７.2	1	(VD-10Z9)
事務室	天井・空調換気扇		局所 ５０	３０	〃	３９.0	1	(VD-100ZSD2) 同時給排気式、コントロールスイッチ、
事務室・湯沸し	建築工事							ミニキッチン組込
和室（ｻｸﾗ.ﾊｷﾞ）	天井埋込形・低騒音	１８０	局所 ２００	４０	〃	２５.５	4	(VD-18ZX8) 木調グリル、強弱スイッチ、
更衣室.水飲み場	天井埋込形・低騒音	１００	局所 １００	３０	〃	７.2	2	(VD-10Z9)
ホール１・２	全熱交換器、静止式		局所 ５３０	１３０	〃	３５５.0	2	(LGH-50RS5) 防振吊金物、コントロールスイッチ、
ふれあいあったかｻﾛﾝ	建築工事							ミニキッチン組込

◎ 常時換気用スイッチ取付け、配線は電気設備工事とする。
◎ その他換気機器用コントロールスイッチ取付：本工事、配線：電気工事とする。

特記事項

一級建築士事務所
日新設計
NISSIN ARCHITECTS&ENGINEERS Co.Ltd.
一級建築士事務所
日 新 設 計 株 式 会 社
NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.
一級建築士 登録 第63601号
管理建築士 京谷国雄
仙台市太白区山田字大石42番4
TEL 022-245-2333

検図	
製図	
日付	H22.09.06

設計名称
平成２２年度西成田コミュニティーセンター改修工事

図面内容	換気設備 (改修後) 平 面 図
縮尺	S＝1：100
図面番号	M ― 7 枚ノ内
設計番号	

凡例		
記号	名称	備考
FP－1	スプリンクラーポンプ	消防認定品　附属品一式　標準色
FP－2	不凍液注入加圧ポンプ	
	スプリンクラー　ヘッド	閉鎖型１種　７２℃　０．１ＭＰａ　80L/mis
	スプリンクラー　ヘッド	閉鎖型１種　９６℃　１３９℃　０．１ＭＰａ　80L/mis
	流水検知装置	湿式　８０Ａ　（認定品）附属品一式
	末端試験装置	圧力計、弁、オリフィス
	送水口	スタンド壁型　６５Ａx６５Ａx１００Ａ
	補助散水栓	
	仕切弁	ＪＩＳ１０Ｋ
	逆止弁	ＪＩＳ１０Ｋ
	フレキシブル継手	ＪＩＳ１０Ｋ　ＳＵＳ製　（消防認定品）
	ボールタップ	ポンプ附属品
	フート弁	８０Ａ
	圧力計	ポンプ附属品
	連成計	ポンプ附属品
—S—	湿式型スプリンクラー用　配管	ＪＩＳ－Ｇ－３４５２（白）埋設部外面被覆鋼管ＳＧＰＶＳ
—D—	排水管	ＪＩＳ－Ｇ－３４５２（白）
	電熱ヒーター巻	凍結の恐れのある部分
——	電線電線管	ＨＰ１．２

ポンプ吐出量　水源容量

設備名	同時個数（個、台）	基本吐出量（L/min）	ポンプ吐出量（L/min）	基本容量（㎥）	必要水源容量（㎥）
スプリンクラー　設備	8	８０	７２０	１．６	１２．８
必要水源容量合計（㎥）					１２．８

ポンプ全揚程

機器名称	損失水頭（m）						
	損失水頭	放水圧力	吐出揚程	吸込揚程	アラーム損失	加算水頭	合計（m）
湿式スプリンクラー	２０．０	１０.０	４．５	０	５．０	X1.1	４５．０

機器　仕様

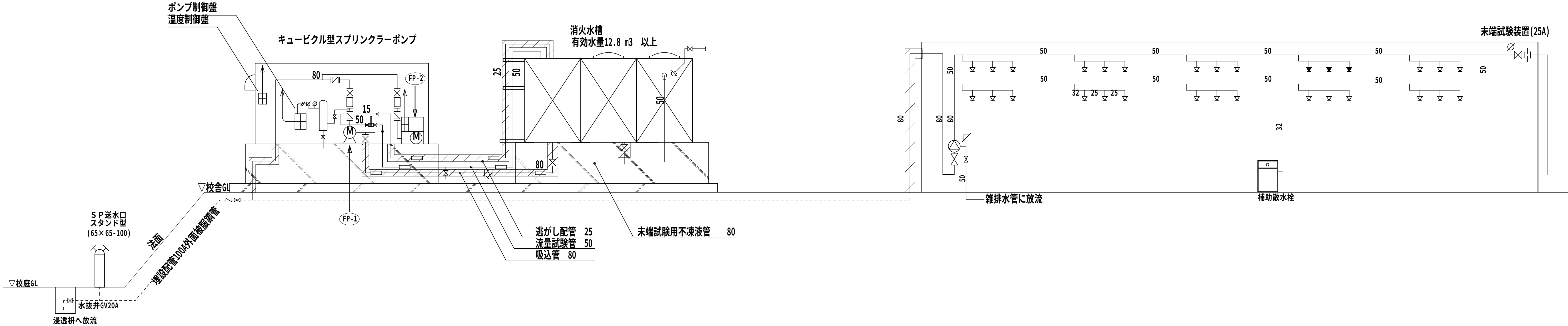
機器名称	機器仕様
FP-1 キュウビクル型スプリンクラーポンプ	８０x７２０Ｌ／㎜x５４mx１１Ｋw×２００Ｖ×５０Ｈz　λ－Δ

注記

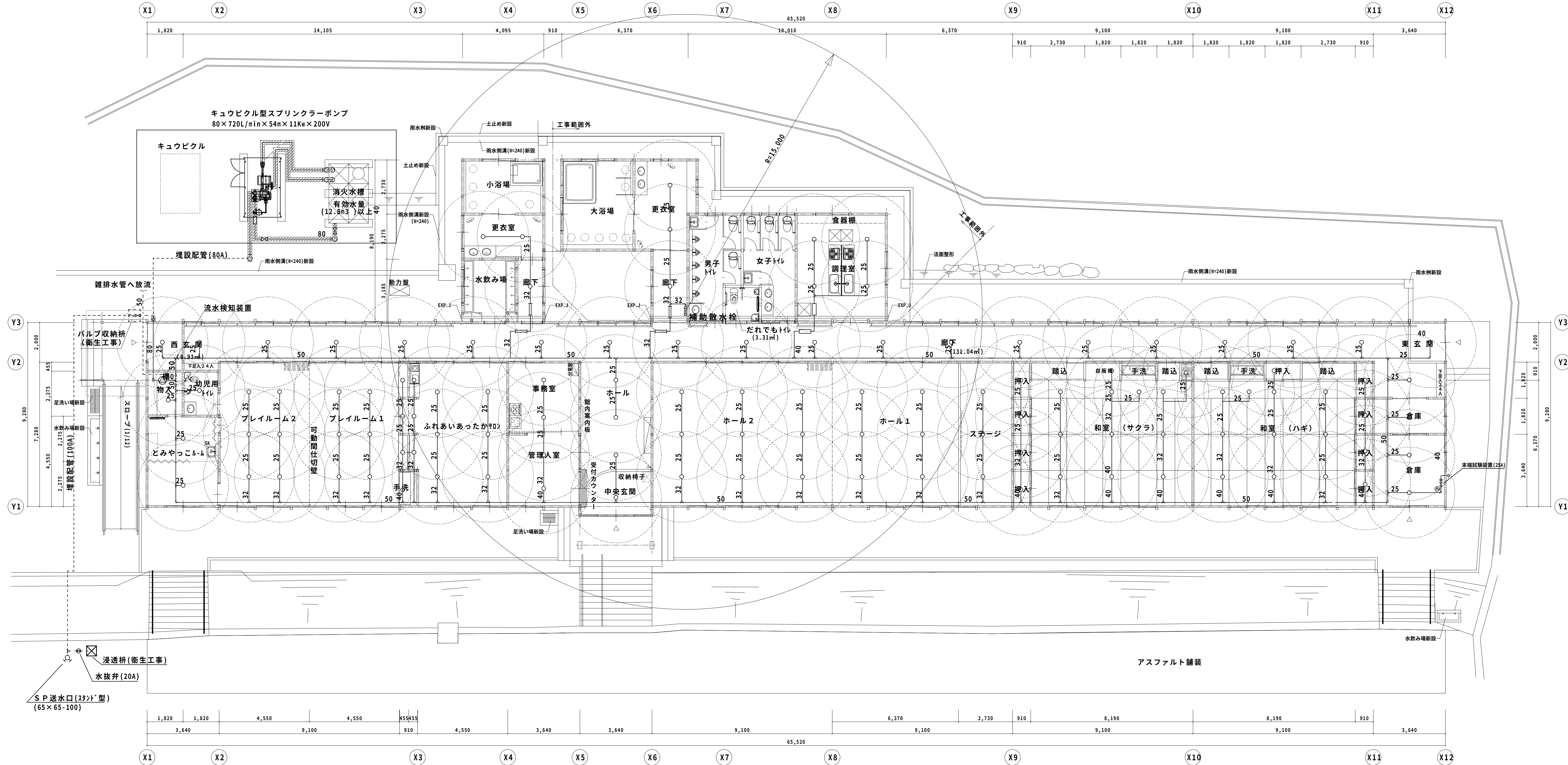
◇ 工事区分
（スプリンクラー設備　）
- 一次側給水工事、図示以降の排水工事　衛生工事

◇ 別途工事
- 一次側電気工事、表示警報用電気工事、自火報受信機に至る電気工事（アラーム弁警報、ポンプ起動、ポンプ異常、）、非常電源、　補助散水栓、盤内蔵機器及び関連電気工事　——　電気工事
- 消火水槽基礎、ポンプ基礎、　——　建築工事

◇ 特記
スプリンクラー設備配管内不凍液注入とする
不凍液注入加圧ポンプ設置位置は打合せにより決定する



特記事項	一級建築士事務所　日新設計株式会社　NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士　登録　第６３６０１号　管理建築士　京谷国雄　仙台市太白区山田字大石４２番４　TEL０２２－２４５－２３３３	検図 / 製図 / 日付　平成21年10月	設計名称　平成２２年度西成田地区コミュニティセンター改修工事	図面内容　スプリンクラー設備　系統図　縮尺　1/100	図面番号　Ｍ　—　８　全　枚ノ内　設計番号



特記事項	一級建築士事務所 日新設計株式会社 NISSIN・ARCHITECTS & ENGINEERS CO. LTD.	一級建築士 登録 第63601号 管理建築士 京谷国雄 仙台市太白区山田字大石42番 TEL 022-245-2334	検図	製図	日付 H22.09.06	設計名称 平成２２年度西成田地区コミュニティーセンター改修工事	図面内容 スプリンクラー設備 平面図	縮尺 S＝1：100	図面番号 M ― 9	枚ノ内	設計番号